

平成 28 年度

新入生の生活に関する調査報告書

平成 28 年 9 月

お茶の水女子大学

はじめに

この報告書は、お茶の水女子大学 学生・キャリア支援センターが平成 23 年度から実施している「新入学生（学部）とその保護者を対象に実施した調査」の平成 28 年度版です。

調査の目的は、学生本人および保護者の大学へのニーズを明らかにすることによって、本学の学生・キャリア支援活動をより効果的に行うための基礎資料とすることであり、新入学生およびその保護者を調査対象として実施してきました。調査内容は、出身高校、家族、卒業後の進路志望、学生生活の経済的基礎、学生支援活動への期待（入学生調査）、家計支持者の職業、世帯年収、学歴、学生支援活動への期待（保護者調査）などであります。

この調査は、学生の保護者を対象とした学内で唯一の公的調査として位置づけられており、大学としてより充実した学生生活を支援する上での貴重な資料として活用させていただいております。

末筆となりますが、本調査にご協力してくださった本年度新入学生とその保護者の皆さまに心から感謝申し上げます。

平成 28 年 9 月吉日

国立大学法人 お茶の水女子大学
理事 副学長
学生・キャリア支援センター長
高崎 みどり

平成 28 年度新入生調査報告書のポイント

- 1. 新入生の 90.6%は「お茶大を第一志望」として入学し、学びに対する意識が高い**
 - ・本学が第一志望である新入生は 90.6%（昨年度より 2.8 ポイント増加。二年連続増加）
 - ・「大学に入学後、特にこの 1 年で頑張ろうと思う活動」において「大学の授業」と回答した学生は 98.6%（平成 27 年度は 99.5%）
- 2. 実家から通学する学生は約 6 割、自宅外学生は約 4 割であり、仕送りは縮小傾向**
 - ・入学後の住居の予定として、実家から通学 57.1%、賃貸アパートやマンション居住予定は 29.3%、同様に国際学生宿舎は 17.3%、お茶大 SCC は 11.1%である。
 - ・実家から「仕送りはない」と回答した学生は 9.9%（昨年度より 5.1 ポイント増）
- 3. 大学生活での不安および期待する学生支援**
 - ・大学生活に不安を感じること 第 1 位「授業や単位」71.9%
第 2 位「人間関係」56.5%
第 3 位「就職や将来」55.1%
 - ・保護者調査では、「就職支援」に期待する人が 85.7%と最も多く、文教育学部や生活科学部では 9 割に近い保護者が大学に就職支援を期待している。
- 4. 卒業後の進路希望として、大学院進学希望は全体で 46%であり、理学部が特に多い**
 - ・卒業後の進路希望（複数回答）は、「民間企業に就職する」が 55.1%、「大学院などに進学する（海外含む）」が 46.0%である。理学部での大学院希望者の割合は 71.4%と最も多い。

目次

調査の概要	2
第1章 「新入生調査」の結果	4
(1) 出身高校	4
(2) 家族構成	6
(3) これまでの進路選択や学生生活	7
(4) 大学入学後の生活の予定	9
(5) 将来の進路	17
第2章 「新入生の保護者調査」の結果	22
(1) 家庭の暮らし向き	22
(2) 親の職業・学歴	25
(3) 大学生生活の不安・心配事	28
第3章 新入生および保護者調査の結果－奨学金・学生寮に関するクロス集計－	32
(1) 問題・目的	32
(2) 奨学金に関する結果	32
(3) 学生寮に関する結果	43
(4) 奨学金と学生寮について、過年度との比較	52
第4章 考察および今後の課題	56
(1) 平成28年度新入生の特徴と考察	56
(2) 奨学金と学生寮に関する考察	57
(3) 学生・キャリア支援における課題	58
付表	
1. 調査票（新入生調査）	59
2. 調査票（保護者調査）	67
3. 基礎集計表（新入生調査）	73
4. 基礎集計表（保護者調査）	79

執筆担当者

高崎 みどり（副学長、学生・キャリア支援センター センター長）
担当：はじめに

中川 まり（学生・キャリア支援センター 准教授）
担当：1章、2章、4章（1）（3）、

三浦 憂紀（学生・キャリア支援センター アソシエイトフェロー）
担当：調査の概要、3章、4章（2）、付表3、付表4

調査の概要

- **目的：**

入学を予定している学生の実情をふまえ、有益な学生支援の検討および実施を行うための資料とすることを目的とし、次の4点から構成される。

1. 新入生の大学教育や将来への多様なニーズを把握し、適切な学生支援事業を、入学時から行うための情報を得る。
2. 新入生の標準的な学生生活の状況を把握する。
3. 新入生の家庭状況からその経済的基盤を推定し、お茶の水女子大学における学生支援事業を改善するための基礎資料とする。
4. 国立大学入学者の学生生活・家庭・進路などに関する調査研究を行うための基礎資料とする。

- **調査時期：**2016年3月

- **調査方法：**

質問紙調査票の郵送による送付・返送である。一般入試合格者および保護者に対しては、他の入学手続関係書類に調査票および調査票返送用封筒を同封し、他の書類とともに回答の返送を依頼した。その他の選考による合格者および保護者には、別途、調査票および調査返送用封筒を送付し、返送を求めた。

- **分析対象：**

回答をいただいたが、調査データの使用許可を得ることができなかった回答者を分析対象者から除いた。よって対象者は、平成28年度学部入学者352名、保護者343名である。調査別の詳細は以下の通りである。

1. 「新入生を対象とした調査（新入生調査）」

平成28年度学部入学者481名。有効回答数352名（入学者のうち73.2%）。

学部別内訳 文教育学部 161名(入学者のうち74.5%)
理学部 99名(同73.9%)、
生活科学部 92名(同70.2%)。

2. 「新入生の保護者を対象とした調査（新入生保護者調査）」

平成28年度学部入学者の保護者481名。有効回答数343名（入学者のうち71.3%）。

- **実施主体：**

国立大学法人 お茶の水女子大学 学生・キャリア支援センター

- **個人情報について：**

お茶の水女子大学では、個人情報の管理に関する規程および個人情報の公開に関する取扱要項等の規定を定めて、本学が保有する個人情報の適正な管理に努めている。

(詳細は、http://www.ocha.ac.jp/plaza/info_public/individual/index.html 参照)

調査票は、大学で付けたID番号で管理をし、回答者の氏名や住所などは記載せずに回答・返送を求めた。

参考文献

Benesse 教育研究開発センター (2013)

「第2回 大学生の学習・生活実態調査報告書」

<http://berd.benesse.jp/koutou/research/>

日本学生支援機構 (2016)

「平成26年度 学生生活調査」

http://www.jasso.go.jp/statistics/gakusei_chosa/12.html

お茶の水女子大学 (2014)

「平成26年度 新入生の生活に関する調査報告書」

————— (2016)

「平成27年度 新入生の生活に関する調査報告書」

総務省統計局 (2011)

『平成22年国勢調査』

全国大学生調査コンソーシアム/東京大学 大学経営・政策研究センター (2008)

「全国大学生調査 第一次～第三次調査 基礎集計表」

http://ump.p.u-tokyo.ac.jp/crump/resource/kiso2008_01.pdf

全国大学生生活協同組合連合会 (2015)

「第50回 学生生活実態調査の概要報告」

<http://www.univcoop.or.jp/press/life/report.html>

第1章 「新入生調査」の結果

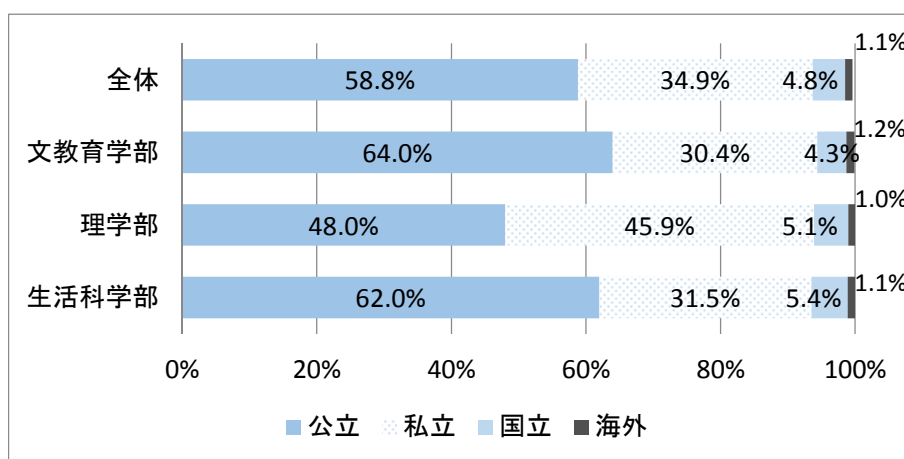
(1) 出身高校

はじめに出身高校について①設置者、②種類、③学科、④所在地を示す。図表では新入生全体と学部別の内訳を示した。

① 設置者

図表 1-1 に出身高校の設置者についての結果を示す。出身高校の設置者について「国立」「公立」「私立」「海外」「高等学校卒業程度認定試験（高卒認定）」から選択してもらい回答を得た。

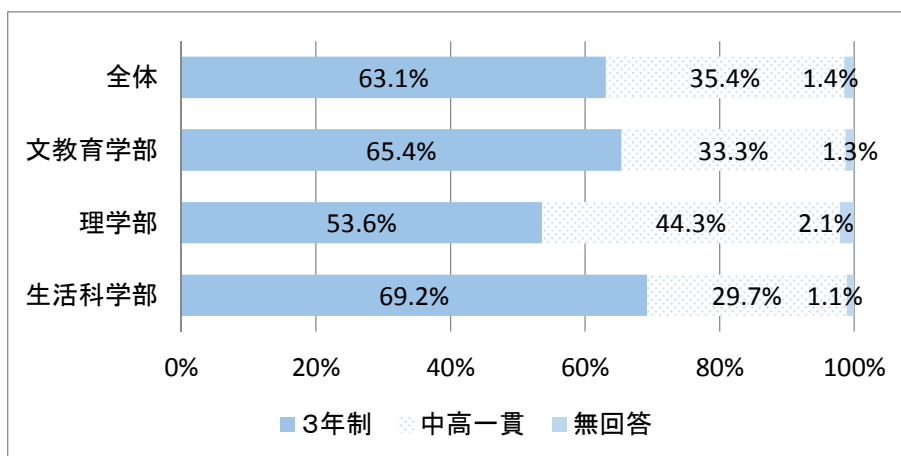
全体では、「公立」58.8%、「私立」34.9%、「国立」4.8%、「海外」1.1%であった。学部別では、文教育学部と生活科学部は「公立」の割合が高く、64.0%と62.0%である。この傾向は、平成27年度新入生でも同様であった（お茶の水女子大学 2016）。



図表 1-1 出身高校の設置者

② 種類

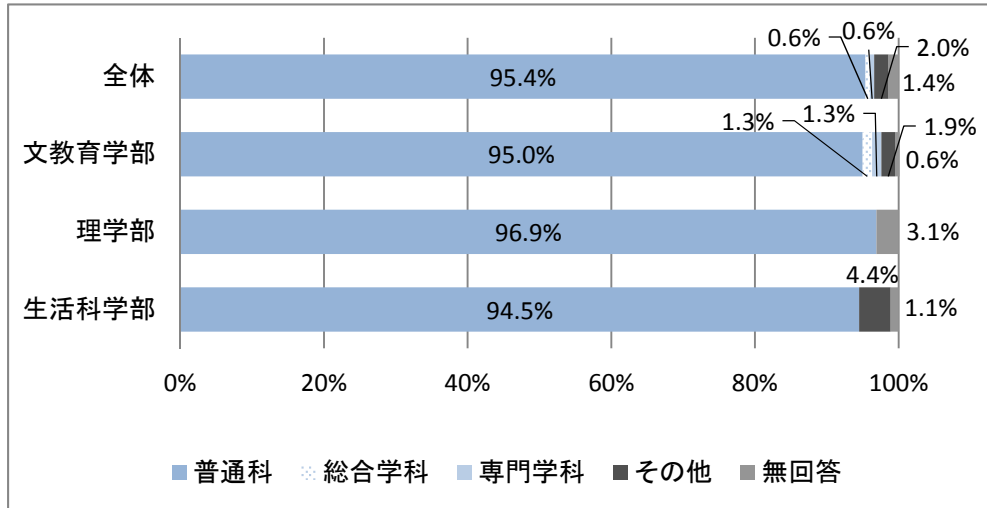
図表 1-2 に出身高校の種類について、「3年制」「中高一貫」の別に示す。全体では、「3年制」が63.1%、「中高一貫」35.4%と昨年とほぼ同様であった。学部別では、生活科学部が「3年制」の割合が高く69.2%である。



図表 1-2 出身高校の種類

③ 学科

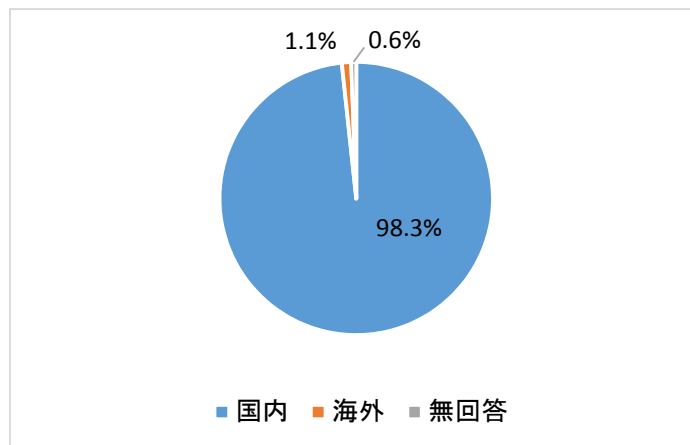
図表 1-3 に出身高校の学科を「普通科（理数科も含む）」「総合学科」「専門学科（商業・工業、家庭、農業科など）」「その他」別に示す。全体の 95.4%が「普通科」であり、学部別でも大きな差異はない。今年度の新入生には文教育学部に「総合学科」「専門学科」の出身者が見られた。



図表 1-3 出身高校の学科

④ 出身高校の所在地

図表 1-4 に出身高校の所在地を「国内」「海外」別に示す。全体の 98.3%が「国内」であり、1.1%が海外の高校を卒業している。



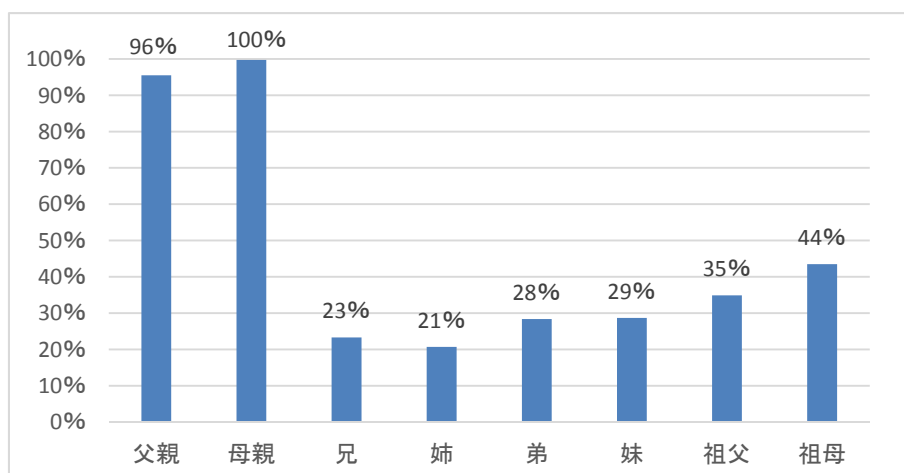
図表 1-4 出身高校の所在地

(2) 家族構成

新入生の家族構成について、①家族構成、②高等教育機関在籍（予定含む）のきょうだい数、③私立学校在籍（予定含む）のきょうだい数について示す。

① 家族の構成

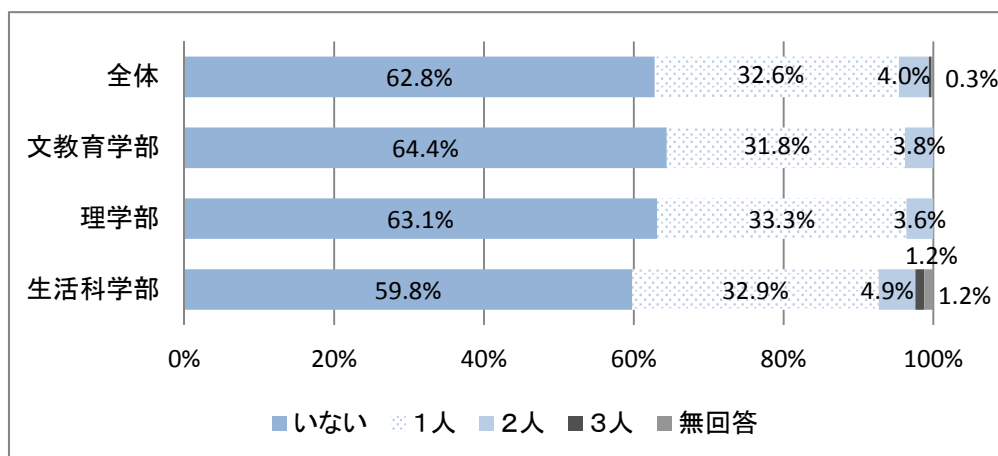
図表 2-1 に新入生の家族構成に関する結果を示す。同居を問わず家族構成について、複数選択可として回答を得た。今年度の新入生の家族構成は、全体でも学部別でも平成 27 年度新入生と大きな差異は見られなかった。また「一人っ子」は全体の 15.6%であった。平成 27 年度の 16.5%、平成 26 年度 17.2%と並んで、高い傾向は変わらない。



図表 2-1 家族構成

② 高等教育機関在籍（予定含む）のきょうだい数

図表 2-2 は、大学（大学院）・短期大学・高等専門学校・専修学校（専門課程）に正規の学生として在学する、または、来年度から進学予定のきょうだい数（自分を除く）を尋ねた結果である。全体の 62.8%が「いない」、「1人」は 32.6%、「2人」が 4.0%である。平成 27 年度も同様の傾向であった。

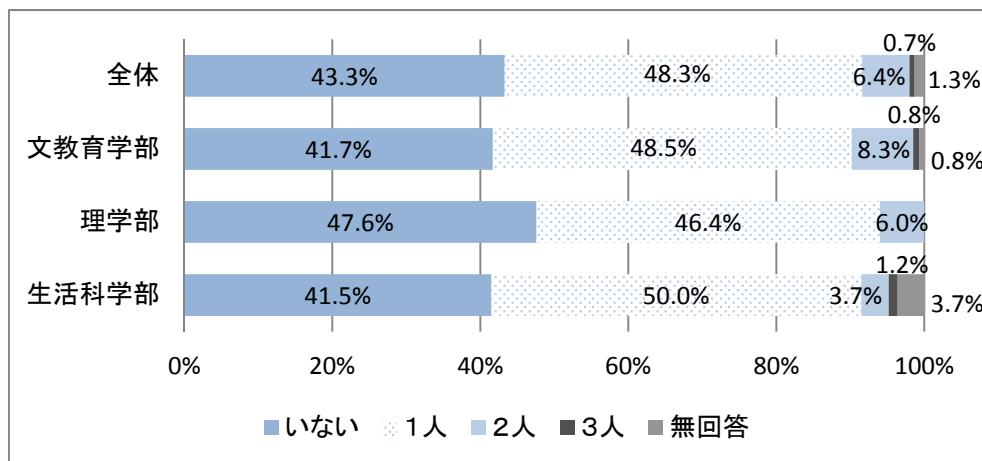


図表 2-2 高等教育機関在籍（予定含む）のきょうだい数

③ 私立学校在籍（予定含む）のきょうだい数

図表 2-3 は、私立の大学（大学院）・短期大学・高校・中学・小学校に正規の学生として在学する、または来年度から進学予定のきょうだい数（自分を除く）について尋ねた結果である。

全体の43.3%が「いない」、48.3%が「1人」、6.4%が「2人」であり、学部により大きな差異は見られなかった。平成27年度および平成26年度新入生とほぼ同様の傾向がみられた。



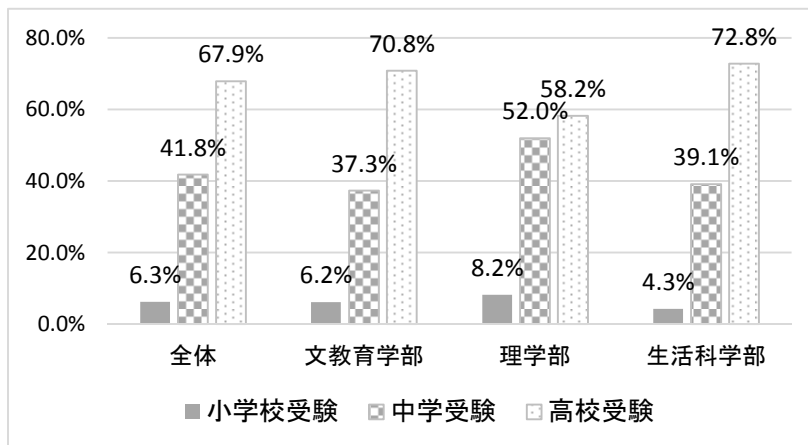
図表 2-3 私立学校在籍（予定含む）のきょうだい数

(3) これまでの進路選択や学生生活

本節では、新入生のこれまでの進路選択や学生生活について、①これまでの受験経験、②本学の受験を決めた時期、③本学の志望の度合い、④高校卒業から現在までの間に経験したことについて示す。

① これまでの受験経験

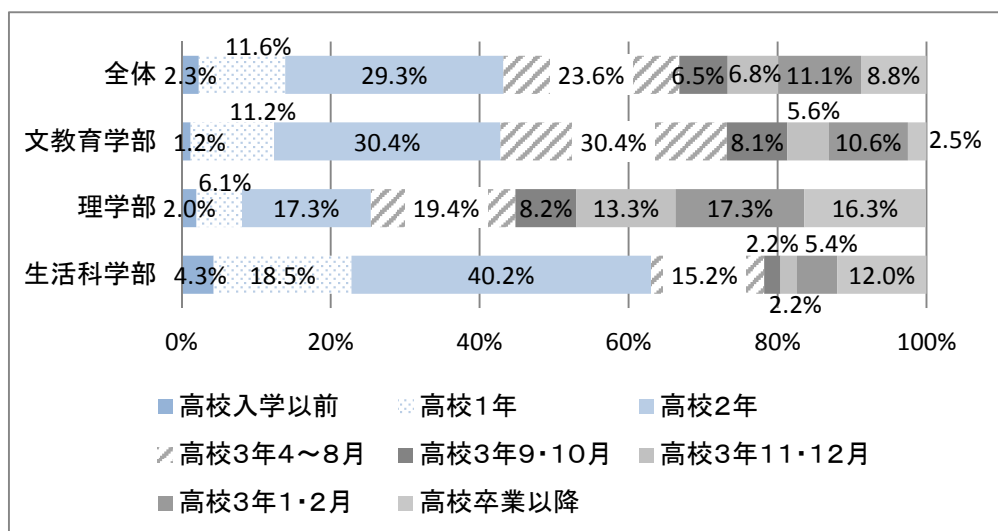
図表 3-1 は、中学校の受験の経験について尋ねた結果である。全体の6.3%が小学校受験を、全体の41.8%が中学受験を経験している。高校受験は全体の67.9%が経験している。この傾向は、平成27年度新入生でも同様に見られる。「第2回 大学生の学習・生活実態調査」(Benesse 教育研究開発センター 2013)における大学生の中学受験経験率は27.8%と比較すると、本学の新入生の中学受験経験率は高い方に偏っている。



図表 3-1 これまでの受験の経験

② 本学の受験を決めた時期

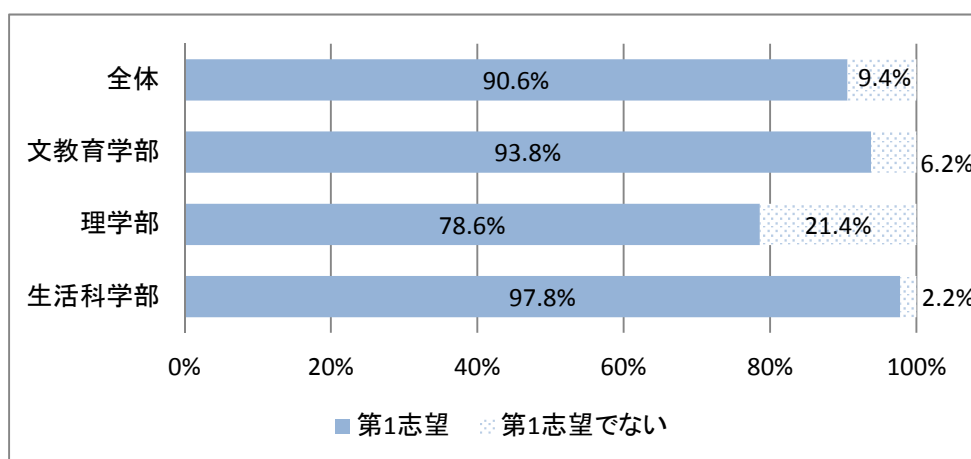
本学の受験を決めた時期について、その時期を尋ねた結果が図表 3-2 である。全体では「高校 2 年」が 29.3%と最も高く、「高校 3 年 4～8 月」23.6%がそれに続いている。学部別では、理学部に高校 3 年の 9 月以降に本学の受験を決めた割合が多いことが特徴である。



図表 3-2 本学の受験を決めた時期

③ 本学の志望の度合い

図表 3-3 に、受験時に本学が第一志望であったか否かについて尋ねた結果を示す。全体でみると 90.6%の新入生が本学を第一志望としており、昨年度 87.8%より 2.8 ポイント程度増加した（お茶の水女子大学 2016）。学部別では、理学部での第一志望の割合が 78.6%と他の学部より低い。2016 年度新入生の特徴は、生活科学部での第 1 志望の割合が 97.8%と非常に高いことである。



図表 3-3 本学の第一志望の度合

④ 高校卒業から現在までの間に経験したこと

高校卒業から現在までに経験したことについて、「大学生の学習・生活実態調査」を参考に、複数回答可として尋ねた結果が図表 3-4 である。

「浪人」は全体で 16.8%であり、「この中にはない」が全体の 74.1%である。浪人は平成 27 年度では 14.1%で、今年度は 2.7 ポイント増であり、すべての学部で浪人の占める割合が増加した。

学部別では、浪人の割合が異なり、文教育学部が 11.2%、生活科学部が 17.4%であるが、理学部は 25.5%と昨年度に続いて多いことが特徴である。

図表 3-4 高校卒業から現在までの間に経験したこと

—	他の高等教育機関入学	浪人	海外留学	この中にはない	無回答
全体	1.7%	16.8%	0.3%	74.1%	8.5%
文教育学部	1.2%	11.2%	0.0%	79.5%	9.3%
理学部	3.1%	25.5%	1.0%	65.3%	8.2%
生活科学部	1.1%	17.4%	0.0%	73.9%	7.6%

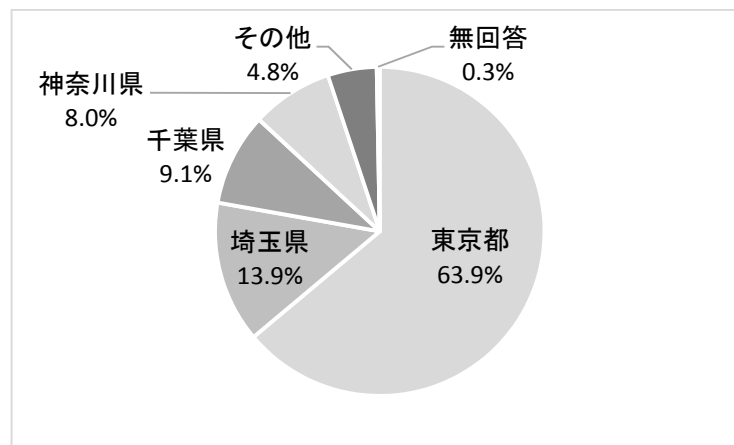
(4) 大学入学後の生活の予定

本節では、新入生の大学入学後の生活の予定についての調査結果を示す。

調査項目は、①大学入学後に居住予定の都道府県、②大学入学後の住居の予定、③1 か月の家賃の予算、④1 か月あたりの仕送り予定金額、⑤大学に入学後、特にこの 1 年で頑張ろうと思う活動、⑥アルバイト活動の予定、⑦希望するアルバイト活動、⑧授業料の負担予定、⑨大学生活での不安・心配事、⑩本学の学生支援活動への期待についてである。

① 大学入学後に居住予定の都道府県

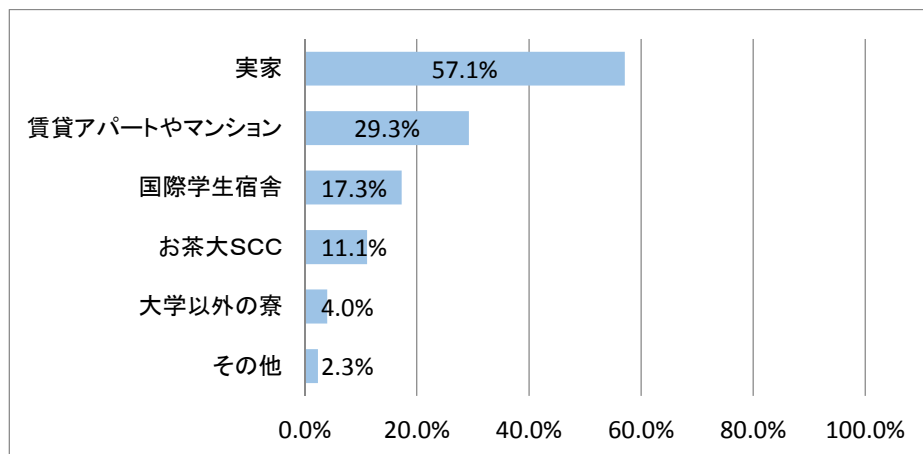
図表 4-1 に大学入学後に居住予定の都道府県について示す。全体では、東京都が 63.9%と最も高く、埼玉県、千葉県、神奈川県と続いている。



図表 4-1 大学入学後に居住予定の都道府県

② 大学入学後の住居の予定

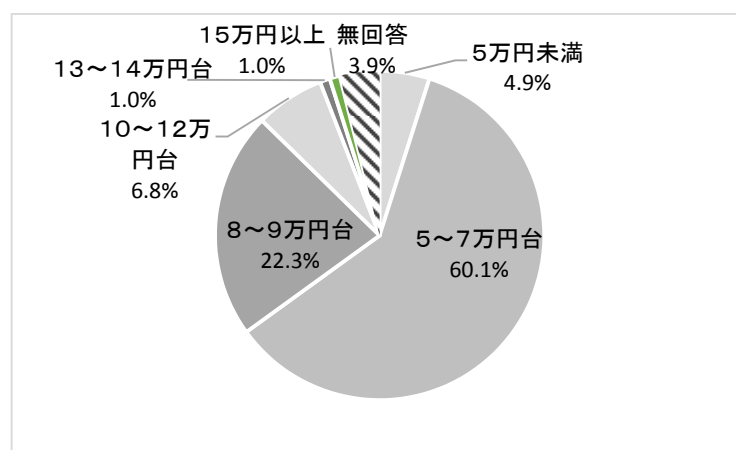
図表 4-2 は、大学入学後に予定している住居について、複数回答可として尋ねた結果である。全体では、「実家」が約 57.1%を占め、次いで、「賃貸アパートやマンション」29.3%、「国際学生宿舎」17.3%、「お茶大 SCC」11.1%といった学生寮が続いている。この結果は平成 27 年度新入生とほぼ同様の傾向である（お茶の水女子大学 2016）。



図表 4-2 大学入学後に予定している住居

③ 1 か月の家賃（管理費込み）の予算

図表 4-3 は、1 か月の家賃（管理費込み）の予算（千円未満は四捨五入）について、「賃貸アパートやマンション」に居住予定の者に尋ねた結果である。「5～7 万円」が 60.1%と最も多く、次いで「8～9 万円」22.3%である。両者を合わせると約 8 割の学生が 1 か月の家賃として 5～9 万円を予定していることがわかる。平成 27 年度新入生では「5～7 万円」は 51.6%、「8～9 万円」は 28.6%であったことから平成 28 年度新入生の家賃の予算はやや低くなる傾向にある。（お茶の水女子大学 2016）。

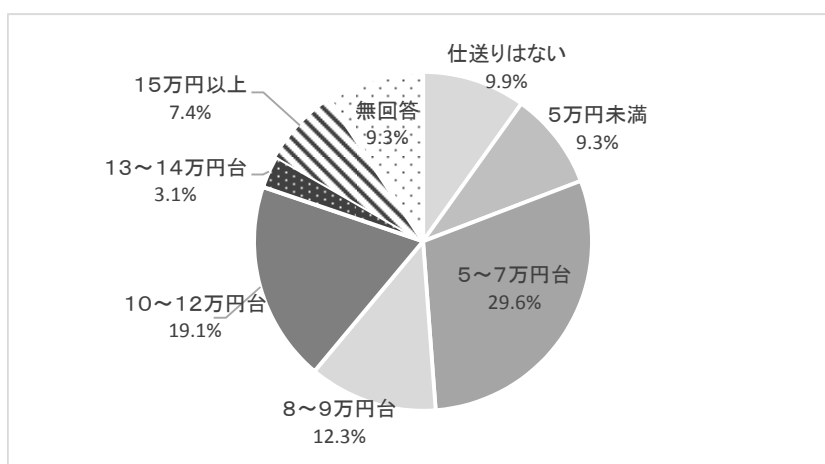


図表 4-3 1 か月の家賃（管理費込み）の予算

④ 1か月あたりの仕送り予定金額

図表 4-4 は、1か月あたりの仕送り予定額（万円未満は四捨五入）について、「実家」以外に居住予定の者に尋ねた結果である。「5～7万円」が 29.6%と最も多く、次いで「10～12万円」19.1%という結果である。一方で「仕送りはない」9.9%を含め、仕送り予定が 10万円未満の学生は 61.1%である。「仕送りがない」新入生は、昨年度は 4.8%であったが今年度は 1割程度見られた（お茶の水女子大学 2016）。

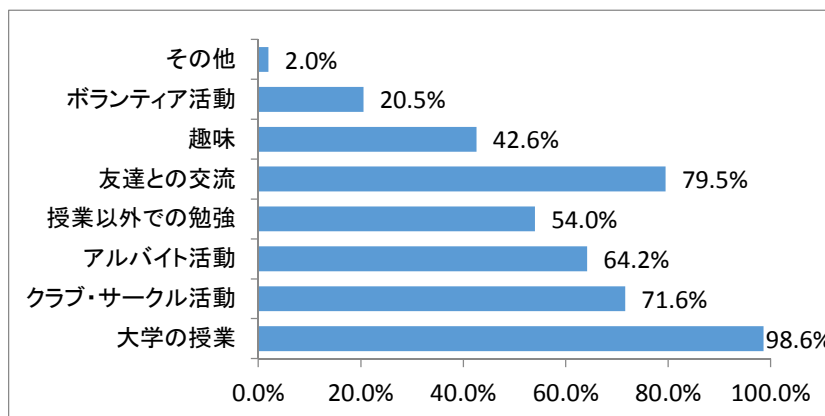
なお「第 50 回 学生生活実態調査の概要報告」（全国大学生生活協同組合連合会 2015）によれば、下宿生のうち、仕送り金額が 5～10万円の学生は 36.2%と最も多く、仕送り 10万円以上 29.3%を超えている。一方、仕送り 0 の割合は 8.8%、5万円未満は 23.8%である。この調査と本調査を比較すると、自宅外に居住する学生の仕送り金額は、全国の大学生の水準とほぼ同様であるといえる。



図表 4-4 1か月あたりの仕送り予定額

⑤ 大学に入学後、特にこの1年で頑張ろうと思う活動

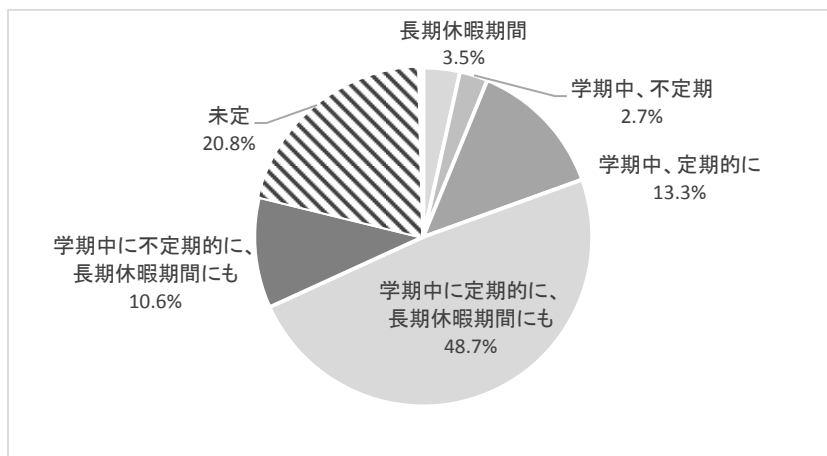
図表 4-5 に、入学後、特にこの1年で頑張ろうと思う活動について、複数回答可として尋ねた結果を示す。「大学の授業」が 98.6%と最も高い。続いて、「友達との交流」79.5%、「クラブ・サークル活動」が 71.6%と全体の 7割を超えている。これらの傾向は、平成 27 年度新入生でも同様に示されている（お茶の水女子大学 2016）。



図表 4-5 大学に入学後、特にこの1年で頑張ろうと思う活動

⑥ アルバイト活動の予定

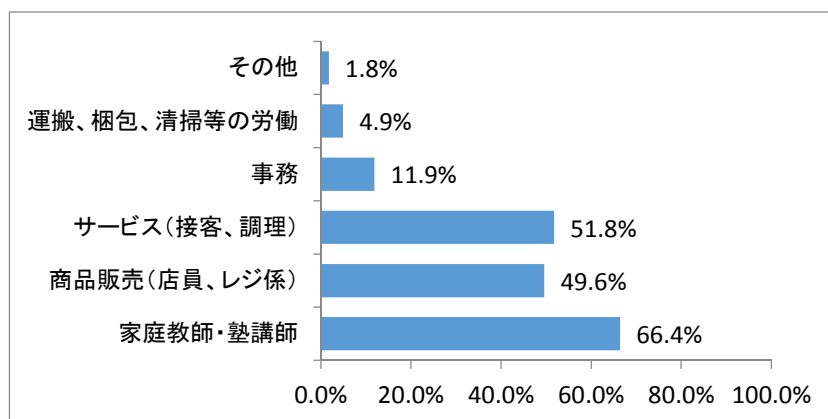
図表 4-6 は、入学後のアルバイト活動の予定について、その予定のある者に対して尋ねた結果である。最も多いのは「学期中に定期的に、長期休暇期間にも」48.7%である。「未定」が全体の20.8%を占める。学期中に定期的なアルバイト活動を予定している学生は約 6 割であり昨年同様である。



図表 4-6 アルバイト活動をする予定の時期や頻度

⑦ 希望するアルバイト活動

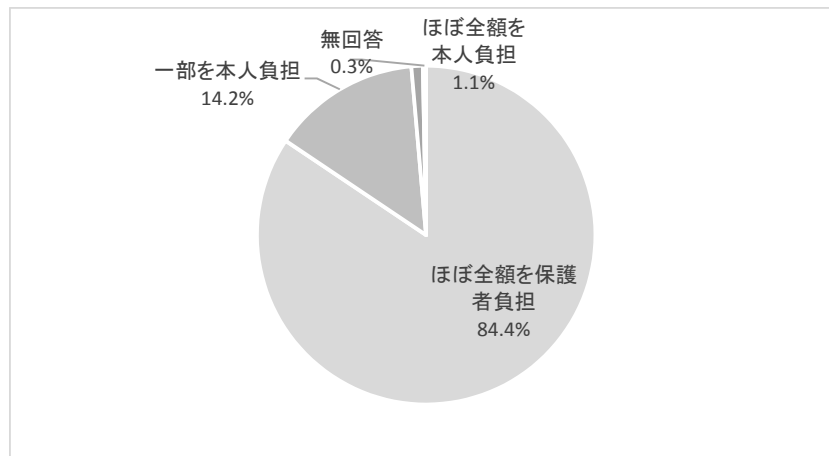
図表 4-7 に「入学後、この 1 年で頑張ろうと思う活動」として「アルバイト活動」に回答をした者に希望するアルバイト活動を複数回答可として尋ねた結果を示す。「家庭教師・塾講師」66.4%が最も多く、次いで「サービス（接客、調理）」51.8%、「商品販売（店員、レジ係）」49.6%となっている。



図表 4-7 希望するアルバイト活動

⑧ 授業料の負担予定

図表 4-8 は、授業料の負担予定について尋ねた結果である。「ほぼ全額を保護者が負担予定」が 84.4%である。「一部を本人が負担（奨学金、アルバイトなどを含む）」は、14.2%であった。今年度の傾向は、平成 27 年度新入生でもほぼ同様に示されている（お茶の水女子大学 2016）。



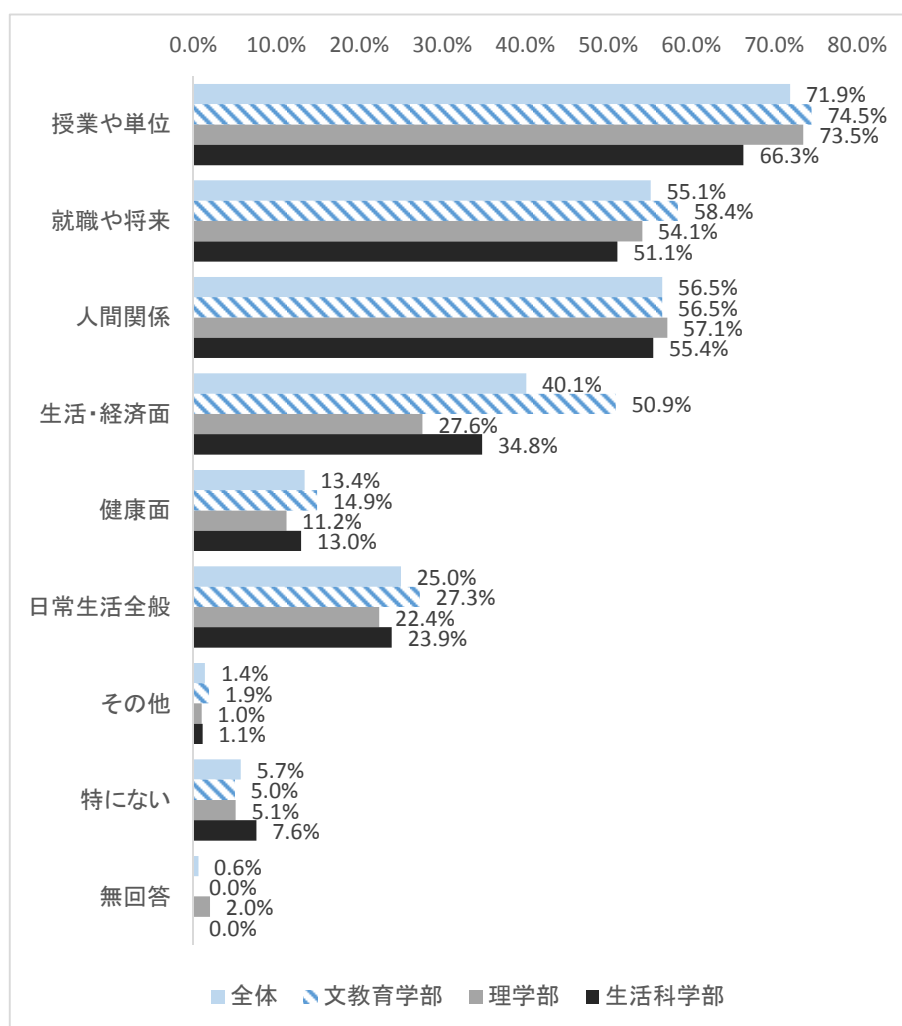
図表 4-8 授業料の負担予定

⑨ 大学生活での不安・心配事

図表 4-9 は、全国大学生生活協同組合連合会が実施している「保護者に聞く新入生調査」の調査項目を参考に、大学生活が始まって心配なことについて複数回答可として尋ねた結果である。

「特にない」は全体の 5.7%であり、学部別では生活科学部では 7.6%と高い。平成 27 年度は理学部が最も「特にない」と回答した割合が高かった（お茶の水女子大学 2016）。

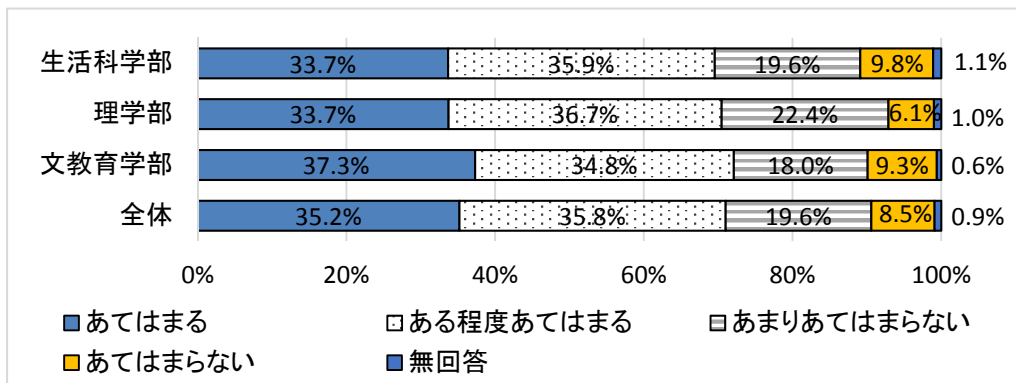
最も多い項目は「授業や単位」が全体の 71.9%であり、「人間関係」56.5%、「就職や将来」55.1%がそれに続いている。これら上位 3 項目の割合は例年ほぼ同様である。学部別では、文教育学部は「就職や将来」58.4%と「生活・経済面」50.9%と他学部より高いという結果であった。



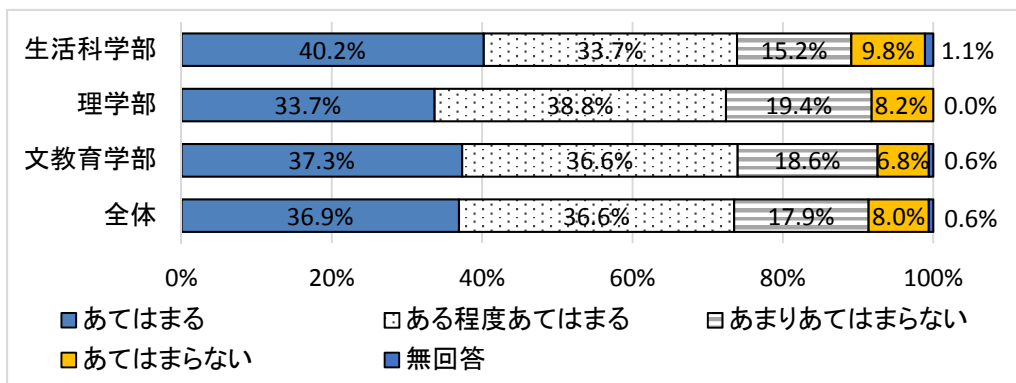
図表 4-9 大学生活が始まって心配なこと

さらに大学入学後の不安・心配事に対する今の気持ち 8 項目について 4 件法で回答を得た。そのうち、「あてはまる」「ある程度あてはまる」として回答した割合が 70%を超えた 4 項目を図表 4-10 から図表 4-13 に示す。

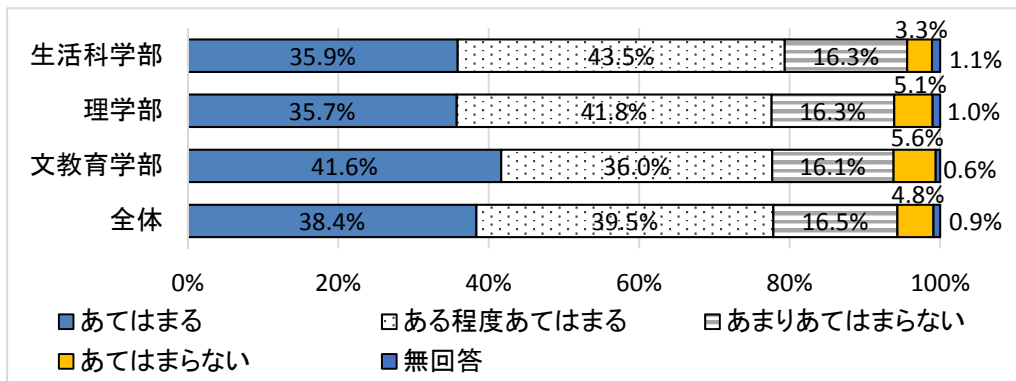
全体では、「授業についていけるか」を不安に思う割合が 77.9% と最も高く、「友達ができるか」73.5%、「充実したキャンパスライフを送れるか」71.0%がそれに続く結果となっている。この傾向は平成 27 年度新入生とほぼ同様である。



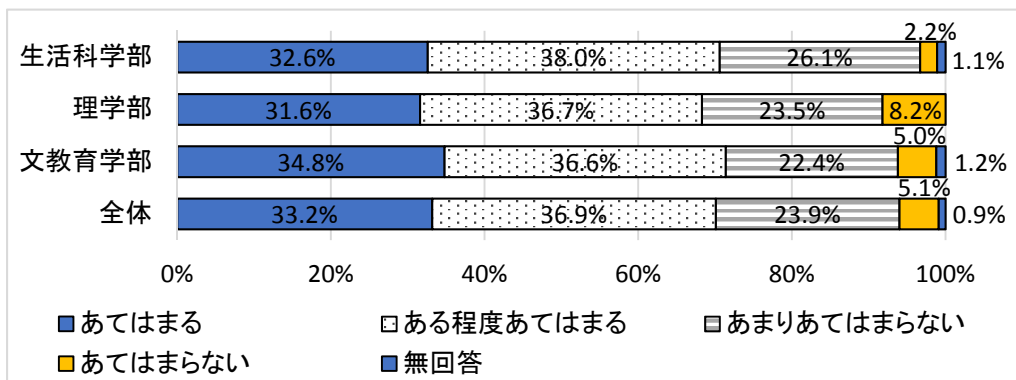
図表 4-10 充実したキャンパスライフを送れるか



図表 4-11 友達ができるか



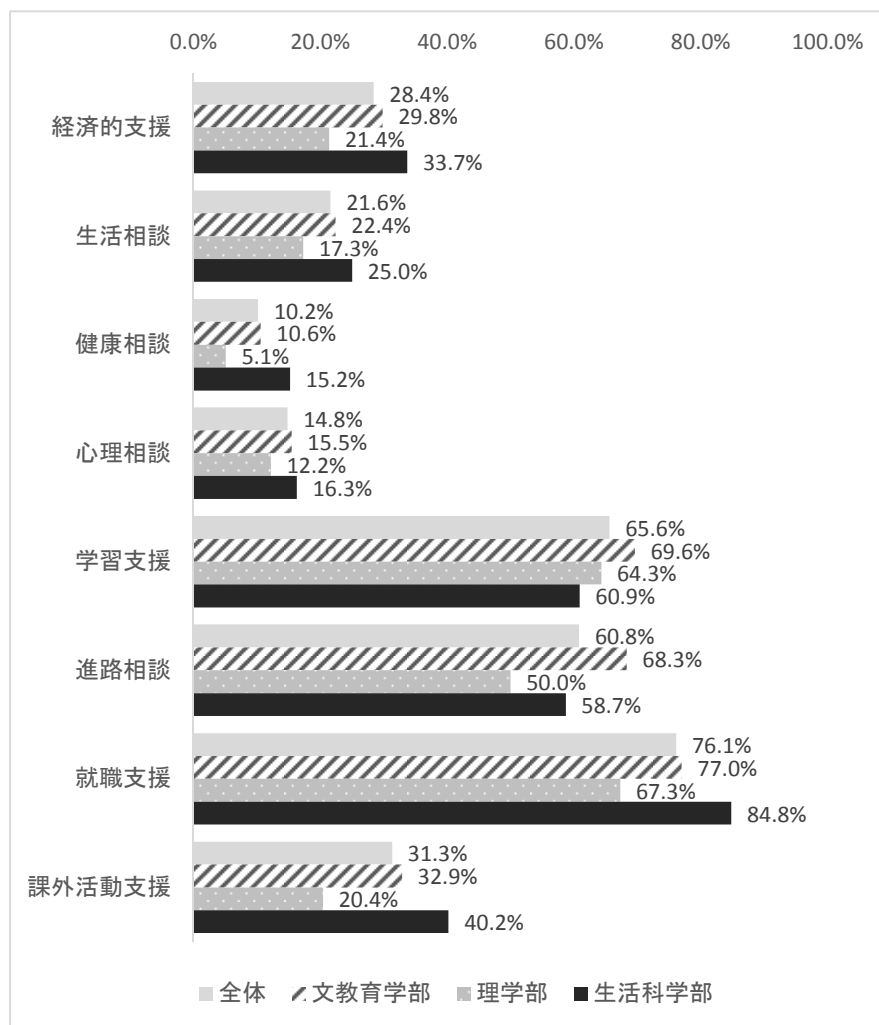
図表 4-12 授業についていけるか



図表 4-13 卒業後ちゃんと就職できるか

⑩ 本学の学生支援活動への期待

図表 4-14 は、「お茶大生の学習環境と生活・意識に関する調査」の調査項目を参考に、本学の学生支援活動に期待することについて、複数回答可として尋ねた結果である。全体では、「就職支援」が 76.1%と最も高く、次いで「学習支援」65.6%、「進路相談」60.8%となっている。学部別では、文教育学部は「学習支援」を期待する学生が 69.6%と、全体より高い割合である。生活科学部は「経済的支援」33.7%、「生活相談」25.0%、「健康相談」15.2%、「就職支援」84.8%、「課外活動支援」40.2%と全体に比較して高い割合の項目が多いことから、大学に支援を期待している学生が多いことがうかがえる。



図表 4-14 本学の学生支援活動への期待

(5) 将来の進路

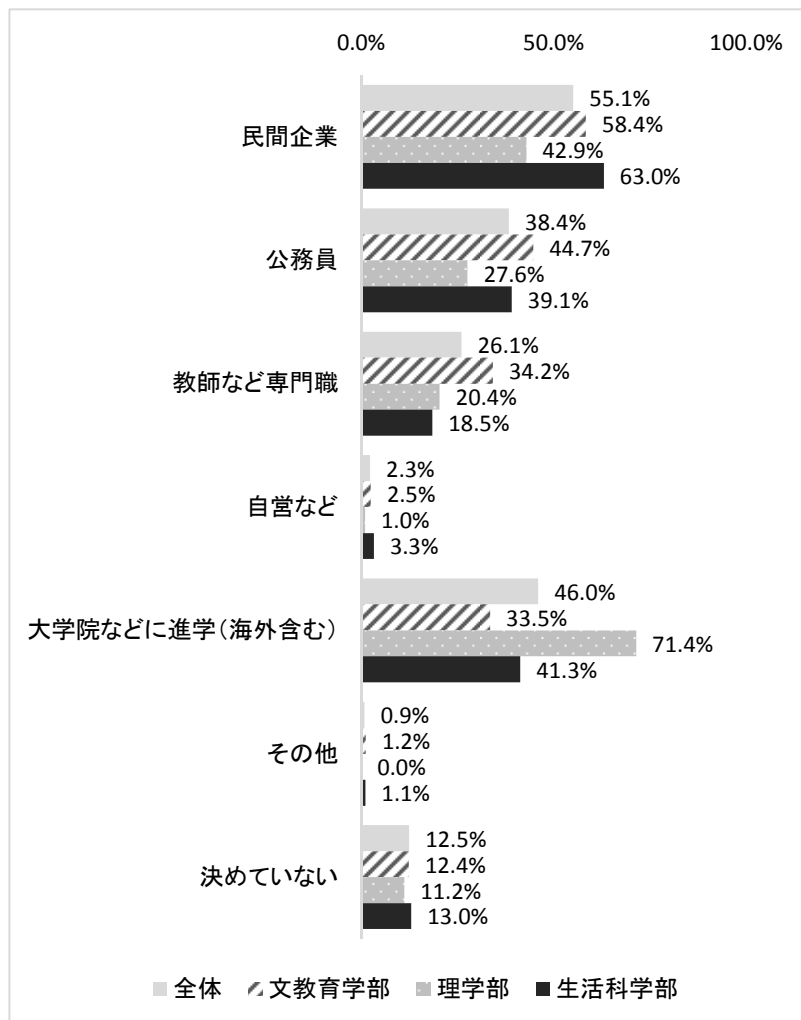
本節では、新入生の将来の進路について①大学卒業後の進路希望、②大学卒業後のキャリアについての考え、③就職や将来に関する親の関与について示す。

① 大学卒業後の進路希望

図表 5-1 は、大学卒業後の進路希望について、「お茶大生の学習環境と生活・意識に関する調査」を参考に、複数回答可として尋ねたものである。

全体で見ると、「民間企業に就職する」が最も高く 55.1%、「大学院などに進学する（海外含む）」がそれに続いて 46.0%であった。ただし「大学院などに進学する（海外含む）」は学部による差異も大きく、理学部では 71.4%であるが、文教育学部では 33.5%程度であった。これらの傾向は、平成 27 年度新入生でも同様に示されている（お茶の水女子大学 2016）。

平成 28 年度新入生は「公務員になる」が全体の 38.4%と昨年度の 32.8%に比べて 5.6 ポイント多いことが特徴であり、これらの進路希望に続くが、学部により差異も大きく、文教育学部では 44.7%を占める一方で、理学部では 27.6%にとどまっている。



図表 5-1 大学卒業後の進路希望

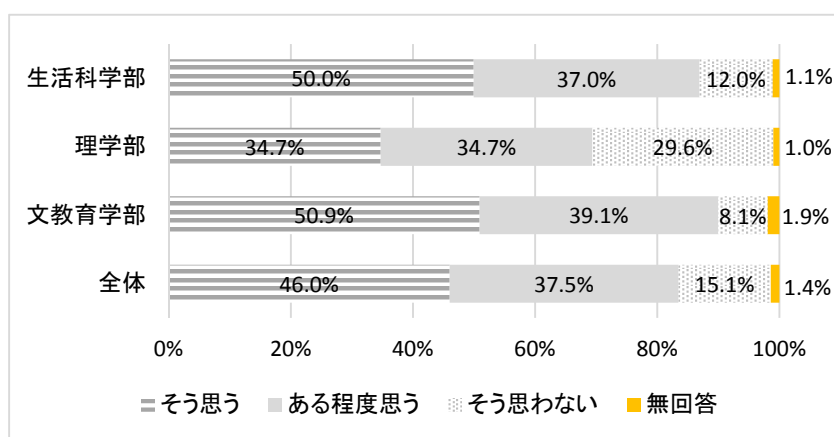
② 大学卒業後のキャリアについての考え

全国大学生調査コンソーシアム/東京大学 大学経営・政策研究センターが2007年に実施した「全国大学生調査」を参考に、「大学卒業後のキャリアについての考え」に関する9項目について3件法で尋ねた結果のうち、6項目の結果を図表5-2から図表5-7に示す。

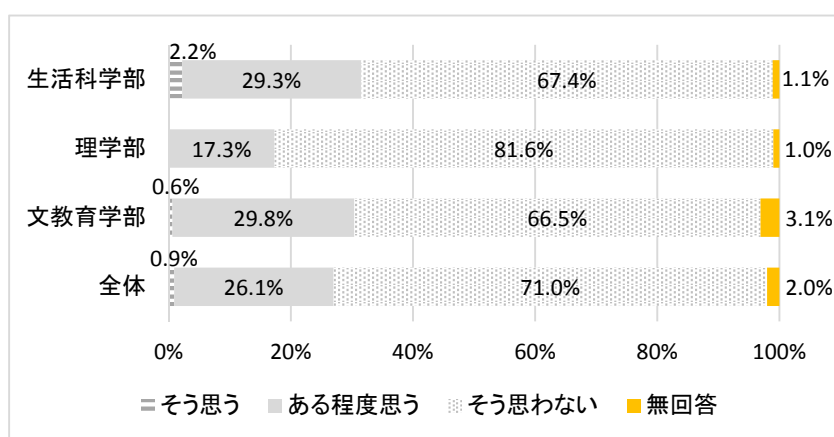
図表5-2から図表5-5は、「卒業後の進路」について尋ねた結果である。「すぐに就職して正社員・正規の職員になる」について、全体で「そう思う」「ある程度思う」と回答した人（該当率）は83.5%である。一方で「すぐに就職するが正社員・正規の職員にこだわらない」の該当率は27.0%である。この結果は、これまでの新入生と同様の傾向であり、新入生が大学卒業後すぐに正規雇用を志向していることがうかがえる（お茶の水女子大学 2016）。

「すぐに大学院などに進学する」の全体での該当率は62.8%である。特に理学部が高く、理学部の該当率は83.6%であり、これまでの新入生と同様である（お茶の水女子大学 2016）。

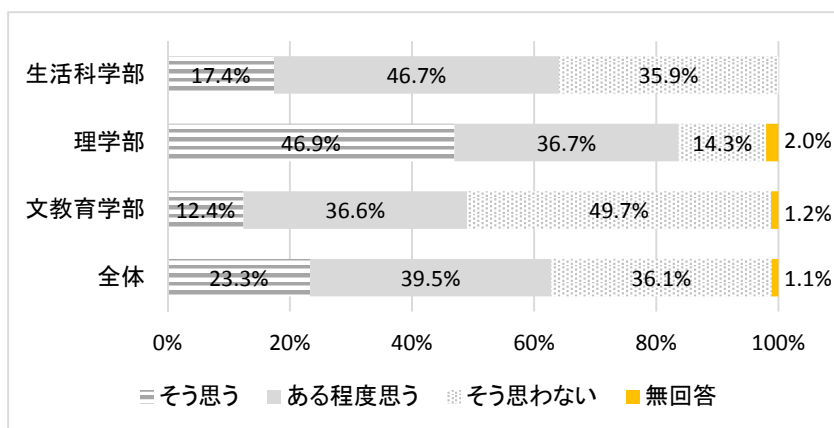
「資格試験・公務員試験などに合格するまで就職しない」は、全体での該当率は32.1%である。特に生活科学部39.1%と文教育学部36.1%での該当率が高く、理学部では低いことが特徴である。



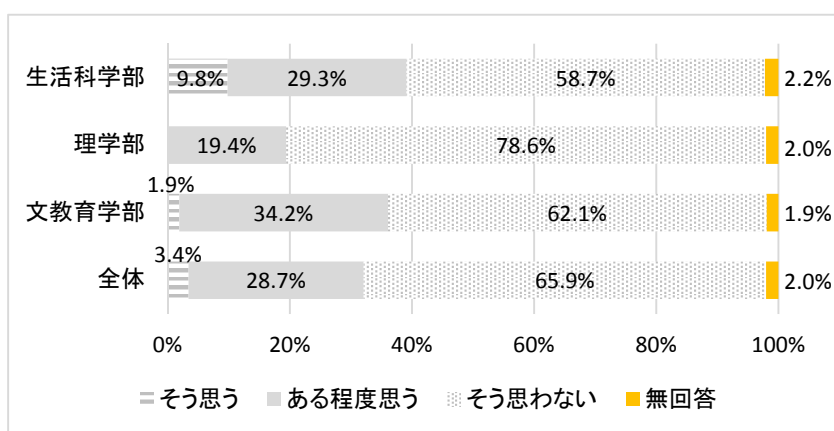
図表 5-2 すぐに就職して正社員・正規の職員になる



図表 5-3 すぐに就職するが正社員・正規の職員にこだわらない



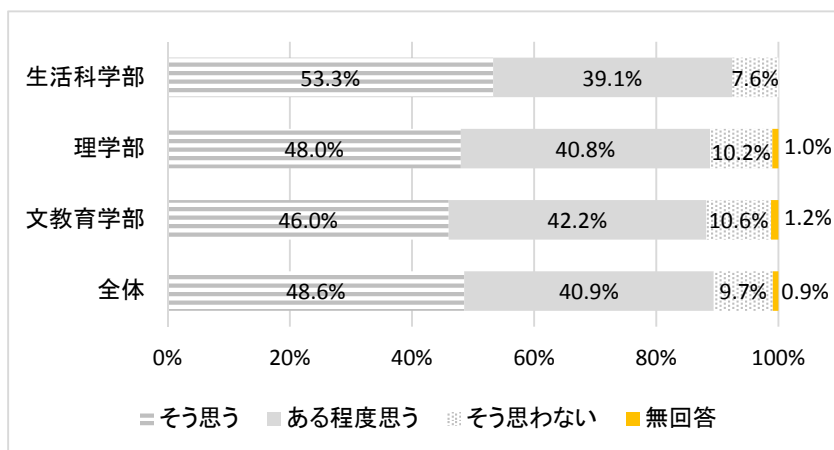
図表 5-4 すぐに大学院などに進学する



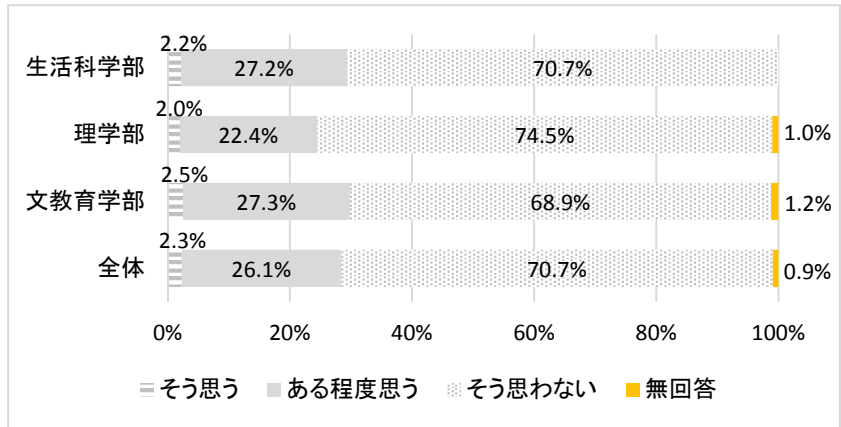
図表 5-5 資格試験・公務員試験などに合格するまで就職しない

次に図表 5-6 と図表 5-7 は、「就職後の勤務・退職」について尋ねた結果である。

いずれの項目も学部による大きな差異はみられず、「最初の就職先にできるだけ長く勤める」に該当する人は全体のおよそ 9 割に及んでいる。「結婚・出産したら仕事をやめる」の該当率は 28.4% であり、「そう思わない」に回答した人は全体では 70.7% である。特に理学部では、74.5% と他学部と比較して高い割合であることから、理学部の新生は、入学時から職業を継続する意思をもつ割合が高いことが示されている。



図表 5-6 最初の就職先にできるだけ長く勤める



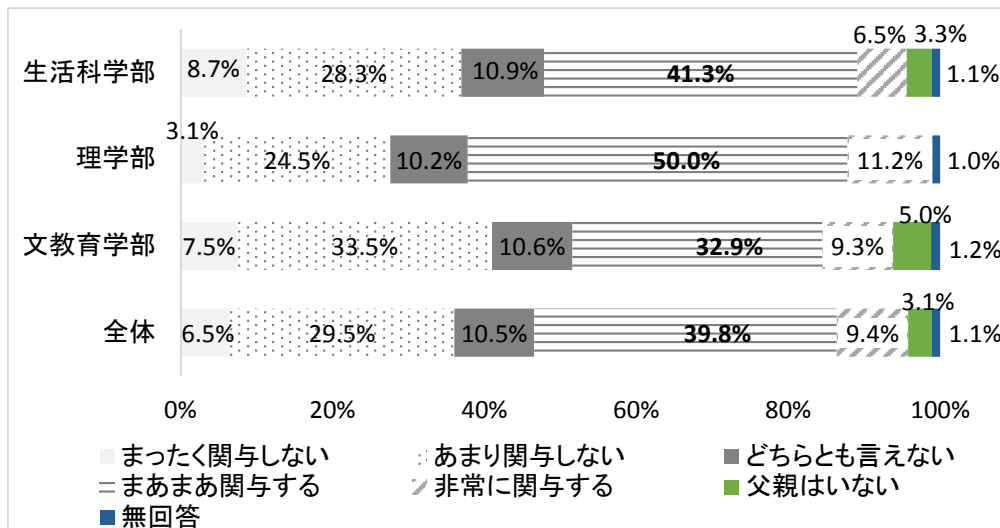
図表 5-7 結婚・出産したら仕事をやめる

③ 就職や将来に関する親の関与

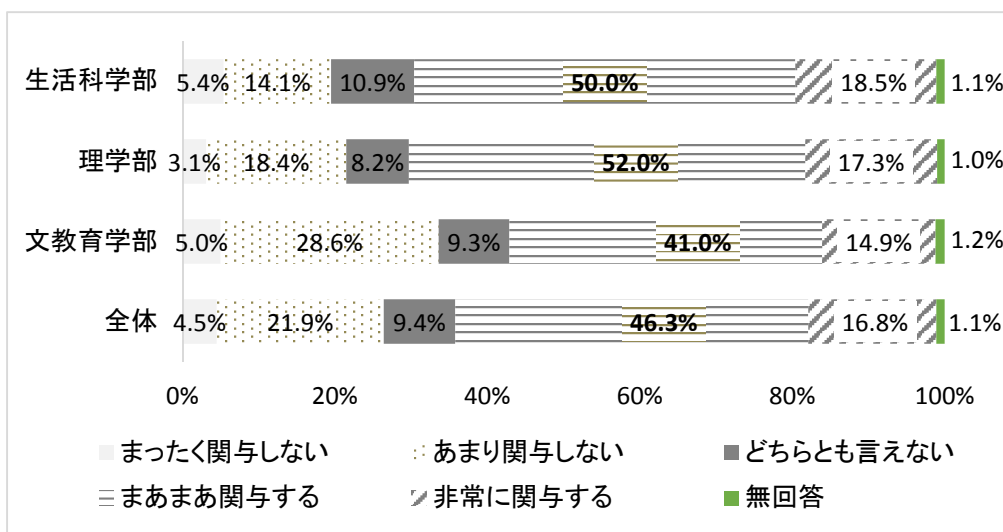
就職や将来に関する親の関与について 5 件法で尋ねた。図表 5-8 に父親の関与についての結果を、図表 5-9 に母親の関与についての結果を示す。

平成 28 年度新入生は、就職や将来のことに関して、全体の 49.2%に父親の関与があり（「非常に関与する」＋「まあまあ関与する」に回答）、全体の 63.1%に母親の関与がある。平成 27 年度新入生では、全体の 48.2%に父親の関与があり、全体の 68.0%に母親の関与があるという結果であったが、平成 28 年度新入生では母親の関与があると答えた割合が昨年よりもやや少ない。（お茶の水女子大学 2016）。大学卒業後の進路に対する支援活動については、保護者への進路支援活動の説明および保護者が進路選択に果たす役割などについて、大学から情報を提供することが有益であることが考えられた。

学部別では、平成 27 年度新入生では、理学部で父親が関与する割合が 51.3%とやや多く、生活科学部で母親の関与の割合が 72.2%を多いことが示された（お茶の水女子大学 2016）。本年度は、理学部で親の関与する割合が高く、父親の関与する割合が 61.2%、母親が関与する割合も 69.3%と他学部比べて高いことが特徴である。



図表 5-8 就職や将来のことに関する父親の関与



図表 5-9 就職や将来のことに関する母親の関与

第2章「新入生の保護者調査」の結果

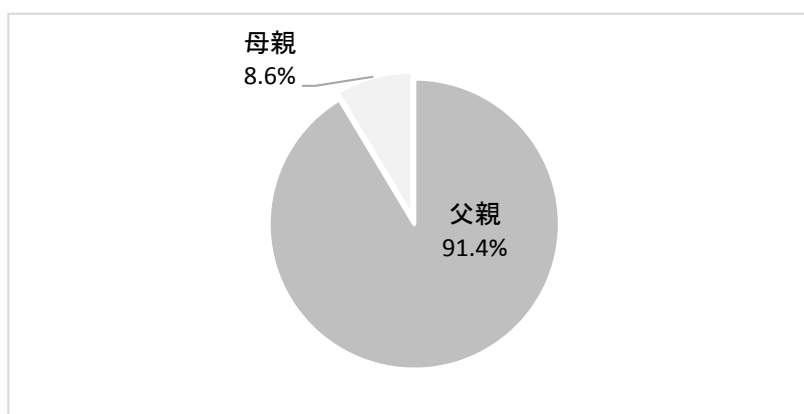
第2章では、新入生の保護者343名に対する調査結果について報告する。

(1) 家庭の暮らし向き

はじめに、新入生の家庭の暮らし向きについて、①主な家計支持者、②家計支持者の職業、③家計支持者の年収、④世帯年収、⑤大学入学後の家庭の暮らし向きについて示す。

① 主な家計支持者

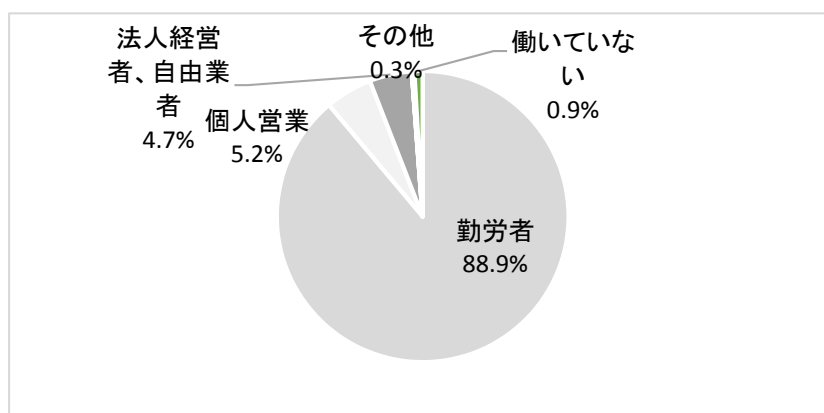
図表 1-1 は、新入生の主な家計支持者についての結果である。主な家計支持者は、全体の91.4%が「父親」、8.6%が「母親」である。平成27年度新入生の保護者も同様の傾向であった（お茶の水女子大学 2016）。



図表 1-1 家計支持者

② 家計支持者の職業

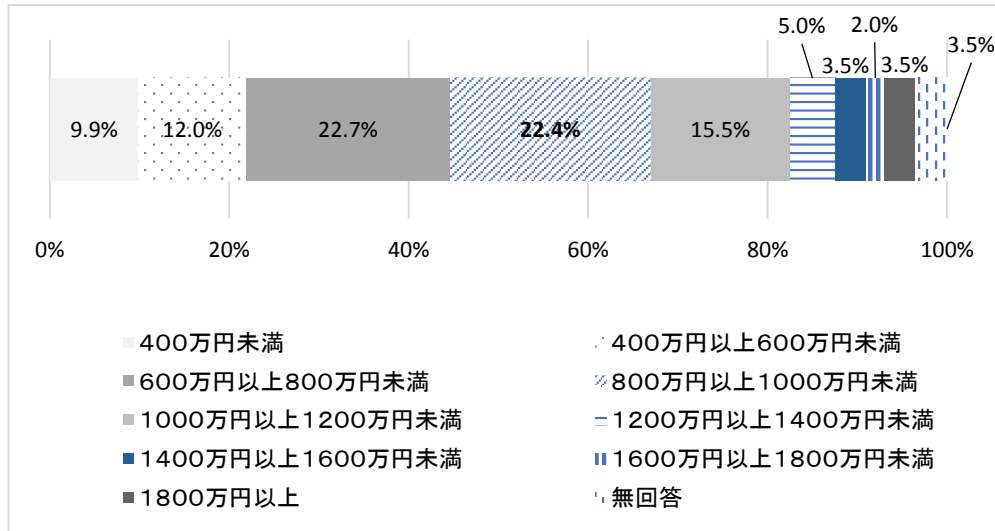
図表 1-2 に、家計支持者の職業について示す。家計支持者の職業は「勤労者」が全体の88.9%を占め、次いで「個人営業」が5.2%である。平成27年度新入生の保護者も、同様の傾向が示されている（お茶の水女子大学 2016）。



図表 1-2 家計支持者の職業

③ 家計支持者の年収

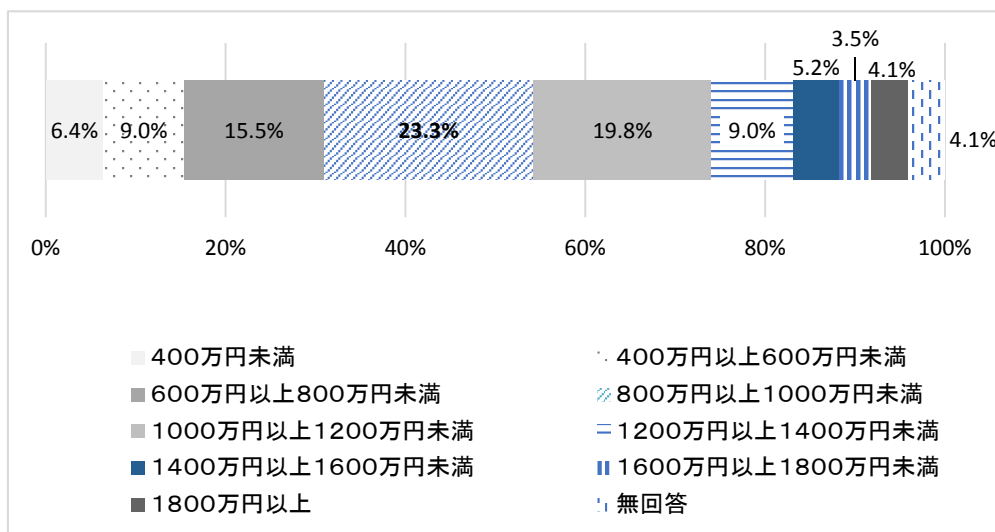
図表 1-3 に新入生の家計支持者の年収について示す。「600 万円以上 800 万円未満」22.7%が最も多く、次いで「800 万円以上 1000 万円未満」22.4%、「1000 万円以上 1200 万円未満」15.5%と続いている。この傾向は平成 27 年度新入生の保護者とほぼ同様である(お茶の水女子大学 2016)。



図表 1-3 家計支持者の年収

④ 世帯年収

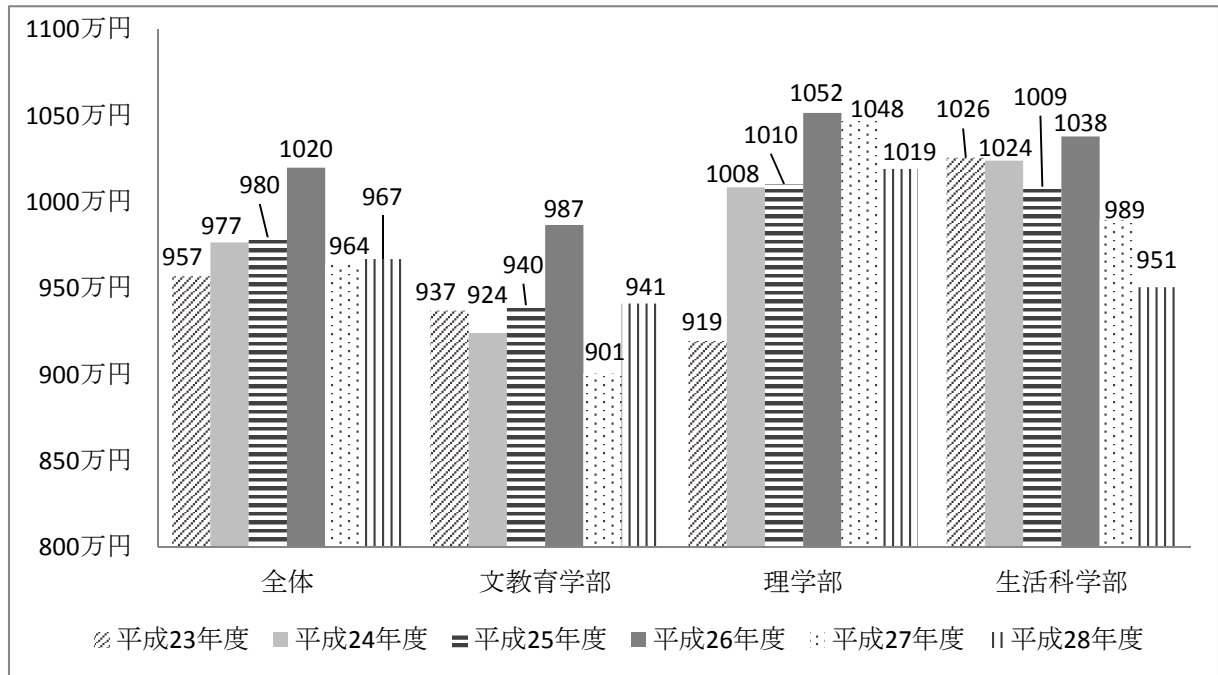
さらに、新入生の家庭の世帯年収について、家計支持者同様に尋ねた結果が図表 1-4 である。全体で見ると、「800 万円以上 1000 万円未満」が 23.3%と最も高く、「1000 万円以上 1200 万円未満」19.8%、「600 万円以上 800 万円未満」15.5%がそれに続いている。



図表 1-4 世帯年収

『平成 26 年度学生生活調査』(日本学生支援機構 2016)によると、家庭の年間収入別学生数の割合(大学昼間部)について、世帯年収が 1000 万円を超える家庭は全体の 24.4%、国立大学・女

子では 27.2%である。それに対し図表 1-4 に示すように、本学新入生の家庭のうち、世帯年収が 1000 万円を超えている家庭は少なくとも全体の 41.6%を占めており、家庭の世帯年収が全国水準に比べて、高い方に偏っている。平成 27 年度新入生でも同様の傾向が示されている（お茶の水女子大学 2016）。参考に、図表 1-5 に、各カテゴリーの中央値に基づき、平成 23 年度以降の新入生の家庭の世帯年収平均（推計）を算出したものを示す。平成 26 年度新入生の平均世帯収入が他の年度より高いこと、生活科学部の平均世帯年収が低くなる傾向にある。そのほかは同程度の平均値で推移している。

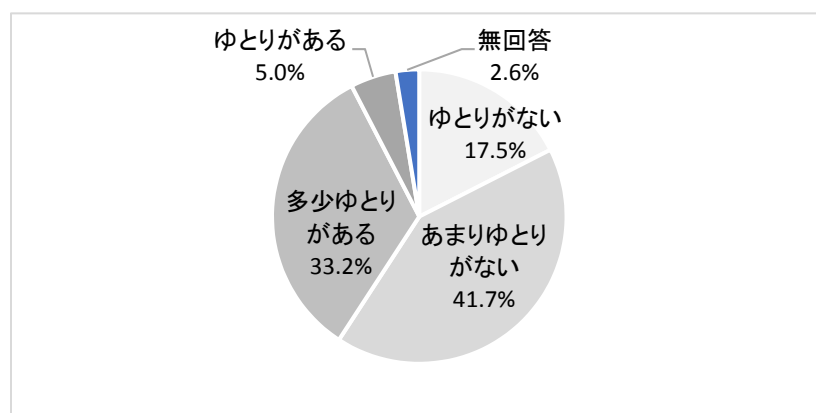


図表 1-5 世帯年収平均（推計）

⑤ 大学入学後の家庭の暮らし向き

図表 1-6 に、新入生が大学に入学した後の家庭の暮らし向きについて尋ねた結果を示す。

全体で見ると、「あまりゆとりがない」が 41.7%と最も高く、「ゆとりがない」17.5%と合わせると全体のおよそ 6 割に及んでいる。



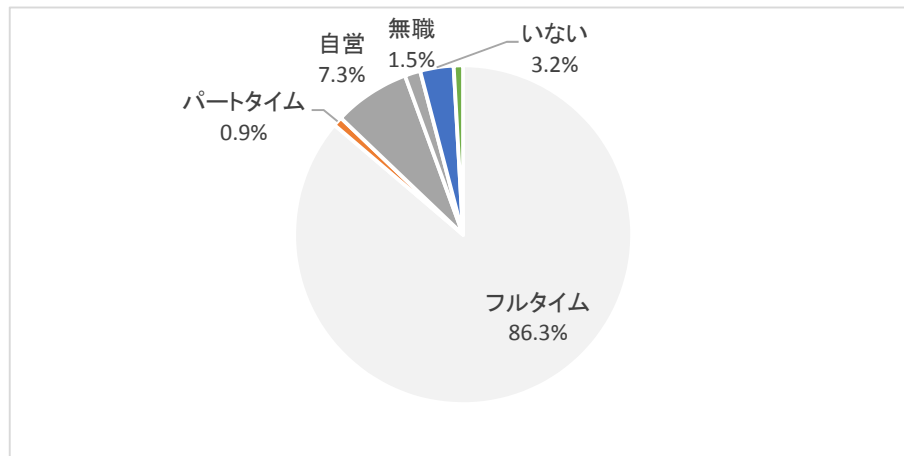
図表 1-6 入学した後の家庭の暮らし向き

(2) 親の職業・学歴

本節では新入生の親の職業や学歴について、①親の勤務形態および職種、②親の学歴について示す。

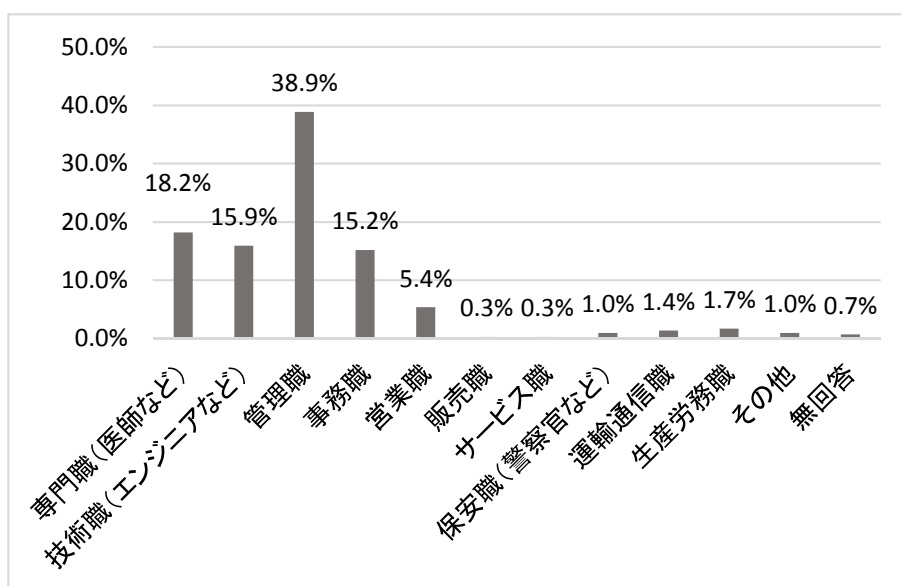
① 親の勤務形態および職種

図表 2-1 は、新入生の父親の勤務形態について、「フルタイム勤務」「パートタイム勤務」「自営」「無職」「いない」別に尋ねた結果である。新入生の父親の勤務形態は「フルタイム勤務」が 86.3% と約 9 割を占め、次いで「自営」が 7.3% である。これらの勤務形態の割合は例年と同様である。



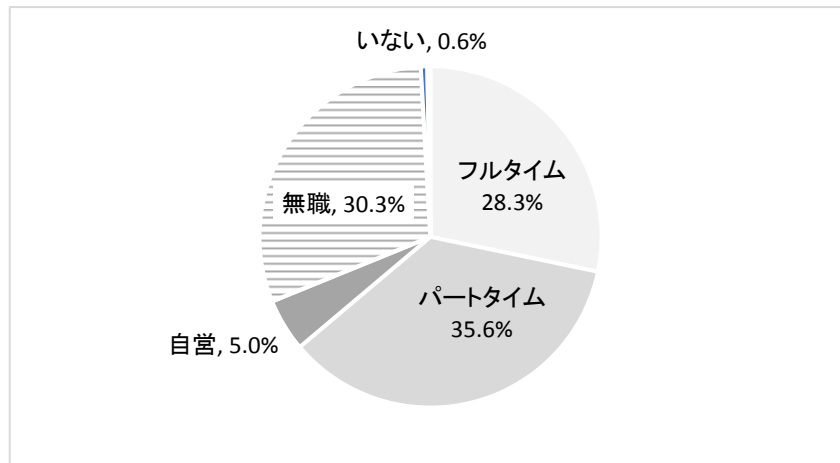
図表 2-1 父親の勤務形態

次にフルタイムで勤務する父親だけに職種について尋ねた結果を図表 2-2 に示す。最も多い職種は、管理職（会社・団体の役員、部課長・工場長・支店長など）38.9% である。次いで、専門職（医師・弁護士・研究者・教師など）が 18.2%、技術職（エンジニア・情報処理技術者など）15.9% である。



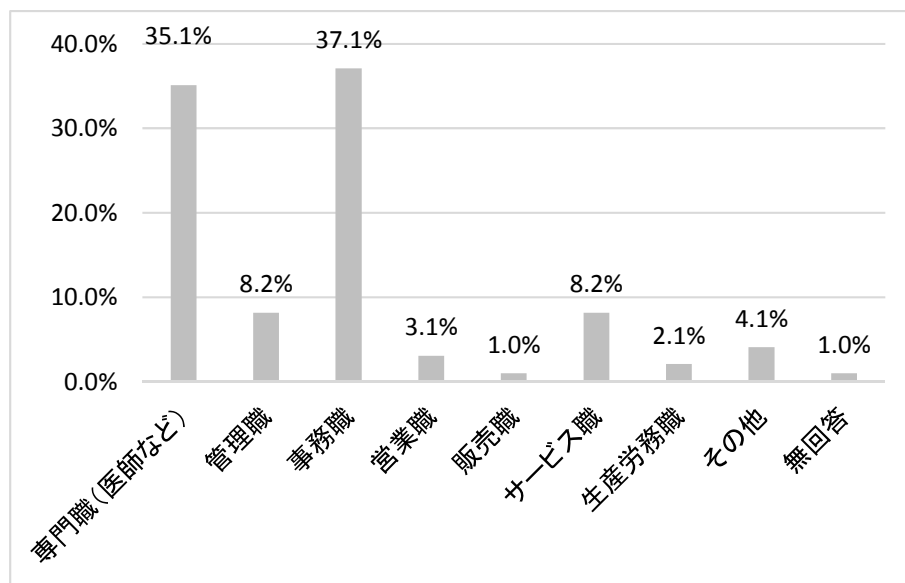
図表 2-2 父親の職種

同様に、新入生の母親の勤務形態について尋ねた結果が図表 2-3 である。「パートタイム勤務」が全体の 35.6%で最も多く、「無職」30.3%、「フルタイム勤務」28.3%が続いており、平成 27 年度新入生とほぼ同じ傾向である（お茶の水女子大学 2016）。無職が約 3 割であることから、新入生の約 7 割の母親が就業していることが示されている。



図表 2-3 母親の勤務形態

次にフルタイムで勤務する母親だけに職種について尋ねた結果を図表 2-4 に示す。最も多い職種は、事務職（庶務・人事・経理・調査・企画・秘書・受付など）37.1%である。次いで、専門職（医師・弁護士・研究者・教師など）が 35.1%、管理職（会社・団体の役員、部課長・工場長・支店長など）8.2%、サービス職（美容師・調理師・客室乗務員・旅行添乗員など）8.2%である。父親と比較をすると、母親は専門職および事務職の割合がそれぞれ 3.5 割程度と高く、管理職は 1 割弱と少ない。反対に父親は、管理職の割合が 38.9%であり。母親の管理職 8.2%と比べると高い割合を占めている。

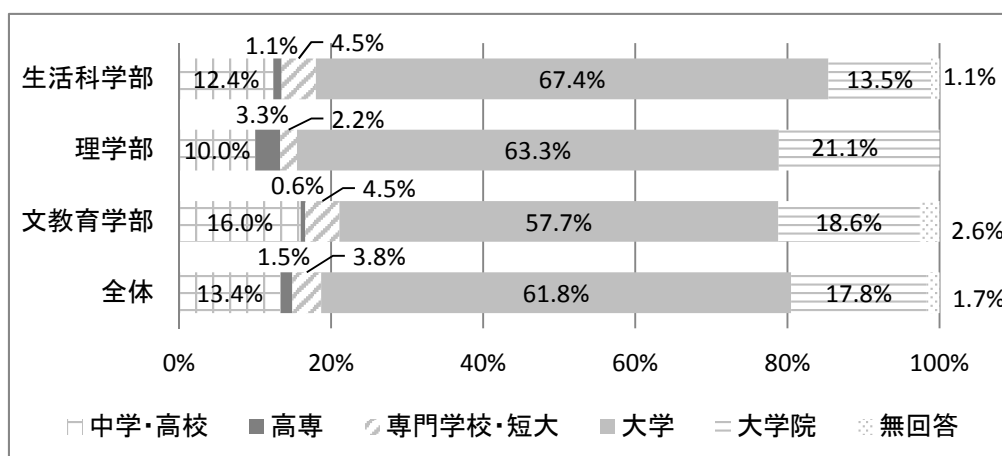


図表 2-4 母親の職種

② 親の学歴

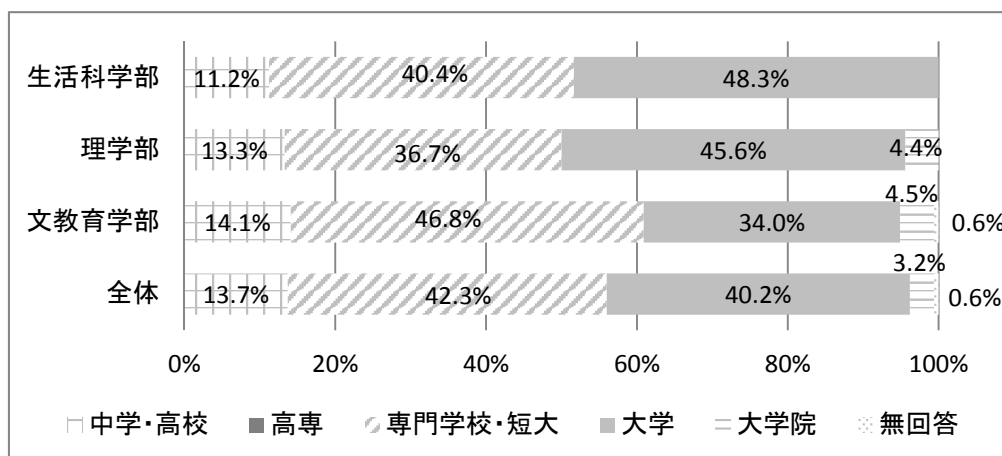
図表 2-5 は、新入生の父親の最終学歴について尋ね、「大学院」「大学」「専門学校・短大」「高等専門学校」「中学・高校」別に示した結果である。新入生の父親の最終学歴は、全体でみると、「大学」が 61.8%と最も高く、それに「大学院」17.8%、「中学・高校」13.4%が続いている。平成 27 年度新入生の父親も、同様の傾向が示されている（お茶の水女子大学 2016）。

学部別では、「大学」「大学院」を合わせた割合が、理学部では 84.4%であり、父親の学歴が高い傾向が見られる。『平成 22 年度国勢調査』（総務省統計局 2011）によると、最終学歴が大学・大学院である男性は 28.7%であり、これと比較すると平成 28 年度新入生の父親の学歴は高いほうに偏っており、この傾向も昨年と同様である。



図表 2-5 父親の最終学歴

同様に、新入生の母親の最終学歴について尋ねた結果が図表 2-6 である。平成 28 年度の新入生の母親の学歴は、全体で「大学」40.2%、「専門学校・短大」42.3%となり、「中学・高校」が 13.7%である。学部別では、生活科学部では「大学」が 48.3%と高く、また「大学・大学院」卒を合わせると理学部が 50.0%と高い割合となっている。『平成 22 年度国勢調査』（総務省統計局 2011）によると、最終学歴が大学・大学院である女性は 20.6%であり、これと比較すると父親と同様に平成 28 年度新入生の母親の学歴も高いほうに偏っている。



図表 2-6 母親の最終学歴

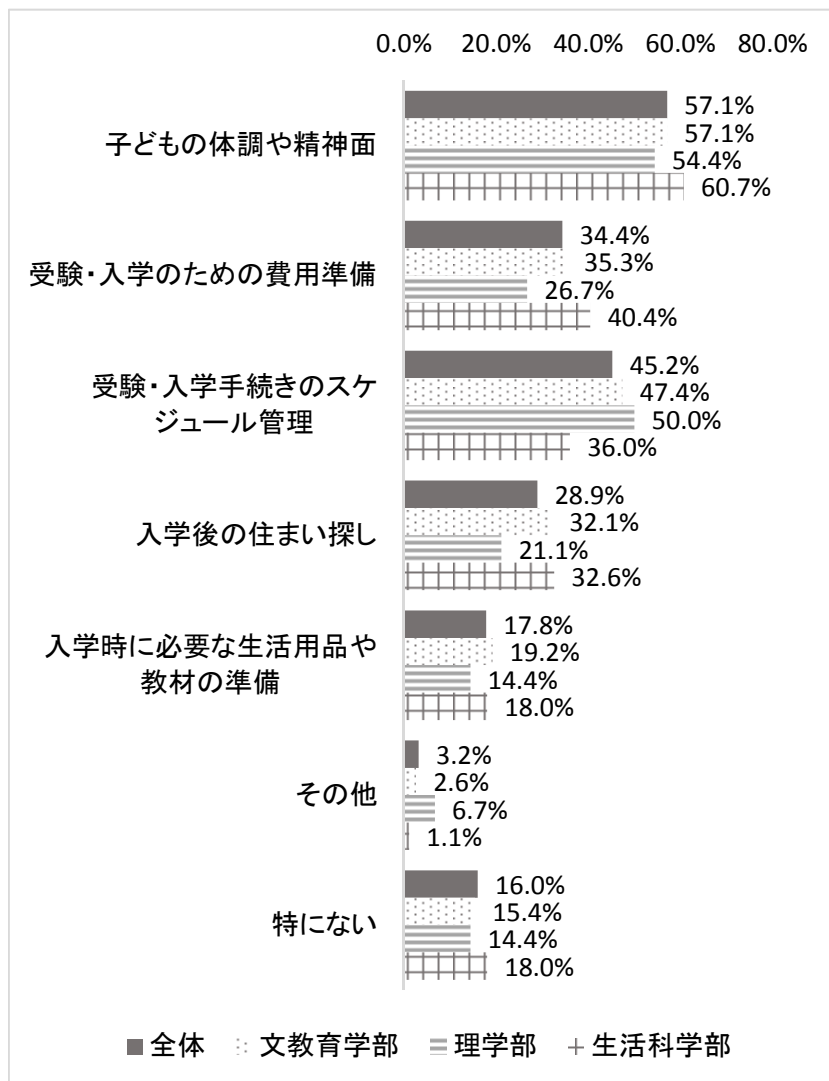
(3) 大学生生活の不安・心配事

本節では保護者から見たご子女の大学生生活の不安・心配事について、①受験から入学までに困ったこと、②大学生活が始まって心配なこと、③本学の学生支援活動で期待するものを示す。

① 受験から入学までに困ったこと

図表 3-1 は、受験から入学までに困ったことについて、複数回答可として尋ねた結果である。

困ったことについては、「子どもの体調や精神面」が全体の 57.1%と最も高く、「受験・入学手続きのスケジュールの管理」が全体の 45.2%でそれに続いている。「特にない」は全体の 16.0%であった。これらの結果は、平成 27 年度新入生の保護者でも同様に示されている（お茶の水女子大学 2016）。学部別では、生活科学部は「子どもの体調や精神面」「受験・入学のための費用準備」について困ったと回答する保護者の割合が他学部比べて高い。

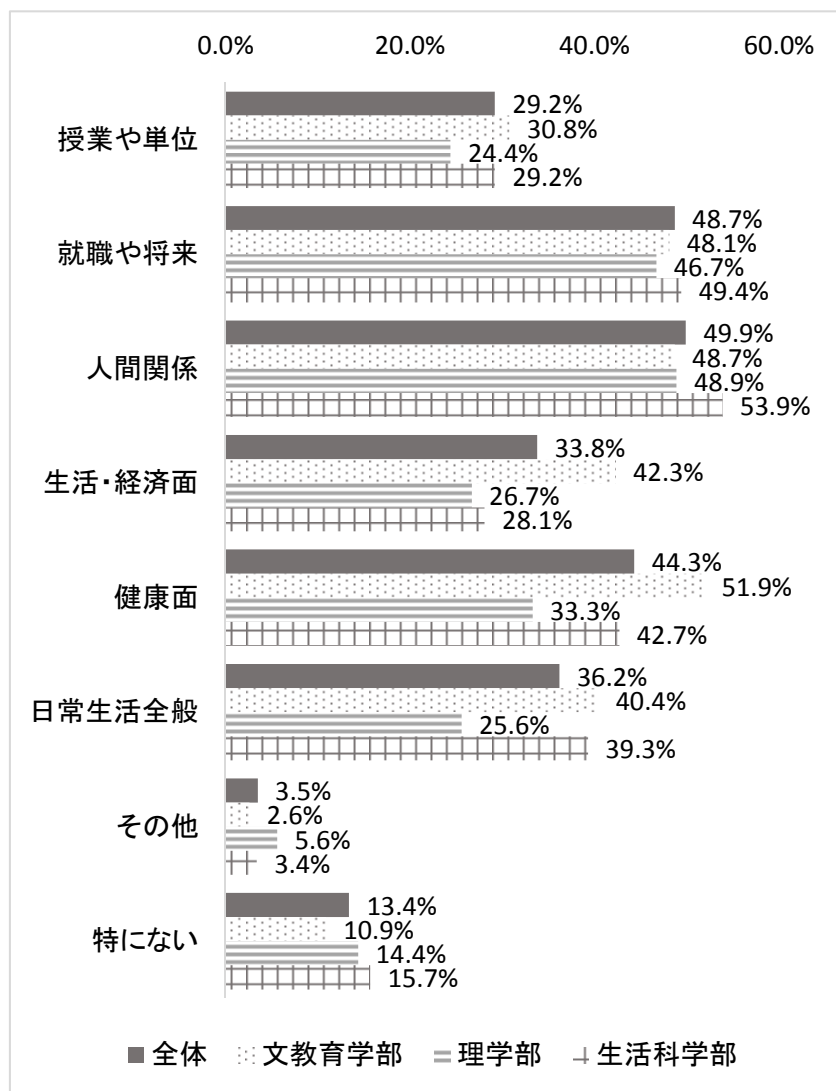


図表 3-1 受験から入学までに困ったこと

② 大学生活が始まって心配なこと

図表 3-2 は、大学生活が始まって心配なことについて、複数回答可として尋ねたものである。心配なことについては、「人間関係」が全体で 49.9%と最も高く、「就職や将来」48.7%、「健康面」44.3%がそれに続く結果となっている。平成 27 年度および平成 26 年度新入生の保護者では、「就職や将来」が最も高く、今年度は傾向がやや異なった（お茶の水女子大学 2016）。「特にない」は全体の 13.4%である例年と大きな差異はみられない。

学部別では、理学部において「授業や単位」「生活・経済面」「日常生活全般」を心配する保護者の割合が低い。

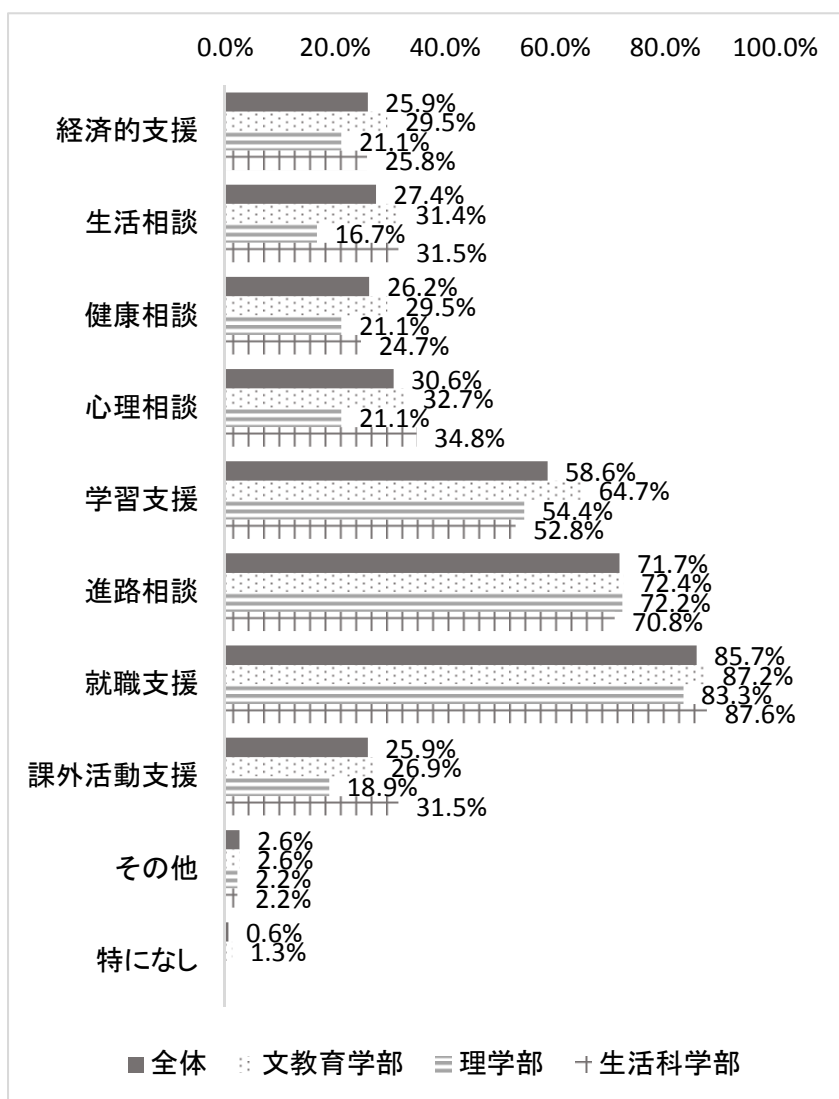


図表 3-2 大学生活が始まって心配なこと

③ 本学の学生支援活動で期待するもの

図表 3-3 は、「お茶大生の学習環境と生活・意識に関する調査」の調査項目を参考に、本学の学生支援活動に期待するものについて、複数回答可として尋ねた結果である。

「就職支援」が全体の 85.7% で最も高い。次いで「進路相談」71.7%、「学習支援」58.6% がそれに続くが、平成 27 年度新入生の保護者でも同様に示されている（お茶の水女子大学 2016）。学部別では、文教育学部では「学習支援」が 64.7% と他の学部より高く、生活科学部では、「課外活動支援」が 31.5% と他の学部より高いことが示された。



図表 3-3 本学の学生支援活動で期待するもの

第3章 新入生および保護者調査の結果

—奨学金・学生寮に関するクロス集計—

(1) 問題・目的

本章では、新入生および保護者を対象とした調査の中から、奨学金制度および学生寮に関する調査項目を取り上げ、それぞれの現状を明らかにし、昨年度の結果と比較して、今後の課題や展開を示唆することを目的とする。具体的には、以下の2点について明らかにする。

1. 新入生のうち、どのような学生が奨学金を認知しているのか、奨学金の受給経験があるのか、学生寮を認知しているのかを明らかにし、本学の奨学金制度および学生寮の今後の課題や展開を示唆する。
2. 保護者のうち、どのような保護者が奨学金を希望しているのか、学生寮への入寮を希望しているのかを明らかにし、本学の奨学金制度および学生寮の今後の課題や展開を示唆する。

(2) 奨学金に関する結果

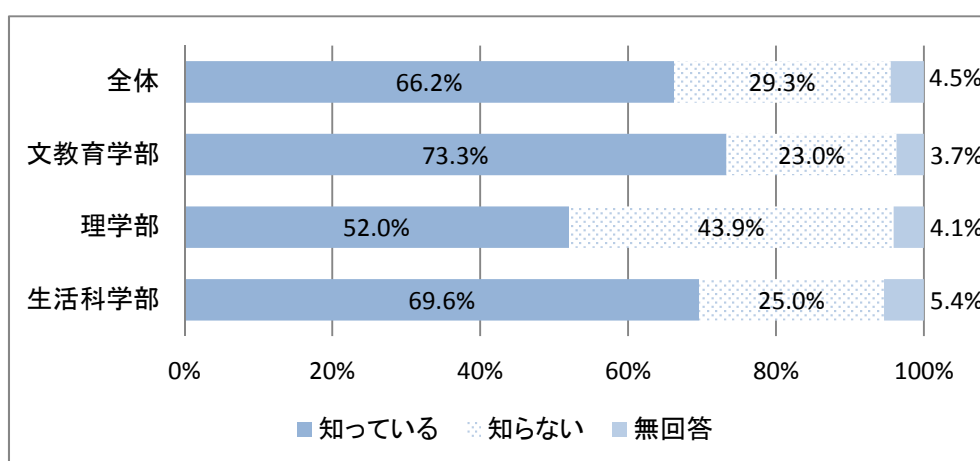
① 新入生の結果

<奨学金等制度の認知と受給経験>

新入生の奨学金等制度の認知と受給経験について示したものが図表1-1～1-3である。

図表1-1は奨学金等制度の認知について、学部別に示している。奨学金等制度について、一つでも認知していれば「知っている」とした。

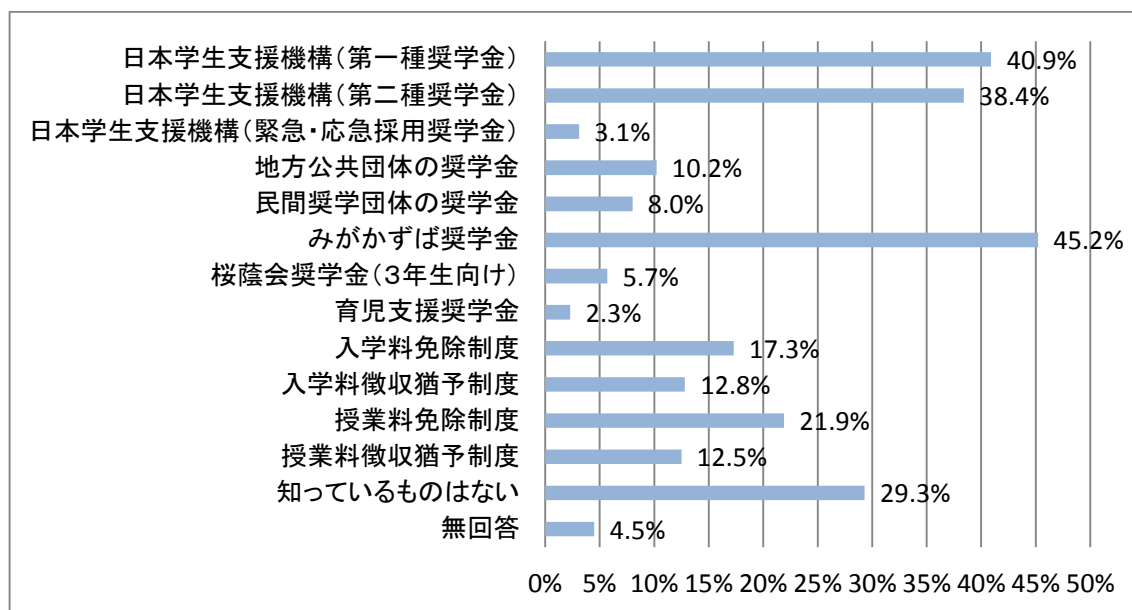
全体では66.2%の新入生が奨学金等制度について認知している。学部別にみると、理学部での認知度が他の学部と比べて15ポイント以上低い結果となっている。



図表1-1 学部別奨学金等制度の認知

図表1-2は、奨学金等制度の認知について、本学独自の制度も含め複数回答可として尋ねた結果である。日本学生支援機構による奨学金が第一種は40.9%、第二種は38.4%とともに高い割合を示している。「知っているものはない」は29.3%であり、これは平成27年度新入生の30.3%とほぼ同様である。(お茶の水女子大学 2016)

本学独自の奨学金制度「みがかずば奨学金」については45.2%と最も高い割合で認知されている。この傾向は平成27年度新入生の44.0%、平成26年度新入生の44.5%と同様の傾向である。(お茶の水女子大学 2014：2016)



図表1-2 奨学金等制度の認知

図表1-3は、これまで受けたことのある奨学金等制度について、複数回答可として尋ねた結果である。「特待生」が3.7%と最も多く、ほかの奨学金等制度の受給経験はいずれも2%未満にとどまっている。

図表1-3 制度別奨学金・学費免除等制度の受給経験

奨学金名称	日本学生支援機構の奨学金	地方公共団体の奨学金	学校独自の奨学金	民間奨学団体の奨学金	新聞社の奨学金	その他の奨学金	学費免除	特待生
受けたことがある	1.1%	1.7%	1.4%	0.0%	0.0%	0.0%	0.9%	3.7%

<奨学金等制度の認知と属性などの項目とのクロス表>

次に、どのような学生が奨学金等制度を認知しているのかを明らかにするため、「奨学金の認知」と各項目のクロス表を作成した。「奨学金の認知」は、それぞれの選択肢の中で一つでも認知していれば「知っている」として分析した。結果を図表1-4～1-9に示す。

図表1-4は「きょうだい数」と「奨学金認知」のクロス表である。きょうだいが2人以上いる場合には、奨学金等制度について認知している割合が高く、きょうだいのいない1人っ子である場合には奨学金等制度について認知している割合が低い傾向がみられた。ただし、きょうだい数と奨学金の認知について有意な関連はみられなかった。これは昨年度と同様の傾向であった。

図表1-4 きょうだい数 と 奨学金認知 のクロス表

			奨学金認知		合計
			知っている	知らない	
きょうだい数	1人っ子	度数	33	18	51
		%	64.7%	35.3%	100.0%
	2人	度数	139	66	205
		%	67.8%	32.2%	100.0%
	3人以上	度数	62	19	81
		%	76.5%	23.5%	100.0%
合計		度数	234	103	337
		%	69.4%	30.6%	100.0%

p<.256

図表1-5は「出身高校設置者」と「奨学金認知」のクロス表である。公立高校出身者は奨学金等制度について認知している割合が高く、私立高校出身者には奨学金等制度について認知している割合が低いという傾向がみられた。ただし出身高校の設置者と奨学金の認知について有意な関連は見られなかった。

図表1-5 出身高校設置者 と 奨学金認知 のクロス表

			奨学金認知		合計
			知っている	知らない	
出身高校 設置者	公立	度数	149	52	201
		%	74.1%	25.9%	100.0%
	私立	度数	72	46	118
		%	61.0%	39.0%	100.0%
	国立	度数	11	4	15
		%	73.3%	26.7%	100.0%
	海外	度数	2	1	3
		%	66.7%	33.3%	100.0%
合計		度数	234	103	337
		%	69.4%	30.6%	100.0%

p<.105

図表 1-6 は「奨学金受給経験」と「奨学金認知」のクロス表である。奨学金の受給経験がある場合には、奨学金等制度についても認知している割合が高いことが明らかとなった。昨年度は「奨学金受給経験」と「奨学金認知」の間には有意な関連は見られなかった。

図表1-6 奨学金受給経験 と 奨学金認知 のクロス表

			奨学金認知		合計
			知っている	知らない	
奨学金 受給経験	あり	度数	29	1	30
		%	96.7%	3.3%	100.0%
	なし	度数	205	102	307
		%	66.8%	33.2%	100.0%
合計		度数	234	103	337
		%	69.4%	30.6%	100.0%

p<.001

図表 1-7 は「入学後の予定住居」と「奨学金認知」のクロス表である。入学後に予定している住居が実家以外（賃貸マンション・アパート、学生寮）の新入生は、奨学金等制度についても認知している割合が高いことが示された。

図表1-7 入学後の予定住居 と 奨学金認知 のクロス表

			奨学金認知		合計
			知っている	知らない	
入学後の 予定住居	実家	度数	118	70	188
		%	62.8%	37.2%	100.0%
	実家以外	度数	116	33	149
		%	77.9%	22.1%	100.0%
合計		度数	234	103	337
		%	69.4%	30.6%	100.0%

p<.003

図表1-8は「仕送り額」と「奨学金認知」のクロス表である。図表1-8での「仕送り額」は、入学後の予定住居を「実家以外」と回答した新入生の仕送り額を示している。仕送りがないか、あるいは5万円未満の場合、奨学金を認知している割合が高い傾向がみられた。ただし、仕送り額と奨学金認知との間に有意な関連はみられなかった。

図表1-8 仕送り額 と 奨学金認知 のクロス表

		奨学金認知		合計	
		知っている	知らない		
仕送り額	仕送りなし	度数	13	3	16
		%	81.3%	18.8%	100.0%
	5万円未満	度数	14	1	15
		%	93.3%	6.7%	100.0%
	5万円以上 10万円未満	度数	53	15	68
		%	77.9%	22.1%	100.0%
	10万円以上	度数	32	15	47
		%	68.1%	31.9%	100.0%
合計		度数	112	34	146
		%	76.7%	23.3%	100.0%

p<.211

図表 1-9 は「学生寮認知」と「奨学金認知」のクロス表である。学生寮について認知している場合は、奨学金等制度についても認知している割合が高いことが示された。これは昨年度と同様の結果であった。

図表1-9 学生寮認知 と 奨学金認知 のクロス表

		奨学金認知		合計	
		知っている	知らない		
学生寮認知	知っている	度数	196	50	246
		%	79.7%	20.3%	100.0%
	知らない	度数	38	52	90
		%	42.2%	57.8%	100.0%
合計		度数	234	102	336
		%	69.6%	30.4%	100.0%

p<.000

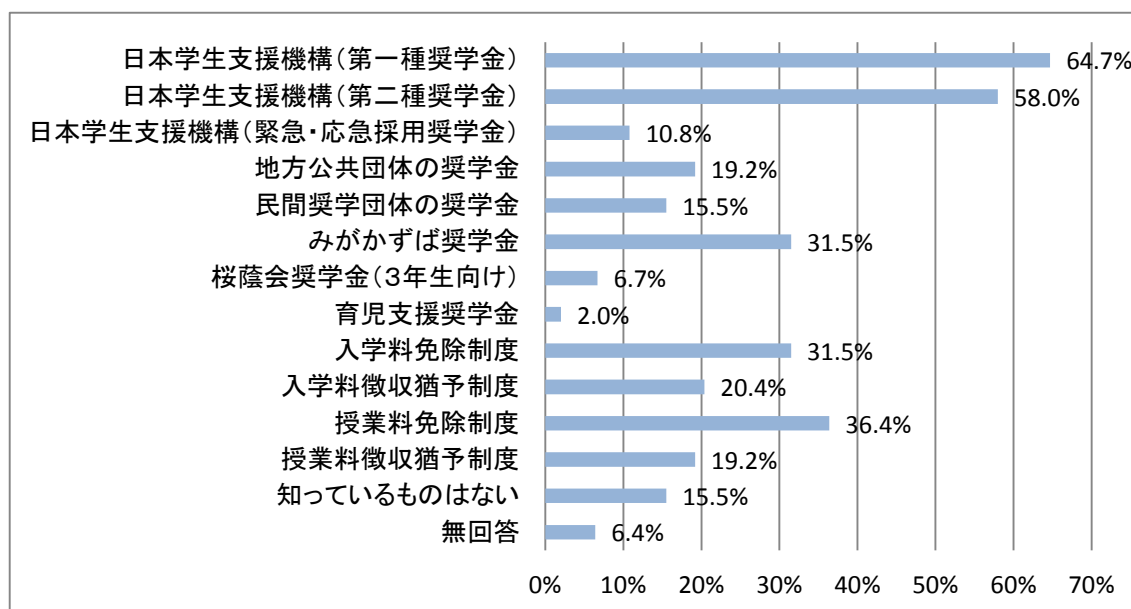
② 保護者の結果

〈奨学金等制度の認知・受給経験・利用希望〉

保護者票の奨学金等制度の認知、受給経験、利用希望について示したものが図表 2-1～2-3 である。

図表2-1は、保護者の奨学金・学費免除等の制度の認知について、本学独自の制度も含め複数回答可として尋ねた結果である。

奨学金制度に関しては、日本学生支援機構第一種が64.7%、第二種も58.0%と最も高い認知率である。本学独自の奨学金制度である「みがかずば奨学金」については31.5%で、これは平成27年度の保護者の33.6%と同じ傾向である。学費免除・猶予の制度に関しては、免除制度の認知率は全体の3割を超えているのに対し、猶予制度の認知率は全体の2割程度であり、昨年度と同じ傾向を示している（お茶の水女子大学 2016）。



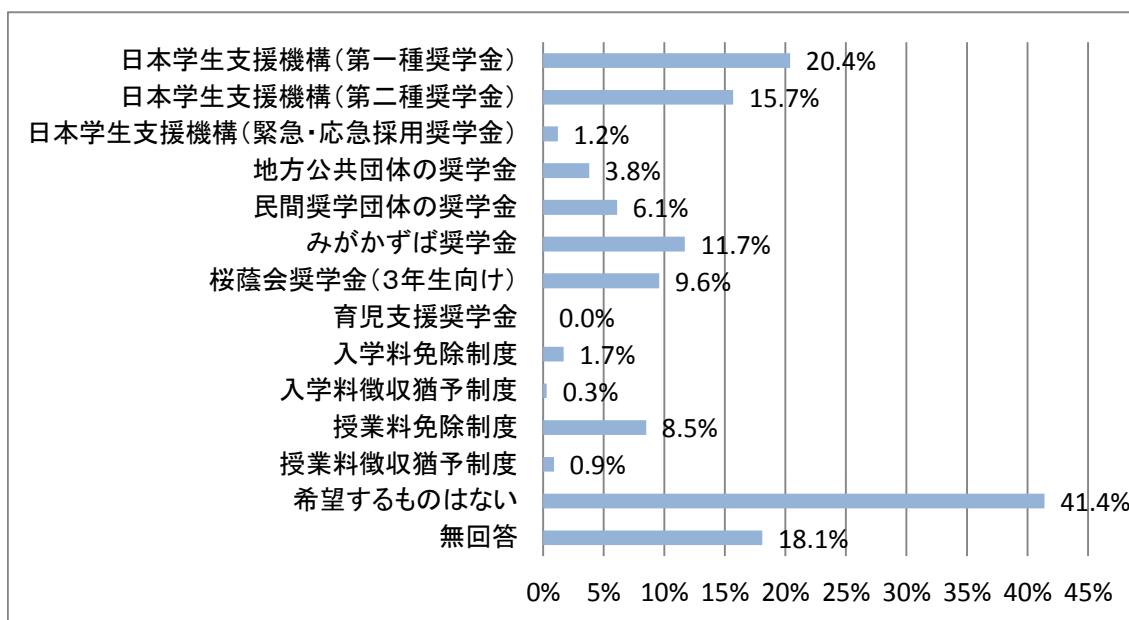
図表 2-1 保護者の奨学金等制度の認知度

図表2-2では本学入学予定のご子女がこれまで受けたことのある奨学金等制度について、複数回答可として保護者に尋ねた結果である。「特待生」が最も多く3.8%であった。「日本学生支援機構の奨学金」については0.6%であり、これは平成27年度の2.1%と比較して1.5ポイント低い結果となった。（お茶の水女子大学 2016）

図表 2-2 制度別奨学金等制度の受給経験(保護者票)

奨学金名称	日本学生支援機構の奨学金	地方公共団体の奨学金	学校独自の奨学金	民間奨学団体の奨学金	新聞社の奨学金	その他の奨学金	学費免除	特待生
受けたことがある	0.6%	1.7%	1.5%	0.0%	0.0%	0.0%	1.2%	3.8%

図表 2-3 では大学入学後の奨学金等制度利用希望について複数回答可として尋ねた結果である。奨学金制度については、日本学生支援機構による奨学金の利用希望が最も高く、第一種で 20.4%、第二種で 15.7%である。本学独自の奨学金制度である「みがかずば奨学金」は 11.7%であり、日本学生支援機構に次ぐ希望率である。学費免除制度については、授業料免除制度が 8.5%、入学料免除制度が 1.7%である。これは平成 27 年度の結果と同様であった。



図表 2-3 奨学金等制度の利用希望

<奨学金希望と属性などの項目とのクロス表>

次に、どのような保護者が奨学金等制度の利用を希望しているか明らかにするため、「奨学金の希望」と各項目とのクロス表を作成した。それぞれの結果を図表 2-4～2-12 に示す。

図表 2-4 は「家計支持者」と「奨学金希望」のクロス表である。家計支持者が母親の場合、奨学金を希望する割合が高いことが明らかになった。これは昨年度と同様の結果であった。

図表2-4 家計支持者 と 奨学金希望 のクロス表

			奨学金希望		合計
			希望する	希望しない	
家計支持者	父	度数	121	137	258
		%	46.9%	53.1%	100.0%
	母	度数	18	5	23
		%	78.3%	21.7%	100.0%
合計		度数	139	142	281
		%	49.5%	50.5%	100.0%

p<.004

図表 2-5 は、「父親の就労形態」と「奨学金の希望」のクロス表である。父親の就労形態がフルタイム勤務である場合には奨学金を希望する割合が低く、その他の場合、奨学金を希望する割合が高いことが示された。これは昨年度同様の結果であった。

図表2-5 父親の就労形態 と 奨学金希望 のクロス表

		奨学金希望		合計	
		希望する	希望しない		
父親の就労形態	フルタイム勤務	度数	107	131	238
		%	45.0%	55.0%	100.0%
	パートタイム勤務	度数	2	1	3
		%	66.7%	33.3%	100.0%
	自 営	度数	15	7	22
		%	68.2%	31.8%	100.0%
	無 職	度数	2	2	4
		%	50.0%	50.0%	100.0%
	いない	度数	10	1	11
		%	90.9%	9.1%	100.0%
合計		度数	136	142	278
		%	48.9%	51.1%	100.0%

p<.012

図表 2-6 は、「母親の就労形態」と「奨学金の希望」のクロス表である。母親が無職である場合は奨学金を希望する割合が低く、フルタイム勤務である場合には奨学金を希望する割合が高いことが明らかになった。昨年度は「母親の就労形態」と「奨学金希望」の間には有意な関連は見られなかった。

図表2-6 母親の就労形態 と 奨学金希望 のクロス表

		奨学金希望		合計	
		希望する	希望しない		
母親の就労形態	フルタイム勤務	度数	49	25	74
		%	66.2%	33.8%	100.0%
	パートタイム勤務	度数	53	51	104
		%	51.0%	49.0%	100.0%
	自 営	度数	8	7	15
		%	53.3%	46.7%	100.0%
	無 職	度数	26	59	85
		%	30.6%	69.4%	100.0%
	いない	度数	2	0	2
		%	100.0%	0.0%	100.0%
合計		度数	138	142	280
		%	49.3%	50.7%	100.0%

p<.000

図表2-7は「入学後の暮らし向き」と「奨学金希望」のクロス表である。入学後の暮らし向きにゆとりがないと感じている場合には奨学金を希望する割合が高いことが示された。これは昨年度と同様の結果であった。

図表2-7 入学後の暮らし向き と 奨学金希望 のクロス表

			奨学金希望		合計
			希望する	希望しない	
入学後の暮らし向き	ゆとりがない	度数	124	53	177
		%	70.1%	29.9%	100.0%
	ゆとりがある	度数	13	88	101
		%	12.9%	87.1%	100.0%
合計		度数	137	141	278
		%	49.3%	50.7%	100.0%

p<.000

図表2-8は「世帯年収」と「奨学金希望」のクロス表である。「1200万円以上」の選択肢を合算してクロス表を作成した。世帯年収が低いほど奨学金を希望する割合が高く、世帯年収が高いほど奨学金を希望する割合が低いことが明らかになった。これは昨年度と同様の結果であった。

図表2-8 世帯年収 と 奨学金希望 のクロス表

			奨学金希望		合計	
			希望する	希望しない		
世帯年収	400万円未満	度数	19	1	20	
		%	95.0%	5.0%	100.0%	
	400万円以上 600万円未満	度数	23	6	29	
		%	79.3%	20.7%	100.0%	
	600万円以上 800万円未満	度数	33	15	48	
		%	68.8%	31.3%	100.0%	
	800万円以上 1000万円未満	度数	32	37	69	
		%	46.4%	53.6%	100.0%	
	1000万円以上 1200万円未満	度数	21	32	53	
		%	39.6%	60.4%	100.0%	
	1200万円以上	度数	9	44	53	
		%	17.0%	83.0%	100.0%	
	合計		度数	137	135	272
			%	50.4%	49.6%	100.0%

p<.000

図表2-9は「家計支持者年収」と「奨学金希望」のクロス表である。「1200万円以上」の選択肢は合算してクロス表を作成した。家計支持者の年収が低いほど奨学金を希望する割合が高く、家計支持者の年収が高いほど奨学金を希望する割合が低いことが明らかになった。これも昨年度と同様の結果であった。

図表2-9 家計支持者年収 と 奨学金希望 のクロス表

			奨学金希望		合計	
			希望する	希望しない		
家計支持者年収	400万円未満	度数	29	3	32	
		%	90.6%	9.4%	100.0%	
	400万円以上 600万円未満	度数	30	8	38	
		%	78.9%	21.1%	100.0%	
	600万円以上 800万円未満	度数	38	29	67	
		%	56.7%	43.3%	100.0%	
	800万円以上 1000万円未満	度数	23	39	62	
		%	37.1%	62.9%	100.0%	
	1000万円以上 1200万円未満	度数	13	24	37	
		%	35.1%	64.9%	100.0%	
	1200万円以上	度数	5	32	37	
		%	13.5%	86.5%	100.0%	
	合計		度数	138	135	273
			%	50.5%	49.5%	100.0%

p<.000

図表2-10は「奨学金受給経験」と「奨学金希望」のクロス表である。これまでに奨学金受給経験がある場合には奨学金を希望する割合が高いことが明らかになった。これは昨年度と同様の結果であった。

図表2-10 奨学金受給経験 と 奨学金希望 のクロス表

			奨学金希望		合計
			希望する	希望しない	
奨学金 受給経験	なし	度数	118	138	256
		%	46.1%	53.9%	100.0%
	あり	度数	21	4	25
		%	84.0%	16.0%	100.0%
合計		度数	139	142	281
		%	49.5%	50.5%	100.0%

p<.000

図表2-11は「学生寮認知」と「奨学金希望」のクロス表である。学生寮を知っている場合、奨学金を希望する割合が高いことが示された。昨年度は「学生寮認知」と「奨学金希望」との間に有意な関連は見られなかった。

図表2-11 学生寮認知 と 奨学金希望 のクロス表

			奨学金希望		合計
			希望する	希望しない	
学生寮認知	知っている	度数	101	68	169
		%	59.8%	40.2%	100.0%
	知らない	度数	38	74	112
		%	33.9%	66.1%	100.0%
合計		度数	139	142	281
		%	49.5%	50.5%	100.0%

p<.000

図表2-12は「学生寮希望」と「奨学金希望」のクロス表である。学生寮を希望している場合は奨学金を希望する割合も高いことが示された。

図表2-12 学生寮希望 と 奨学金希望 のクロス表

			奨学金希望		合計
			希望する	希望しない	
学生寮希望	希望する	度数	66	13	79
		%	83.5%	16.5%	100.0%
	希望しない	度数	66	126	192
		%	34.4%	65.6%	100.0%
合計		度数	132	139	271
		%	48.7%	51.3%	100.0%

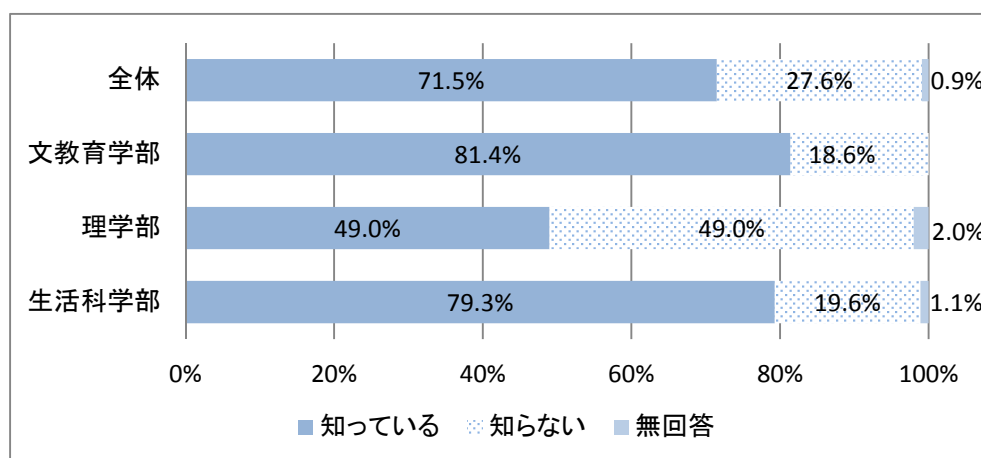
p<.000

(3) 学生寮に関する結果

① 新入生の結果

〈学生寮の認知〉

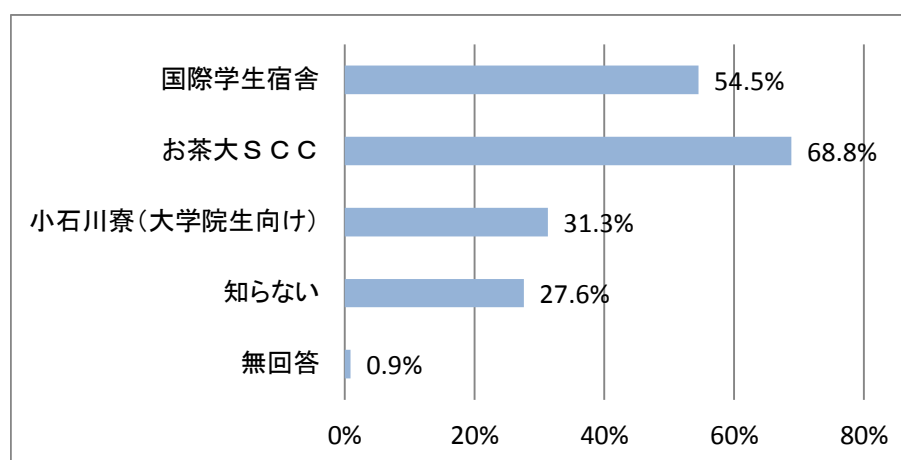
図表3-1は本学の学生寮の認知について、複数回答可として尋ね、学部別に集計した結果である。一つでも認知している学生寮があれば「知っている」とした。全体では71.5%の新入生が学生寮について認知している。学部別にみると、理学部が他学部に比べて30ポイント以上低い結果となっている。



図表 3-1 学生寮に対する認知（学部別）

図表 3-2 では本学の学生寮に対する認知を複数回答可として尋ね、寮の種類別に集計した結果である。本学には国際学生宿舎（学部生対象）、お茶大 SCC（学部1・2年生対象）、小石川寮（大学院生対象）の3つの学生寮がある。

認知率はお茶大 SCC が 68.8% と最も高いが、平成 27 年度新入生の認知率 71.9% と比べると 3.1 ポイント低い結果となっている。国際学生宿舎の認知率 54.5% は、平成 27 年度新入生の 48.7% と比べると 5.8 ポイント高くなっている。（お茶の水女子大学 2016）



図表 3-2 学生寮に対する認知（寮別）

＜学生寮の認知と属性などの項目とのクロス表＞

次に、どのような新入生が本学の学生寮について認知しているか明らかにするため、「学生寮の認知」と各項目とのクロス表を作成した。それぞれ結果を図表 3-3～3-7 に示す。「学生寮の認知」は、本学の学生寮のうち、1つでも知っているものがあれば「知っている」とした。

図表3-3では「きょうだい数」と「学生寮認知」のクロス表である。きょうだい数と学生寮認知との間には有意な関連はみられなかった。これは昨年度と同様の結果であった。

図表3-3 きょうだい数 と 学生寮認知 のクロス表

			学生寮認知		合計
			知っている	知らない	
きょうだい数	1人っ子	度数	41	12	53
		%	77.4%	22.6%	100.0%
	2人	度数	148	65	213
		%	69.5%	30.5%	100.0%
	3人以上	度数	64	20	84
		%	76.2%	23.8%	100.0%
合計		度数	253	97	350
		%	72.3%	27.7%	100.0%

p<.340

図表3-4は「出身高校設置者」と「学生寮認知」のクロス表である。公立高校出身者は学生寮について認知している割合が高いこと、私立高校出身者は学生寮について認知している割合が低いことが明らかになった。

図表3-4 出身高校設置者 と 学生寮認知 のクロス表

			学生寮認知		合計
			知っている	知らない	
出身高校設置者	公立	度数	161	45	206
		%	78.2%	21.8%	100.0%
	私立	度数	77	45	122
		%	63.1%	36.9%	100.0%
	国立	度数	12	5	17
		%	70.6%	29.4%	100.0%
	海外	度数	3	1	4
		%	75.0%	25.0%	100.0%
合計		度数	253	96	349
		%	72.5%	27.5%	100.0%

p<.033

図表3-5は「奨学金受給経験」と「学生寮の認知」のクロス表である。奨学金受給経験がある場合、学生寮について認知している割合が高い傾向がみられた。ただし、奨学金受給経験と学生寮認知との間には有意な関連は見られなかった。これは昨年度と同様の結果であった。

図表3-5 奨学金受給経験 と 学生寮認知 のクロス表

			学生寮認知		合計
			知っている	知らない	
奨学金 受給経験	あり	度数	235	85	320
		%	73.4%	26.6%	100.0%
	なし	度数	18	12	30
		%	60.0%	40.0%	100.0%
合計		度数	253	97	350
		%	72.3%	27.7%	100.0%

p<.116

図表3-6では「入学後の住居」と「学生寮認知」のクロス表である。入学後の住居が実家以外（賃貸マンション・アパート、寮など）の場合には、学生寮について認知している割合が高いことが明らかになった。

図表3-6 入学後の予定住居 と 学生寮認知 のクロス表

			学生寮認知		合計
			知っている	知らない	
入学後の 予定住居	実家以外	度数	133	18	151
		%	88.1%	11.9%	100.0%
	実家	度数	120	79	199
		%	60.3%	39.7%	100.0%
合計		度数	253	97	350
		%	72.3%	27.7%	100.0%

p<.000

図表 3-7 は「仕送り額」と「学生寮の認知」のクロス表である。図表 3-7 での「仕送り額」は、入学後の予定住居を「実家以外」と回答した新入生の仕送り額を示している。「仕送り額」と「学生寮の認知」の間には有意な関連は見られなかった。

図表3-7 仕送り額 と 学生寮認知 のクロス表

			学生寮認知		合計
			知っている	知らない	
仕送り額	仕送りなし	度数	13	3	16
		%	81.3%	18.8%	100.0%
	5万円未満	度数	14	1	15
		%	93.3%	6.7%	100.0%
	5万円以上10万円未満	度数	63	6	69
		%	91.3%	8.7%	100.0%
	10万円以上	度数	39	8	47
		%	83.0%	17.0%	100.0%
合計		度数	129	18	147
		%	87.8%	12.2%	100.0%

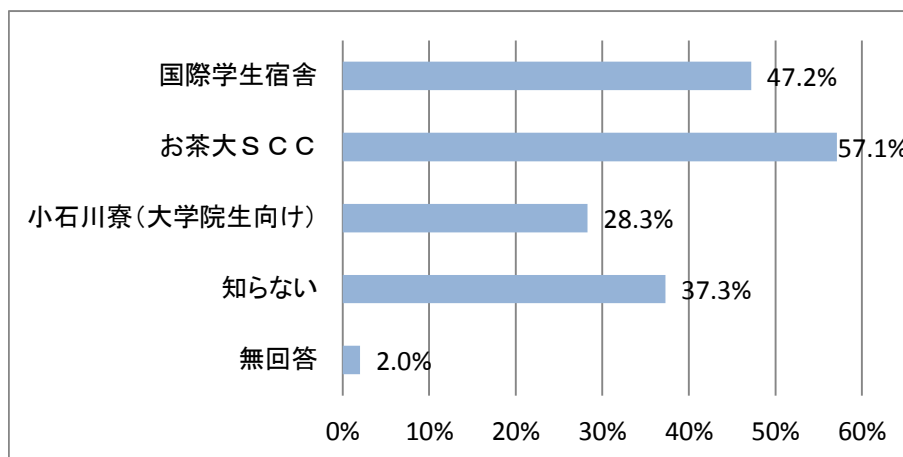
p<.412

② 保護者の結果

〈学生寮の認知と利用希望〉

図表 4-1 では本学の学生寮に対する認知を複数回答可として尋ねた結果である。

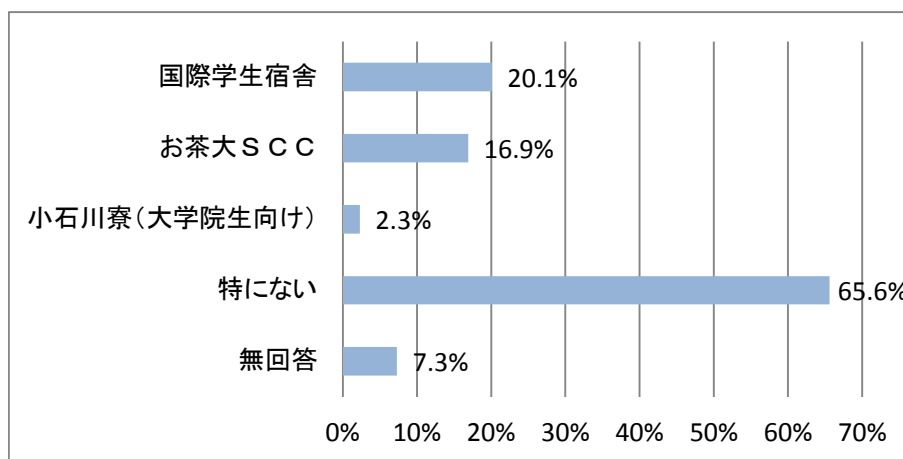
お茶大 SCC が 57.1%、国際学生宿舎がそれに続いて 47.2%の認知率である。全体の傾向として平成 27 年度の新入生の保護者と同じ傾向がみられた。



図表 4-1 保護者の学生寮認知

図表 4-2 は、本学の学生寮への入寮希望について複数回答可として尋ねた結果である。

「国際学生宿舎」への入寮希望が 20.1%であり、これは平成 27 年度新入生の保護者の 17.4%と比べて 2.7 ポイント高い結果となった。次いで「お茶大 SCC」が 16.9%であった。「特にない」が 65.6%であり、これは平成 27 年度新入生の保護者の 70.5%と比べて 4.9 ポイント低い結果となった。



図表 4-2 本学の学生寮への入寮希望

<学生寮希望と属性などの項目とのクロス表>

次に、どのような保護者が学生寮を希望しているか明らかにするために「学生寮希望」とのクロス表を作成した。それぞれ結果を図表 4-3～4-10 に示す。

図表 4-3 では「家計支持者」と「学生寮希望」のクロス表である。家計支持者が母親である場合には学生寮を希望する割合が高いことが明らかになった。昨年度は「家計支持者」と「学生寮希望」との間には有意な関連は見られなかった。

図表4-3 家計支持者 と 学生寮希望 のクロス表

			学生寮希望		合計
			希望する	希望しない	
家計支持者	父親	度数	82	213	295
		%	27.8%	72.2%	100.0%
	母親	度数	12	12	24
		%	50.0%	50.0%	100.0%
合計		度数	94	225	319
		%	29.5%	70.5%	100.0%

p<.022

図表 4-4 では「父親の就労形態」と「学生寮希望」のクロス表である。父親の就労形態がフルタイム勤務の場合には学生寮を希望する割合が低い傾向が見られた。ただし、父親の就労形態と学生寮希望との間に有意な関連は見られなかった。これは昨年度と同様の傾向であった。

図表4-4 父親の就労形態 と 学生寮希望 のクロス表

			学生寮希望		合計
			希望する	希望しない	
父親の就労形態	フルタイム勤務	度数	77	197	274
		%	28.1%	71.9%	100.0%
	パートタイム勤務	度数	1	2	3
		%	33.3%	66.7%	100.0%
	自 営	度数	8	15	23
		%	34.8%	65.2%	100.0%
	無 職	度数	2	3	5
		%	40.0%	60.0%	100.0%
	いない	度数	4	7	11
		%	36.4%	63.6%	100.0%
合計		度数	92	224	316
		%	29.1%	70.9%	100.0%

p<.896

図表 4-5 では「母親の就労形態」と「学生寮希望」のクロス表である。母親がフルタイム勤務である場合、学生寮を希望する割合が高いことが示された。昨年度は「母親の就労形態」と「学生寮希望」との間には有意な関連は見られなかった。

図表4-5 母親の就労形態 と 学生寮希望 のクロス表

			学生寮希望		合計
			希望する	希望しない	
母親の就労形態	フルタイム勤務	度数	40	49	89
		%	44.9%	55.1%	100.0%
	パートタイム勤務	度数	30	86	116
		%	25.9%	74.1%	100.0%
	自 営	度数	3	13	16
		%	18.8%	81.3%	100.0%
	無 職	度数	18	77	95
		%	18.9%	81.1%	100.0%
	いない	度数	2	0	2
		%	100.0%	0.0%	100.0%
合計		度数	93	225	318
		%	29.2%	70.8%	100.0%

p<.000

図表 4-6 は「入学後の暮らし向き」と「学生寮の希望」のクロス表である。入学後の暮らし向きについて「ゆとりがない」と回答している場合、学生寮を希望する割合が高いことが明らかになった。

図表4-6 入学後の暮らし向き と 学生寮希望 のクロス表

			学生寮希望		合計
			希望する	希望しない	
入学後の暮らし向き	ゆとりがない	度数	80	111	191
		%	41.9%	58.1%	100.0%
	ゆとりがある	度数	13	110	123
		%	10.6%	89.4%	100.0%
合計		度数	93	221	314
		%	29.6%	70.4%	100.0%

p<.000

図表 4-7 では「世帯年収」と「学生寮希望」のクロス表である。世帯年収について「1200万円以上」の選択肢は合算してクロス表を作成した。世帯年収が低いほど、学生寮を希望する割合が高いことが明らかになった。これは昨年度と同様の結果であった。

図表4-7 世帯年収 と 学生寮希望 のクロス表

		学生寮希望		合計		
		希望する	希望しない			
世帯年収	400万円未満	度数	12	10	22	
		%	54.5%	45.5%	100.0%	
	400万円以上 600万円未満	度数	14	15	29	
		%	48.3%	51.7%	100.0%	
	600万円以上 800万円未満	度数	16	34	50	
		%	32.0%	68.0%	100.0%	
	800万円以上 1000万円未満	度数	24	51	75	
		%	32.0%	68.0%	100.0%	
	1000万円以上 1200万円未満	度数	16	49	65	
		%	24.6%	75.4%	100.0%	
	1200万円以上	度数	10	58	68	
		%	14.7%	85.3%	100.0%	
	合計		度数	92	217	309
			%	29.8%	70.2%	100.0%

p<.001

図表 4-8 は「家計支持者の年収」と「学生寮希望」のクロス表である。家計支持者の年収が低いほど、学生寮を希望する割合が高いことが明らかとなった。これは昨年度と同様の結果であった。

図表4-8 家計支持者年収 と 学生寮希望 のクロス表

		学生寮希望		合計		
		希望する	希望しない			
家計支持者年収	400万円未満	度数	18	14	32	
		%	56.3%	43.8%	100.0%	
	400万円以上 600万円未満	度数	19	20	39	
		%	48.7%	51.3%	100.0%	
	600万円以上 800万円未満	度数	25	51	76	
		%	32.9%	67.1%	100.0%	
	800万円以上 1000万円未満	度数	17	54	71	
		%	23.9%	76.1%	100.0%	
	1000万円以上 1200万円未満	度数	10	39	49	
		%	20.4%	79.6%	100.0%	
	1200万円以上	度数	4	40	44	
		%	9.1%	90.9%	100.0%	
	合計		度数	93	218	311
			%	29.9%	70.1%	100.0%

p<.000

図表 4-9 は「奨学金受給経験」と「学生寮の希望」のクロス表である。過去に奨学金の受給経験がある場合、学生寮を希望する割合が高い傾向が見られた。ただし、「奨学金受給経験」と「学生寮希望」との間には有意な関連は見られなかった。これは昨年度と同じ結果である。

図表4-9 奨学金受給経験 と 学生寮希望 のクロス表

			学生寮希望		合計
			希望する	希望しない	
奨学金 受給経験	なし	度数	83	209	292
		%	28.4%	71.6%	100.0%
	あり	度数	11	16	27
		%	40.7%	59.3%	100.0%
合計		度数	94	225	319
		%	29.5%	70.5%	100.0%

p<.179

図表 4-10 は「学生寮認知」と「学生寮希望」のクロス表である。学生寮について認知している場合には、学生寮を希望する割合が高いことが示された。昨年度は「学生寮認知」と「学生寮希望」との間に有意な関連は見られなかった。

図表4-10 学生寮認知 と 学生寮希望 のクロス表

			学生寮希望		合計
			希望する	希望しない	
学生寮認知	知っている	度数	92	102	194
		%	47.4%	52.6%	100.0%
	知らない	度数	2	123	125
		%	1.6%	98.4%	100.0%
合計		度数	94	225	319
		%	29.5%	70.5%	100.0%

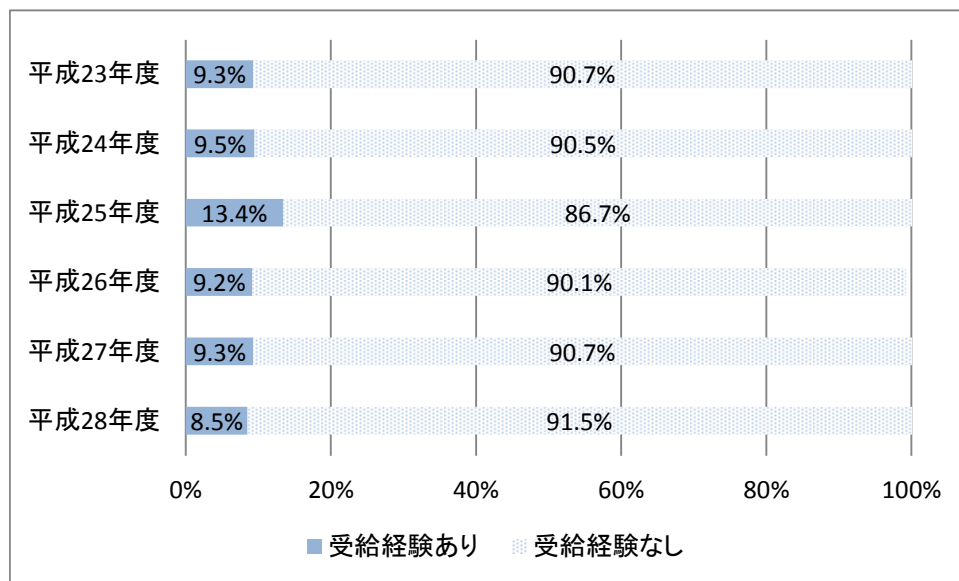
p<.000

(4) 奨学金と学生寮について、過年度との比較

① 新入生

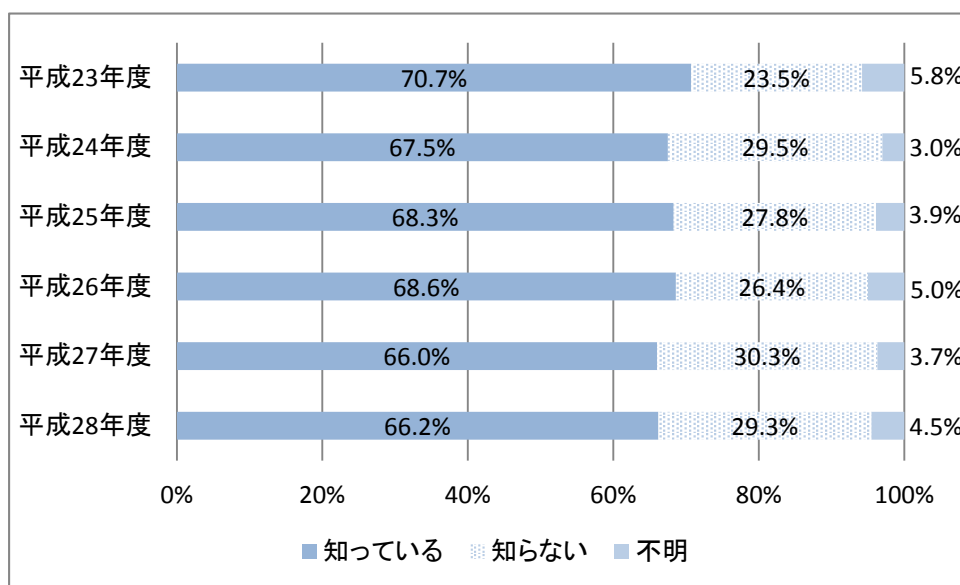
新入生の奨学金等制度受給経験、奨学金等制度の認知、学生寮の認知について過去5年間の結果と比較したものを図表5-1～5-3に示す。

図表5-1は新入生のこれまでの奨学金等制度の受給経験について過去5年間の結果と比較したものである。今年度の奨学金受給経験については「経験あり」8.5%、「経験なし」91.5%と、昨年度と比べて大きな違いはみられなかった。



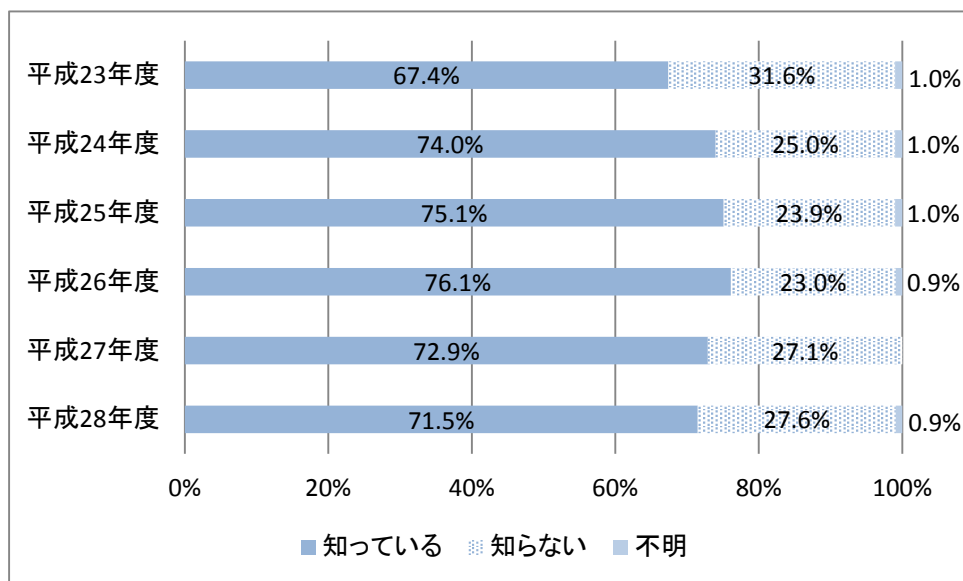
図表 5-1 新入生の奨学金等制度受給経験 過年度比較

図表5-2は新入生の奨学金等制度の認知について過去5年間の結果と比較したものである。奨学金等制度について認知している割合は、「知っている」が66.2%、「知らない」が29.3%と昨年度と比べて大きな変化は見られなかった。



図表 5-2 新入生の奨学金等制度の認知 過年度比較

図表 5-3 は新入生の学生寮認知についての過去 5 年間の結果と比較したものである。今年度は「知っている」が 71.5%であり、昨年度と比べて 1.3 ポイント減少している。学生寮は、平成 26 年度以降認知率が低下している。

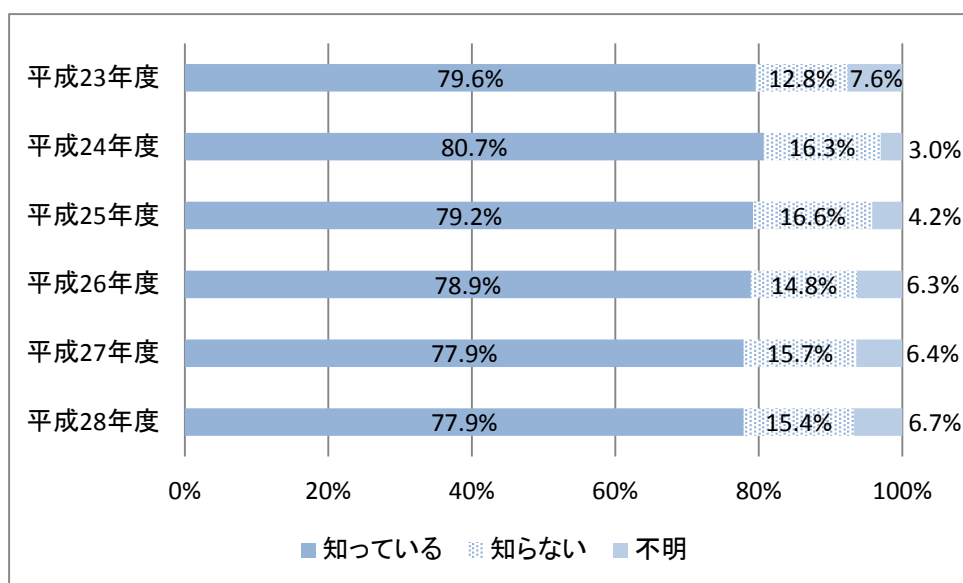


図表 5-3 新入生の学生寮の認知 過年度比較

② 保護者

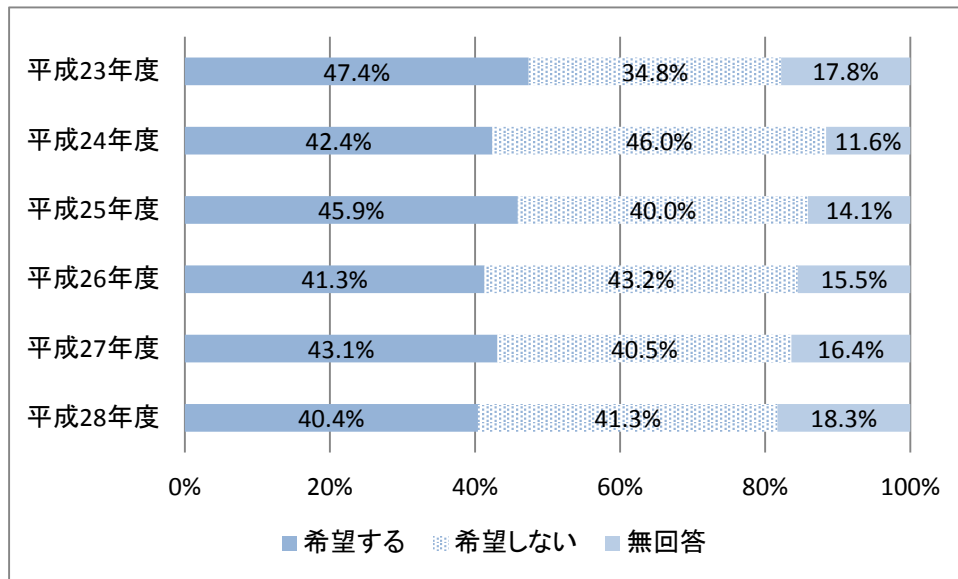
保護者の奨学金等制度の認知・希望、学生寮の認知・希望について過去 5 年間の結果と比較したものを図表 6-1～6-4 に示す

図表 6-1 は保護者の奨学金等制度の認知について過去 5 年間の結果と比較したものである。今年度は「知っている」が 77.9%であり、昨年度に引き続いて最も低い認知率を示している。



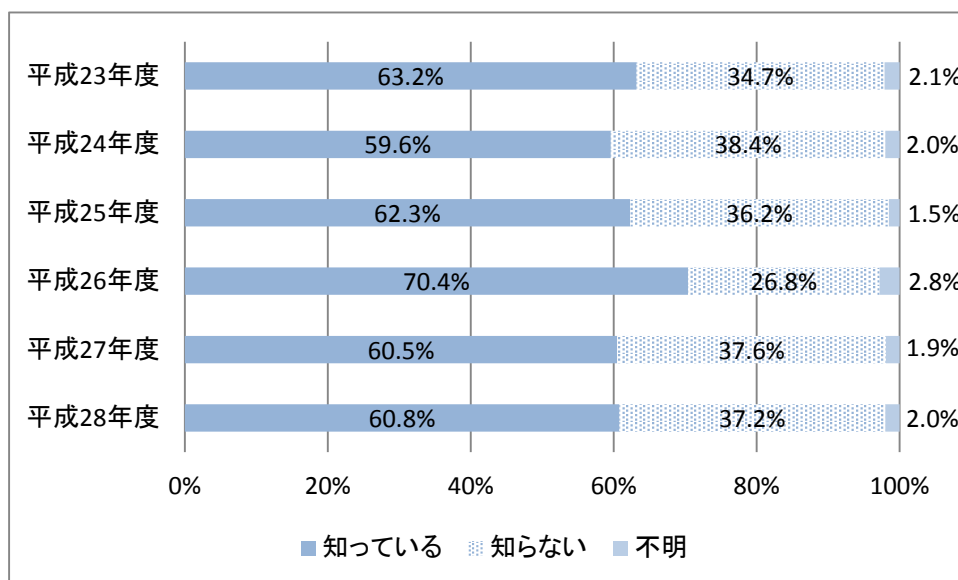
図表 6-1 保護者の奨学金等制度の認知 過年度比較

図表 6-2 は保護者の奨学金等制度の利用希望について過去 5 年間の結果と比較したものである。今年度は「希望する」が 40.4%であり、昨年度の 43.1%と比較して 2.7 ポイント減少している。平成 28 年度の「希望する」を回答した割合は、過去 5 年間の結果の中で最も低い。



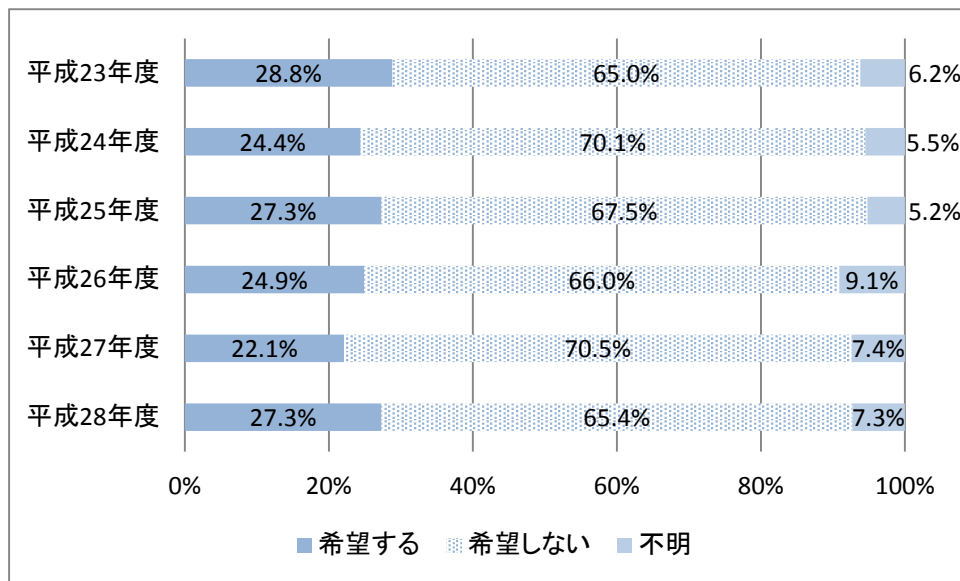
図表 6-2 保護者の奨学金等制度利用希望 過年度比較

図表 6-3 は保護者の学生寮の認知について過去 5 年間の結果と比較したものである。今年度は「知っている」が 60.8%であり、これは昨年度と同じ傾向である。



図表 6-3 保護者の学生寮の認知 過年度比較

図表 6-4 は保護者の学生寮希望について過去 5 年間の結果と比較したものである。今年度は「希望する」が 27.3%であり、昨年度と比較して 5.2 ポイント増加している。



図表 6-4 保護者の学生寮利用希望 過年度比較

第4章 考察および今後の課題

(1) 平成28年度新入生の特徴と考察

第1章、第2章に示した平成28年度新入生調査より明らかになった特徴をまとめる。

1. 新入生の90.6%は「お茶大を第一志望」として入学し、学びに対する意識が高い

平成28年度新入生において、本学が第一志望である新入生は90.6%と9割であり、昨年度の87.8%より2.8ポイント増と二年連続の増加をしている。特に生活科学部は、本学を第一志望とした学生の割合は97.8%であり、非常に高い割合を占めている。これまでの学習の成果を発揮して、第一志望である本学に入学した学生は学ぶ意欲も高い。質問項目「大学に入学後、特にこの1年で頑張ろうと思う活動」において「大学の授業」に回答した学生は98.6%（平成27年度は99.5%）と、学ぶ意欲の高さを見て取ることができた。大学としては、学生の高い学びに対する意欲を十分に理解し、教育の質の向上と安心して学ぶことができる学生支援をすることが求められる。

2. 実家から通学する学生は約6割、自宅外学生は約4割であり、仕送りは縮小傾向にある

新入生調査では、大学生生活全般や経済的側面についても回答を得ている。大学生生活において、大学入学後に実家から通学する新入生は57.1%、賃貸アパートやマンションに居住予定の新入生は29.3%、同様に国際学生宿舎は17.3%、お茶大SCCは11.1%となっている。

入学後の住居の傾向は昨年とほぼ同様の傾向であるが、実家からの仕送り金額に関しては、「仕送りはない」と回答した学生は9.9%に及び、平成27年度の同4.8%と比べると増加している。また仕送り予定が10万円未満の学生は、61.1%（平成27年度は50.5%）と昨年より多い割合であり、全国調査と比較するとこの割合はやや少ない。

3. 大学生生活での不安および期待する学生支援

新入生が大学生生活に不安を感じることで最も多いのは「授業や単位」71.9%、次いで「人間関係」56.5%、「就職や将来」55.1%である。そして学生が期待する学生支援では、「就職支援」が76.1%と最も多く、「学習支援」65.6%が続くことが示された。保護者調査では、学生支援として「就職支援」を期待する人が85.7%と最も多く、文教育学部や生活科学部では9割に近い保護者が大学の就職支援を期待している。

4. 卒業後の進路希望として、大学院進学希望が全体で46%であり、理学部は特に多い

大学卒業後の進路希望について、複数回答可として尋ねた結果、全体では「民間企業に就職する」が最も高く55.1%、「大学院などに進学する（海外含む）」がそれに続いて46.0%であった。ただし「大学院などに進学する（海外含む）」は学部による差異も大きく、理学部では71.4%であるが、文教育学部では33.5%であった。これらの傾向は、平成27年度新入生でも同様に示されている。

5. 学生の就職や進路に対する父親・母親の関与は高い

平成28年度新入生では、就職や将来のことにに関して、全体の49.2%に父親の関与があり（「非常に関与する」＋「まあまあ関与する」に回答）、全体の63.1%に母親の関与がある。学部別では、理学部での親の関与する割合が高く、父親の関与する割合が61.2%、母親が関与する割合も69.3%と他学部に比べて高いことが特徴である。

(2) 奨学金と学生寮に関する考察

第3章で述べた学生支援における奨学金・学生寮の結果についてまとめ、考察する。

① 奨学金

奨学金等制度の認知について新入生の結果をまとめると、「奨学金の受給経験のある者」、「入学後の予定住居が実家以外の者」、「学生寮を認知している者」は奨学金等制度を認知している割合が高いことが示された。また保護者の結果では、「家計支持者が母親の者」、「父親の就労形態がフルタイム勤務以外の者」、「世帯年収が低い者」、「家計支持者年収の低い者」、「入学後の暮らし向きにゆとりがないと感じている者」、「学生寮を認知している者」について、奨学金等制度の利用を希望する割合が高いことが示された。

奨学金等制度の認知について、過去5年の結果と比較すると、新入生も保護者もその認知率が低下している。特に保護者の結果については過去最低の認知率を示しており、「奨学金等制度の利用希望」についても「希望する」を回答した割合が過去最低である。奨学金にもさまざまな種類があることや、学費等の免除・猶予申請があることなどを広報し、それぞれの家庭のニーズに添った経済支援を選択できるようにしていく必要がある。

② 学生寮

学生寮の認知について新入生の結果をまとめると、「公立高校出身の者」、「入学後の予定住居が実家以外の者」、「奨学金を認知している者」について学生寮を認知している割合が高いことが示された。また、保護者の結果では「母親がフルタイム勤務である者」、「入学後の暮らし向きにゆとりがないと感じている者」、「世帯年収の低い者」、「家計支持者年収の低い者」、「学生寮を認知している者」については本学の学生寮への入寮を希望する割合が高いことが示された。経済的に困難な家庭が学生寮への入寮を希望しており、奨学金等制度のような経済支援策の1つとして学生寮が捉えられていると推察される。

学生寮に関する結果について過去5年の結果と比較すると、新入生の学生寮の認知率は平成26年度調査以降低下している。保護者の学生寮認知率についても例年と同傾向であり、大きく上昇することはない。しかしながら保護者の「学生寮の利用希望」については平成26年度調査以降上昇傾向にあり、利用希望の保護者は増加している。学生寮への入寮を希望する家庭が増加していることから、それぞれの学生寮のもつ機能や特徴の違いなどの情報が必要とする家庭へ届くよう、引き続き広報を強化する必要がある。

(3) 学生・キャリア支援における課題

平成 28 年度新入生調査および保護者調査を通じて得られた、本学における学生・キャリア支援の課題は次の 3 点である。

① 経済的支援の充実

第 1 は、すべての学生が学業に専念できるような経済的支援の充実である。自宅外通学者は約 4 割であるとともに仕送りが 10 万円未満の学生は約半数に及ぶ。そして自宅外に居住する学生で仕送りがない学生の割合は、今年度は約 1 割にも及んだ。

これらの現状を十分に認識し、日本学生支援機構の奨学金をはじめとし、本学独自の奨学金や経済的支援を学生および保護者に十分に広報するとともに、教職員を通じた学生からの相談をきめ細かく学生支援部門につないでいくことが学生支援に求められる。

② 勤勉さをキャリアに活かすキャリア支援の実践

第 2 は、第一志望で入学し、高い意欲と勤勉さを持った学生が納得できるキャリアを歩めるようなキャリア支援の実践であり、同時に進路指導やキャリア支援を学生が活用することの促進である。約 9 割の学生は第一志望で本学に入学しながらも、半数以上の学生が入学前から「就職や将来」に不安を感じている。また約 7 割の学生は学習支援に期待し、6～8 割の学生は進路相談や就職支援を大学に期待している。こうしたニーズを大学として十分に認識し、進路相談や就職（キャリア）支援の利用促進を行い、学生のニーズに応えるとともに、教職員が就職環境について把握した上で支援を充実させていくことが求められている。キャリア教育・支援部門では、今年度も引き続き低学年からのキャリア支援の活用を進めるとともに、きめ細かく多様なキャリア支援活動およびキャリアデザインプログラムの浸透を目指し、リーダーシップ教育部門とも連携して進めていく必要がある。学生には、高い知識と教養、専門性を活かせるような自分のキャリアを考えると同時に、リーダーシップとコンピテンシーを涵養できるようキャリア支援・キャリア教育を実践することが課題である。

また、本学は保護者である父親・母親が、学生の進路や就職に高く関与していることも特徴である。前述のように保護者への就職・進路情報の提供や問い合わせへの対応などもさらに要請に応えていく必要があるだろう。

③ 大学院修了後、特に修士課程修了者へのキャリア支援の充実

第 3 は、大学院修了後のキャリア支援の充実である。本学は学部卒業後の進路として大学院進学を希望する新入生が全体で 46.0%、特に理学部では 71.4% と多い。これに伴って、現在でも取り組んでいるものの修士修了者へのキャリア支援を引き続き充実させていく必要がある。そのためには、学生自身が修士課程進学時から明確なキャリアプランを築きながら、修士課程の 2 年間においても研究や学びと並行してキャリアについて考えることができるようなキャリア支援の提供が望まれる。

新入生生活調査

＜入学予定者用＞

(AO 入試合格者・推薦入試合格者・外国学校出身者)

お茶の水女子大学に入学を予定されているみなさまへ

この度は、お茶の水女子大学に合格おめでとうございます。お茶の水女子大学は、みなさんのご入学を歓迎し、今後の学生生活が実りあるものになるよう祈念しております。

さて、本学では、入学予定者およびその保護者の方にアンケートを実施いたします。これは、入学を予定している方の実情をふまえ、有益な学生支援の検討および実施を行うための資料とすることを目的としています。具体的には、

1. 新入生個々の大学教育や将来への多様なニーズを把握し、適切な学生支援事業を入学時から行うために、新入生個々の情報を得る。
2. 新入生の標準的な学生生活の状況を把握する。
3. 新入生の家庭状況からその経済的基盤を推定することにより、お茶の水女子大学における学生支援事業を改善するための基礎資料とする。
4. 国立大学入学者の学生生活・家庭状況・進路状況などに関する調査研究を行うための基礎資料とする。

上記4点を中心にするものです。

ご回答いただきました内容は、統計的に処理をします。個人としてのご回答が公表されることはありません。また、調査結果は上記の目的以外に使用することはありません。

調査票中、質問項目の左に*がついている項目は、本学入学後も、新入生個人の情報として、学生支援を行うために利用しますが、回答に含まれる個人情報には、お茶の水女子大学個人情報の管理に関する規則及び関係諸規定に基づき、厳格に管理いたします。

なお、アンケートにご協力いただけなかった場合でも、本学教育課程その他に不利益を被ることはありません。また、入学を辞退された方の個人情報は、入学辞退届を受理次第、破棄いたします。

どうかアンケートの趣旨をご理解賜り、ご協力いただけますよう、お願い申し上げます。

本調査の企画・実施に関する情報は以下の通りです。

【実施主体】 国立大学法人 お茶の水女子大学 学生・キャリア支援センター

【問い合わせ先】 新入生生活調査担当 (03-5978-5147)

【個人情報について】

お茶の水女子大学では、個人情報の管理に関する規程および個人情報の公開に関する取扱要項等の規定を定めて、本学が保有する個人情報の適正な管理に努めています。

http://www.ocha.ac.jp/plaza/info_public/individual/index.html

以下のご回答にあたってのご注意をお読みのうえ、ご回答願います。

ご回答にあたってのお願い

- ・お答えは、黒鉛筆または黒ボールペンで、あてはまる回答についている数字を○でかこんでいただく場合と、マスの中に数字を記入する場合があります。「その他」にあてはまる時は、数字を○でかこみ、() 内に具体的な内容を記入して下さい。() 内に書ききれない場合は、欄外にご記入下さい。
- ・質問番号順にお答え下さい。質問の中には、一部の方だけにだけおたずねするものがありますが、その場合は指示に従って下さい。
- ・「㊟㊟=01」とか㊟などの記号は、コンピュータで処理するためのものですので、質問やお答えとは関係ありません。
- ・表紙依頼文にも一部記載いたしましたが、アンケートの最後に、ご回答内容の研究調査へのデータ使用および皆様個人への学生支援のためのご回答の管理・登録への許可をお伺いしております。許可いただけない場合は、使用することはありません。
- ・アンケートは、大学で付けたID番号で管理をしております。**アンケート用紙には、あなたや保護者の方のお名前、住所などは記載せず**ご回答、ご返送ください。
- ・ご回答いただきました調査票は、同封いたしました調査返送用封筒に入れていただき、**指定の期日（別紙参照）までに返送をお願いいたします。**

それでは、よろしくお願いいたします。

I. まず、あなた自身およびご家族のことについて、お聞きします。

(1) 入学予定の学部学科に○をつけてください。

⑩=1

・文教育学部

1. 人文科学科 2. 言語文化学科 3. 人間社会科学科 4. 芸術・表現行動学科

・理学部

5. 数学科 6. 物理学科 7. 化学科 8. 生物学科 9. 情報科学科

・生活科学部

10. 食物栄養学科 11. 人間・環境科学科 12. 人間生活学科

⑪

⑫

(2) 出身高校について、それぞれあてはまるものに○をつけてください。

A. 高校（設置者）は → 1. 公立 2. 私立 3. 国立 4. 海外 5. 高等学校卒業程度認定試験

⑬

B. 種類は → 1. 3年制 2. 中高一貫校 → (3)へ

⑭

C. 学科は → 1. 普通科（理数科も含む） 2. 総合学科
3. 専門学科（商業・工業、家庭、農業科など） 4. その他（ ）

⑮

(3) 出身高校の所在地の都道府県をご記入ください。高等学校卒業程度認定試験合格者は、受験時に住んでいた都道府県をご記入ください。

1. 都道府県（県名 ） 2. 海外

⑯

(4) 高校3年時（受験時）の住居について、あてはまるもの**1つ**に○をつけてください。

1. 実家 4. 高校以外の寮

2. 実家以外の賃貸アパートやマンション 5. その他

⑰

3. 高校の寮 ()

(5) あなたのご家族の構成について、同居を問わず、あてはまる方**すべて**に○をつけてください。

1. 父親 3. 兄 5. 弟 7. 祖父 9. 夫 11. 娘

⑱

2. 母親 4. 姉 6. 妹 8. 祖母 10. 息子 12. その他（ ）

⑲

(6) 【(5) で「兄」「弟」「姉」「妹」に○をつけた方にお伺いします】

あなたの兄弟姉妹の構成をご記入ください。同居を問わずお答えください。

人中、あなたは、第 子

⑳㉑

㉒

(7) 【(5) で「兄」「弟」「姉」「妹」に○をつけた方にお伺いします】

大学（大学院）・短期大学・高等専門学校・専修学校（専門課程）に正規の学生として在学するまたは来年度から進学予定の兄弟姉妹の数をご記入ください。

人 0 いない

㉔㉕

(8) 【(5) で「兄」「弟」「姉」「妹」に○をつけた方にお伺いします】

私立の大学（大学院）・短期大学・高校・中学・小学校に正規の学生として在学するまたは来年度から進学予定の兄弟姉妹の数をご記入ください。

人 0 いない

㉖㉗

II. これまでの進路選択や学生生活について、お聞きします。

- (1) 出身小学校・中学の設置者について、それぞれあてはまるもの**1つ**に○をつけてください。
転校している場合は、小学校6年時、中学3年時の学校について、お答えください。

小学校は → 1 国立 2 公立 3 私立 4 海外 ⑳

中学校は → 1 国立 2 公立 3 私立 4 海外 ㉑

- (2) あなたは小学校・中学・高校に入学するために受験をしましたか。
それぞれあてはまるものに○をつけてください。

小学校は → 1 受験をした 2 受験をしていない 3 覚えていない ㉒

中学校は → 1 受験をした 2 受験をしていない 3 覚えていない ㉓

高校は → 1 受験をした 2 受験をしていない 3 覚えていない ㉔

- (3) 本学の受験を決めた時期について、あてはまるもの**1つ**に○をつけてください。高等学校卒業程度認定試験合格者は、今回の受験前の1年間を高校3年としてお考えください。

1. 高校入学以前 4. 高校3年4～8月 7. 高校3年1・2月

2. 高校1年 5. 高校3年9・10月 8. 高校卒業以降 ㉕

3. 高校2年 6. 高校3年11・12月

- (4) 受験時には、本学を第一志望としていましたか。

1. はい 2. いいえ ㉖

- * (5) 高校卒業から現在までの間に経験したこと**すべて**に○をつけてください。

1. 高卒後、他の高等教育機関（高専、専門学校、短大、他の大学など）に入学した

2. 高卒後、フルタイムで働いた

3. 高卒後、浪人した ㉗

4. 高卒後、海外留学をした

5. この中にはない

- (6) 高校時代に、熱心に取り組んでいた活動として、あてはまるもの**すべて**に○をつけてください。

1. 高校の授業 4. 授業以外での勉強 7. ボランティア活動

2. 部活動 5. 友達との交流 8. その他（ ） ㉘

3. アルバイト活動 6. 趣味 9. 特にない

Ⅲ. 大学入学後の学生生活について、お聞きします。

(1) 大学入学後に居住予定の都道府県**1つ**に○をつけてください。

- | | |
|--------|--------------|
| 1. 東京都 | 4. 神奈川県 |
| 2. 埼玉県 | 5. その他の県 () |
| 3. 千葉県 | |
- ③7

* (2) 大学入学後に予定している住居**すべて**に○をつけてください。

- | | |
|----------------------|-------------------|
| 1. 実家 | 4. 大学の寮 (お茶大 SCC) |
| 2. 実家以外の賃貸アパートやマンション | 5. 大学以外の寮 |
| 3. 大学の寮 (国際学生宿舎) | 6. その他 () |
- ③8

(3) 【(2) で「賃貸アパートやマンション」に○をつけた方にお伺いします】

1か月の家賃 (管理費込み) の予算をご記入ください。千円未満は四捨五入してください。

万 千円 ③9~④0

(4) 【(2) で「2~6 (実家以外)」に○をつけた方にお伺いします】

1か月あたりの仕送り予定額についてご記入ください。万円未満は四捨五入してください。

万円 0 仕送りはない ④1④2

【全員の方に】 ⑩=2

(5) 大学に入学後、特にこの1年で頑張ろうと思う活動として、あてはまるもの**すべて**に○をつけてください。

- | | | |
|---------------|-------------|-------------|
| 1. 大学の授業 | 4. 授業以外での勉強 | 7. ボランティア活動 |
| 2. クラブ・サークル活動 | 5. 友達との交流 | 8. その他 () |
| 3. アルバイト活動 | 6. 趣味 | 9. 特にない |
- ⑪

(6) 【(5) で「アルバイト活動」に○をつけた方にお伺いします】

アルバイト活動をどの程度する予定ですか。あてはまるもの**1つ**に○をつけてください。

- | | |
|------------------------|----------------------|
| 1. 長期休暇期間 (夏、冬、春休み) のみ | 5. 学期中に定期的に、長期休暇期間にも |
| 2. 学期中、不定期 | 6. その他 () |
| 3. 学期中、定期的に | 7. 未定 |
| 4. 学期中に定期的に、長期休暇期間にも | |
- ⑫

(7) 【(5) で「アルバイト活動」に○をつけた方にお伺いします】

どのようなアルバイト活動を希望していますか。希望するもの**すべて**に○をつけてください。

- | | |
|-----------------------|-----------------|
| 1. 家庭教師・塾講師 | 4. 事務 |
| 2. 商品などの販売 (店員、レジ係など) | 5. 運搬、梱包、清掃等の労働 |
| 3. サービス関係 (接客、調理など) | 6. その他 () |
- ⑬

【全員の方に】

(8) 授業料の負担予定について、あてはまるもの**1つ**に○をつけてください。

1. ほぼ全額を保護者が負担予定
2. 一部をあなたが負担予定 (奨学金、アルバイトなども含む) ⑭
3. ほぼ全額をあなたが負担予定 (奨学金、アルバイトなども含む)

* (9) これまでに受けたことのある奨学金・学費免除などの制度がございましたら、その**すべて**について、該当の番号に○をして、具体的な名称および給付型・貸与型についてご記入ください。

	具体的な名称	給付・貸与	
1. 日本学生支援機構の奨学金		1. 給与 2. 貸与	⑮⑯
2. 地方公共団体の奨学金		1. 給与 2. 貸与	⑰⑱
3. 学校独自の奨学金		1. 給与 2. 貸与	⑳㉑
4. 民間奨学団体の奨学金		1. 給与 2. 貸与	㉒㉓
5. 新聞社の奨学金		1. 給与 2. 貸与	㉔㉕
6. その他の奨学金		1. 給与 2. 貸与	㉖㉗
7. 学費免除		1. 給与 2. 貸与	㉘㉙
8. 特待生		1. 給与 2. 貸与	㉚㉛

(10) 以下の奨学金などの制度について、知っているもの**すべて**に○をつけてください。

- | | | |
|--------------------------|----------------|---|
| 1. 日本学生支援機構 (第一種奨学金) | 8. 育児支援奨学金 | |
| 2. 日本学生支援機構 (第二種奨学金) | 9. 入学科免除制度 | |
| 3. 日本学生支援機構 (緊急・応急採用奨学金) | 10. 入学科徴収猶予制度 | ⑳ |
| 4. 地方公共団体の奨学金 | 11. 授業料免除制度 | ㉑ |
| 5. 民間奨学団体の奨学金 | 12. 授業料徴収猶予制度 | |
| 6. みがかずば奨学金 | 13. 知っているものはない | |
| 7. 桜蔭会奨学金 (3年生向け) | | |

(11) 本学の学生寮について、知っているもの**すべて**に○をつけてください。

1. 国際学生宿舎 2. お茶大 SCC 3. 小石川寮 (大学院生向け) 4. 知らない ㉒

(12) 大学生活が始まって心配なこと**すべて**に○をつけてください。

- | | | |
|-----------|------------|---|
| 1. 授業や単位 | 5. 健康面 | |
| 2. 就職や将来 | 6. 日常生活全般 | ㉓ |
| 3. 人間関係 | 7. その他 () | |
| 4. 生活・経済面 | 8. 特にない | |

(13) 今の気持ち（不安・心配事）について、以下の項目はどの程度あてはまると思いますか。
あてはまる番号にそれぞれ**1つ**○をつけてください。

	あてはまる	ある程度あてはまる	あまりあてはまらない	あてはまらない
・充実したキャンパスライフを送れるか	1	2	3	4
・友達ができるか	1	2	3	4
・大学になじめるか	1	2	3	4
・金銭面で負担がかからないか	1	2	3	4
・授業についていけるか	1	2	3	4
・進級や卒業ができるか	1	2	3	4
・将来の目標が見つかるか	1	2	3	4
・卒業後ちゃんと就職できるか	1	2	3	4

③6

③7

③8

③9

④0

④1

④2

④3

(14) 本学の学生支援活動で、期待するもの**すべて**に○をつけてください。

- | | | |
|----------|---------|------------|
| 1. 経済的支援 | 4. 心理相談 | 7. 就職支援 |
| 2. 生活相談 | 5. 学習支援 | 8. 課外活動支援 |
| 3. 健康相談 | 6. 進路相談 | 9. その他 () |
| | | 10. 特にない |

④4

IV. 将来の進路について、お聞きします。

* (1) 大学卒業後の進路について、どのような希望をもっていますか。あてはまるもの**すべて**に○をつけてください。

- | | |
|-----------------------|---------------------|
| 1. 民間企業に就職する | 5. 大学院などに進学する（海外含む） |
| 2. 公務員になる | 6. その他 () |
| 3. 教師などの専門職につく | 7. 決めていない |
| 4. 自営など、1から3以外の形で就職する | |

④5

新入生生活調査

＜入学予定者の保護者用＞

(一般入試合格者)

ご子女が、お茶の水女子大学に入学を予定されているみなさまへ

この度は、ご子女のお茶の水女子大学合格おめでとうございます。お茶の水女子大学は、ご子女のご入学を歓迎し、今後の学生生活が実りあるものになるよう祈念しております。

さて、本学では、入学予定者およびその保護者の方にアンケートを実施いたします。これは、入学を予定している方の実情をふまえ、有益な学生支援の検討および実施を行うための資料とすることを目的としています。具体的には、

1. 新入生個々の大学教育や将来への多様なニーズを把握し、適切な学生支援事業を入学時から行うために、新入生個々の情報を得る。
2. 新入生の標準的な学生生活の状況を把握する。
3. 新入生の家庭状況からその経済的基盤を推定することにより、お茶の水女子大学における学生支援事業を改善するための基礎資料とする。
4. 国立大学入学者の学生生活・家庭状況・進路状況などに関する調査研究を行うための基礎資料とする。

上記4点を中心にするものです。

ご回答いただきました内容は、統計的に処理をします。個人としてのご回答が公表されることはありません。また、調査結果は上記の目的以外に使用することはありません。

調査票中、質問項目の左に*がついている項目は、本学入学後も、新入生個人の情報として、学生支援を行うために利用しますが、回答に含まれる個人情報、お茶の水女子大学個人情報の管理に関する規則及び関係諸規定に基づき、厳格に管理いたします。

なお、アンケートにご協力いただけなかった場合でも、本学教育課程その他に不利益を被ることはありません。また、入学を辞退された方の個人情報は、入学辞退届を受理次第、破棄いたします。

どうかアンケートの趣旨をご理解賜り、ご協力いただけますよう、お願い申し上げます。

本調査の企画・実施に関する情報は以下の通りです。

【実施主体】 国立大学法人 お茶の水女子大学 学生・キャリア支援センター

【問い合わせ先】 新入生生活調査担当 (03-5978-5147)

【個人情報について】

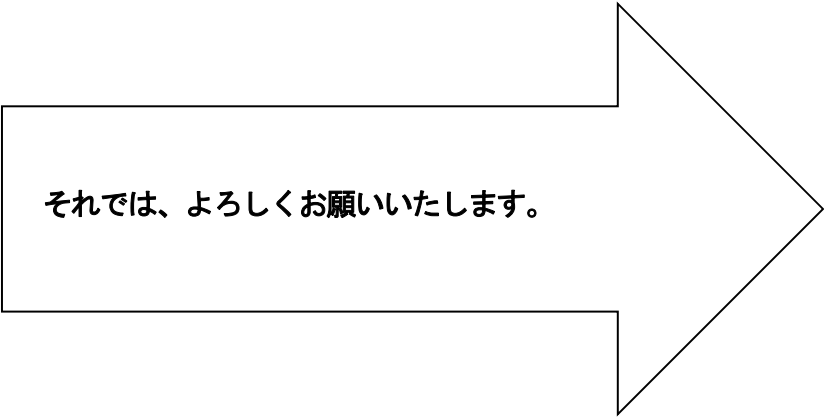
お茶の水女子大学では、個人情報の管理に関する規程および個人情報の公開に関する取扱要項等の規定を定めて、本学が保有する個人情報の適正な管理に努めています。

http://www.ocha.ac.jp/plaza/info_public/individual/index.html

以下のご回答にあたってのご注意をお読みのうえ、ご回答願います。

ご回答にあたってのお願い

- お答えは、黒鉛筆または黒ボールペンで、あてはまる回答についている数字を○でかこんでいただく場合と、マスの中に数字を記入する場合があります。「その他」にあてはまる時は、数字を○でかこみ、()内に具体的な内容を記入してください。()内に書ききれない場合は、欄外にご記入ください。
- 質問番号順にお答え下さい。質問の中には、一部の方だけにだけおたずねするものがありますが、その場合は指示に従って下さい。
- 「⑨⑩=01」とか⑩などの記号は、コンピュータで処理するためのものですので、質問やお答えとは関係ありません。
- 表紙依頼文にも一部記載いたしましたが、アンケートの最後に、ご回答内容の研究調査へのデータ使用および皆様個人への学生支援のためのご回答の管理・登録への許可をお伺いしております。許可いただけない場合は、使用することはありません。
- アンケートは、大学で付けたID番号で管理をしております。**アンケート用紙には、ご子女や保護者の方のお名前、住所などは記載せず**ご回答、ご返送ください。
- ご回答いただきました調査票は、同封いたしました調査返送用封筒に入れていただき、**他の入学手続関係書類に同封し、締め切り期日までに返送をお願いいたします。**



それでは、よろしくお願いいたします。

【全員の方に】

(7) 子女が大学に入学した後のご家庭の暮らし向きについて、あてはまるもの**1つ**に○をつけてください。

1. ゆとりがない 2. あまりゆとりがない 3. 多少ゆとりがある 4. ゆとりがある ⑱

* (8) ご家庭の世帯年収（学校に在学する者を除く同一世帯全員の年収。税込）について、あてはまるもの**1つ**に○をつけてください。

1. 400万円未満 4. 800万円以上1000万円未満 7. 1400万円以上1600万円未満
 2. 400万円以上600万円未満 5. 1000万円以上1200万円未満 8. 1600万円以上1800万円未満 ㉔
 3. 600万円以上800万円未満 6. 1200万円以上1400万円未満 9. 1800万円以上

* (9) 家計を主に支えている方の年収（税込）について、あてはまるもの**1つ**に○をつけてください。

1. 400万円未満 4. 800万円以上1000万円未満 7. 1400万円以上1600万円未満
 2. 400万円以上600万円未満 5. 1000万円以上1200万円未満 8. 1600万円以上1800万円未満 ㉕
 3. 600万円以上800万円未満 6. 1200万円以上1400万円未満 9. 1800万円以上

(10) 本学に入学予定の子女への、1か月あたりの仕送り予定額についてご記入ください。
 万円未満は四捨五入してください。

万円 0 仕送りはしない ㉖㉗

(11) 授業料の負担予定について、あてはまるもの**1つ**に○をつけてください。

1. ほぼ全額を保護者が負担予定
 2. 一部を子女本人が負担予定（奨学金、アルバイトなども含む） ㉘
 3. ほぼ全額を子女本人が負担予定（奨学金、アルバイトなども含む）

* (12) 本学に入学予定の子女がこれまでに受けたことのある奨学金・学費免除などの制度がございましたら、その**すべて**について、該当の番号に○をして、具体的な名称および給付型・貸与型についてご記入ください。

	具体的な名称	給付・貸与	
1. 日本学生支援機構の奨学金		1. 給与 2. 貸与	㉙㉚
2. 地方公共団体の奨学金		1. 給与 2. 貸与	㉛㉜
3. 学校独自の奨学金		1. 給与 2. 貸与	㉝㉞
4. 民間奨学団体の奨学金		1. 給与 2. 貸与	㉟㊱
5. 新聞社の奨学金		1. 給与 2. 貸与	㊲㊳
6. その他の奨学金		1. 給与 2. 貸与	㊴㊵
7. 学費免除		1. 給与 2. 貸与	㊶㊷
8. 特待生		1. 給与 2. 貸与	㊸㊹

(13) 以下の奨学金などの制度について、ご存知のもの**すべて**に○をつけてください。

- | | | |
|-------------------------|----------------|----|
| 1. 日本学生支援機構（第一種奨学金） | 8. 育児支援奨学金 | |
| 2. 日本学生支援機構（第二種奨学金） | 9. 入学金免除制度 | |
| 3. 日本学生支援機構（緊急・応急採用奨学金） | 10. 入学金徴収猶予制度 | ④2 |
| 4. 地方公共団体の奨学金 | 11. 授業料免除制度 | ④3 |
| 5. 民間奨学団体の奨学金 | 12. 授業料徴収猶予制度 | |
| 6. みがかずば奨学金 | 13. 知っているものはない | |
| 7. 桜蔭会奨学金（3年生向け） | | |

(14) 以下の奨学金などの制度について、希望されるもの**すべて**に○をつけてください。

- | | | |
|-------------------------|---------------|----|
| 1. 日本学生支援機構（第一種奨学金） | 8. 育児支援奨学金 | |
| 2. 日本学生支援機構（第二種奨学金） | 9. 入学金免除制度 | |
| 3. 日本学生支援機構（緊急・応急採用奨学金） | 10. 入学金徴収猶予制度 | ④4 |
| 4. 地方公共団体の奨学金 | 11. 授業料免除制度 | ④5 |
| 5. 民間奨学団体の奨学金 | 12. 授業料徴収猶予制度 | |
| 6. みがかずば奨学金 | 13. 希望するものはない | |
| 7. 桜蔭会奨学金（3年生向け） | | |

(15) 以下の本学の学生寮について、ご存知のもの**すべて**に○をつけてください。

- | | | | | |
|-----------|------------|-----------------|---------|----|
| 1. 国際学生宿舎 | 2. お茶大 SCC | 3. 小石川寮（大学院生向け） | 4. 知らない | ④6 |
|-----------|------------|-----------------|---------|----|

(16) 以下の本学の学生寮について、入寮を希望するもの**すべて**に○をつけてください。

- | | | | | |
|-----------|------------|-----------------|---------|----|
| 1. 国際学生宿舎 | 2. お茶大 SCC | 3. 小石川寮（大学院生向け） | 4. 特にない | ④7 |
|-----------|------------|-----------------|---------|----|

(17) 受験から入学までに困ったこと・悩んだこと**すべて**に○をつけてください。

- | | | | |
|-----------------------|--|--|----|
| 1. 子どもの体調や精神面のこと | | | |
| 2. 受験・入学のための費用準備 | | | |
| 3. 受験・入学手続きのスケジュールの管理 | | | |
| 4. 入学後の住まい探し | | | ④8 |
| 5. 入学時に必要な生活用品や教材の準備 | | | |
| 6. その他（ | | | ） |
| 7. 特にない | | | |

(18) ご子女の大学生活が始まって心配なこと**すべて**に○をつけてください。

- | | | |
|-----------|-----------|----|
| 1. 授業や単位 | 5. 健康面 | |
| 2. 就職や将来 | 6. 日常生活全般 | ④9 |
| 3. 人間関係 | 7. その他（ | ） |
| 4. 生活・経済面 | 8. 特にない | |

(19) 本学の学生支援活動で、期待するもの**すべて**に○をつけてください。

- | | | |
|----------|----------|------------|
| 1. 経済的支援 | 4. 心理相談 | 7. 就職支援 |
| 2. 生活相談 | 5. 学習支援 | 8. 課外活動支援 |
| 3. 健康相談 | 6. 進路相談 | 9. その他 () |
| | 10. 特になし | |

50

(20) ご両親の最終学歴について、それぞれあてはまるもの**1つ**に○をつけてください。

父親は

1. 中学・高校 2. 高専 3. 専門学校・短大 4. 大学 5. 大学院

51

母親は

1. 中学・高校 2. 高専 3. 専門学校・短大 4. 大学 5. 大学院

52

・研究調査のために、個人が特定されないデータとして、本調査の回答を用いる許可をいただけますか。

1. はい 2. いいえ

53

・皆様のご子女に対する適切な学生支援を行うために、*のついた質問に対する回答を個人の情報として登録・管理する許可をいただけますか。

1. はい 2. いいえ

54

・ご子女がお茶の水女子大学に合格した際の受験番号をご記入ください。

()

56～62

・ご回答者とご子女との関係について、あてはまるもの**1つ**に○をつけてください。

1. 父親 2. 母親 3. その他 (続き柄は:)

63

ご協力、ありがとうございました。同封の返信用封筒に封入の上、他の入学関係書類に同封して、返送願います。

新入生調査 基礎集計表 (入学予定者)1/6

			総数	学部		
				文教育学部	理学部	生活科学部
I.(1)			352	161	99	92
		学部		45.7%	27.8%	26.1%
I.(2)	出身高校設置者	総数	352	161	99	92
		公立	58.8%	64.0%	48.0%	62.0%
		私立	34.9%	30.4%	45.9%	31.5%
		国立	4.8%	4.3%	5.1%	5.4%
		海外	1.1%	1.2%	1.0%	1.1%
		高等学校卒業程度認定試験	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
		無回答	0.3%	0.0%	0.0%	0.0%
I.(2)	出身高校・種類	該当者	347	159	97	91
		3年制	63.1%	65.4%	53.6%	69.2%
		中高一貫	35.4%	33.3%	44.3%	29.7%
		無回答	1.4%	1.3%	2.1%	1.1%
I.(2)	出身高校・学科	該当者	347	159	97	91
		普通科(理数科も含む)	95.4%	95.0%	96.9%	94.5%
		総合学科	0.6%	1.3%	0.0%	0.0%
		専門学科(商業・工業、家庭、農業科など)	0.6%	1.3%	0.0%	0.0%
		その他	2.0%	1.9%	0.0%	4.4%
		無回答	1.4%	0.6%	3.1%	1.1%
I.(3)	出身都道府県	総数	352	161	99	92
		国内	98.3%	98.8%	99.0%	97.8%
		海外	1.1%	1.2%	1.0%	1.1%
		無回答	0.6%	0.0%	0.0%	1.1%
I.(4)	高校3年次の住居	総数	352	161	99	92
		実家	96.0%	95.7%	95.9%	97.8%
		実家以外の賃貸アパートやマンション	1.1%	0.6%	2.0%	1.1%
		高校の寮	1.4%	1.9%	1.0%	1.1%
		高校以外の寮	0.9%	1.2%	1.0%	0.0%
		その他	0.3%	0.6%	0.0%	0.0%
		無回答	0.3%	0.0%	0.0%	0.0%
I.(5)	家族構成	総数	352	161	99	92
		父親	95.5%	93.8%	100.0%	94.6%
		母親	99.7%	100.0%	100.0%	100.0%
		兄	23.3%	24.2%	21.4%	23.9%
		姉	20.7%	19.9%	19.4%	23.9%
		弟	28.4%	29.8%	24.5%	30.4%
		妹	28.7%	26.1%	30.6%	31.5%
		祖父	34.9%	36.0%	29.6%	39.1%
		祖母	43.5%	42.9%	37.8%	51.1%
		夫	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
		息子	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
		娘	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
		その他	1.4%	0.6%	3.1%	1.1%
		無回答	0.3%	0.0%	0.0%	0.0%
I.(6)-a	兄弟姉妹人数	該当者	298	132	84	82
		2人	71.5%	71.2%	78.6%	64.6%
		3人	23.8%	25.0%	19.0%	26.8%
		4人以上	4.7%	3.8%	2.4%	8.5%
		無回答	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
I.(6)-b	第何子	該当者	298	132	84	82
		第一子	53.4%	51.5%	58.3%	51.2%
		第二子	37.6%	40.9%	35.7%	34.1%
		第三子	7.4%	6.1%	4.8%	12.2%
		第四子以降	1.7%	1.5%	1.2%	2.4%
		無回答	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
I.(7)	高等教育機関に進学している兄弟姉妹	該当者	298	132	84	82
		いない	62.8%	64.4%	63.1%	59.8%
		1人	32.6%	31.8%	33.3%	32.9%
		2人	4.0%	3.8%	3.6%	4.9%
		3人	0.3%	0.0%	0.0%	1.2%
		4人以上	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
		無回答	0.3%	0.0%	0.0%	1.2%
I.(8)	私立の学校に進学している兄弟姉妹	該当者	298	132	84	82
		いない	43.3%	41.7%	47.6%	41.5%
		1人	48.3%	48.5%	46.4%	50.0%
		2人	6.4%	8.3%	6.0%	3.7%
		3人	0.7%	0.8%	0.0%	1.2%
		4人以上	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
		無回答	1.3%	0.8%	0.0%	3.7%
II.(1)-a	小学校の設置者	総数	352	161	99	92
		国立	2.3%	2.5%	2.0%	2.2%
		公立	92.6%	93.2%	88.8%	95.7%
		私立	3.1%	2.5%	7.1%	0.0%
		海外	1.7%	1.9%	1.0%	2.2%
		無回答	0.3%	0.0%	1.0%	0.0%

新入生調査 基礎集計表 (入学予定者)2/6

			総数	学部		
				文教育学部	理学部	生活科学部
Ⅱ.(1)-b	中学校の設置者	総数	352	161	99	92
		国立	6.0%	4.3%	7.1%	7.6%
		公立	64.5%	68.3%	52.0%	70.7%
		私立	28.1%	26.1%	38.8%	20.7%
		海外	1.1%	1.2%	1.0%	1.1%
		無回答	0.3%	0.0%	1.0%	0.0%
Ⅱ.(2)-a	小学校受験の有無	総数	352	161	99	92
		受験をした	6.3%	6.2%	8.2%	4.3%
		受験をしていない	92.9%	93.2%	90.8%	94.6%
		覚えていない	0.3%	0.6%	0.0%	0.0%
		無回答	0.6%	0.0%	1.0%	1.1%
Ⅱ.(2)-b	中学校受験の有無	総数	352	161	99	92
		受験をした	41.8%	37.3%	52.0%	39.1%
		受験をしていない	57.7%	62.7%	46.9%	59.8%
		覚えていない	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
		無回答	0.6%	0.0%	1.0%	1.1%
Ⅱ.(2)-c	高校受験の有無	総数	352	161	99	92
		受験をした	67.9%	70.8%	58.2%	72.8%
		受験をしていない	32.1%	29.2%	41.8%	27.2%
		覚えていない	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
		無回答	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
Ⅱ.(3)	受験決定時期	総数	352	161	99	92
		高校入学以前	2.3%	1.2%	2.0%	4.3%
		高校1年	11.6%	11.2%	6.1%	18.5%
		高校2年	29.3%	30.4%	17.3%	40.2%
		高校3年4~8月	23.6%	30.4%	19.4%	15.2%
		高校3年9・10月	6.5%	8.1%	8.2%	2.2%
		高校3年11・12月	6.8%	5.6%	13.3%	2.2%
		高校3年1・2月	11.1%	10.6%	17.3%	5.4%
		高校卒業以降	8.8%	2.5%	16.3%	12.0%
		無回答	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
Ⅱ.(4)	第一志望	総数	352	161	99	92
		はい	90.6%	93.8%	78.6%	97.8%
		いいえ	9.4%	6.2%	21.4%	2.2%
		無回答	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
Ⅱ.(5)	高校卒業から大学入学までの間に経験したこと	総数	352	161	99	92
		高卒後、他の高等教育機関に入学した	1.7%	1.2%	3.1%	1.1%
		高卒後、フルタイムで働いた	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
		高卒後、浪人した	16.8%	11.2%	25.5%	17.4%
		高卒後、海外留学をした	0.3%	0.0%	1.0%	0.0%
		この中にはない	74.1%	79.5%	65.3%	73.9%
Ⅱ.(5)	高校時代取り組んでいた活動	総数	352	161	99	92
		高校の授業	81.5%	83.9%	76.5%	83.7%
		部活動	72.2%	73.9%	67.3%	75.0%
		アルバイト活動	0.3%	0.6%	0.0%	0.0%
		授業以外での勉強	44.6%	44.7%	35.7%	54.3%
		友達との交流	62.2%	63.4%	60.2%	62.0%
		趣味	42.9%	47.8%	37.8%	40.2%
		ボランティア活動	7.1%	6.8%	7.1%	7.6%
		その他	8.8%	9.9%	9.2%	6.5%
		特にない	0.3%	0.0%	1.0%	0.0%
		無回答	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
Ⅲ.(1)	居住予定の都道府県	総数	352	161	99	92
		東京都	63.9%	70.8%	56.1%	60.9%
		埼玉県	13.9%	11.8%	16.3%	15.2%
		千葉県	9.1%	9.3%	9.2%	8.7%
		神奈川県	8.0%	3.7%	13.3%	8.7%
		その他の県	4.8%	3.7%	5.1%	6.5%
		無回答	0.3%	0.6%	0.0%	0.0%
Ⅲ.(2)	居住予定の住居	総数	352	161	99	92
		実家	57.1%	47.8%	71.4%	57.6%
		実家以外の賃貸アパートやマンション	29.3%	34.2%	21.4%	29.3%
		大学の寮(国際学生宿舎)	17.3%	20.5%	14.3%	15.2%
		大学の寮(お茶大SCC)	11.1%	13.7%	8.2%	9.8%
		大学以外の寮	4.0%	8.1%	0.0%	1.1%
		その他	2.3%	3.1%	2.0%	1.1%
		無回答	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
Ⅲ.(3)	家賃	該当者	103	55	21	27
		5万円未満	4.9%	5.5%	9.5%	0.0%
		5~7万円台	60.2%	61.8%	57.1%	59.3%
		8~9万円台	22.3%	21.8%	19.0%	25.9%
		10~12万円台	6.8%	7.3%	4.8%	7.4%
		13~14万円台	1.0%	0.0%	4.8%	0.0%
		15万円以上	1.0%	0.0%	0.0%	3.7%
		無回答	3.9%	3.6%	4.8%	3.7%

新入生調査 基礎集計表 (入学予定者)3/6

		総数	学部			
			文教育学部	理学部	生活科学部	
Ⅲ.(4)	仕送り額	該当者	162	90	32	40
		仕送りはない	9.9%	7.8%	9.4%	15.0%
		5万円未満	9.3%	7.8%	6.3%	15.0%
		5～7万円台	29.6%	33.3%	31.3%	20.0%
		8～9万円台	12.3%	10.0%	12.5%	17.5%
		10～12万円台	19.1%	18.9%	21.9%	17.5%
		13～14万円台	3.1%	4.4%	0.0%	2.5%
		15万円以上	7.4%	5.6%	18.8%	2.5%
		無回答	9.3%	12.2%	0.0%	10.0%
Ⅲ.(5)	入学後の活動	総数	352	161	99	92
		大学の授業	98.6%	98.1%	99.0%	98.9%
		クラブ・サークル活動	71.6%	68.3%	67.3%	82.6%
		アルバイト活動	64.2%	60.9%	63.3%	71.7%
		授業以外での勉強	54.0%	57.1%	52.0%	51.1%
		友達との交流	79.5%	80.1%	72.4%	87.0%
		趣味	42.6%	46.6%	39.8%	39.1%
		ボランティア活動	20.5%	21.7%	15.3%	23.9%
		その他	2.0%	3.1%	1.0%	1.1%
		特になし	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
Ⅲ.(6)	アルバイト活動予定	該当者	226	98	62	66
		長期休暇期間(夏、冬、春休み)のみ	3.5%	0.0%	4.8%	7.6%
		学期中、不定期	2.7%	4.1%	1.6%	1.5%
		学期中、定期的に	13.3%	10.2%	16.1%	15.2%
		学期中に定期的に、長期休暇期間にも	48.7%	55.1%	35.5%	51.5%
		学期中に不定期的に、長期休暇期間にも	10.6%	8.2%	17.7%	7.6%
		その他	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
		未定	20.8%	22.4%	22.6%	16.7%
		無回答	0.4%	0.0%	1.6%	0.0%
Ⅲ.(7)	希望するアルバイト活動	該当者	226	98	62	66
		家庭教師・塾講師	66.4%	70.4%	71.0%	56.1%
		商品などの販売(店員、レジ係など)	49.6%	46.9%	45.2%	57.6%
		サービス関係(接客、調理など)	51.8%	54.1%	38.7%	60.6%
		事務	11.9%	14.3%	11.3%	9.1%
		運搬、梱包、清掃等の労働	4.9%	7.1%	3.2%	3.0%
		その他	1.8%	2.0%	0.0%	3.0%
		無回答	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
Ⅲ.(8)	授業料の負担予定	総数	352	161	99	92
		ほぼ全額を保護者が負担予定	84.4%	80.7%	93.9%	80.4%
		一部をあなたが負担予定	14.2%	17.4%	6.1%	17.4%
		ほぼ全額をあなたが負担予定	1.1%	1.9%	0.0%	1.1%
		無回答	0.3%	0.0%	0.0%	1.1%
Ⅲ.(9)	受けたことのある奨学金	総数	352	161	99	92
		日本学生支援機構の奨学金	1.1%	2.5%	0.0%	0.0%
		地方公共団体の奨学金	1.7%	1.9%	1.0%	2.2%
		学校独自の奨学金	1.4%	1.9%	1.0%	1.1%
		民間奨学団体の奨学金	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
		新聞社の奨学金	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
		その他の奨学金	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
		学費免除	0.9%	0.0%	2.0%	1.1%
		特待生	3.7%	4.3%	3.1%	3.3%
		無回答	91.5%	89.4%	93.9%	92.4%
Ⅲ.(9)	奨学金の具体的名称-1 日本学生支援機構の奨学金	該当者	4	4	0	0
		記入あり	25.0%	25.0%	0.0%	0.0%
Ⅲ.(9)	奨学金の具体的名称-2 地方公共団体の奨学金	記入なし	75.0%	75.0%	0.0%	0.0%
		該当者	6	3	1	2
Ⅲ.(9)	奨学金の具体的名称-3 学校独自の奨学金	記入あり	83.3%	100.0%	100.0%	50.0%
		記入なし	16.7%	0.0%	0.0%	50.0%
Ⅲ.(9)	奨学金の具体的名称-4 民間奨学団体の奨学金	該当者	5	3	1	1
		記入あり	80.0%	100.0%	0.0%	100.0%
Ⅲ.(9)	奨学金の具体的名称-5 新聞社の奨学金	記入なし	20.0%	0.0%	100.0%	0.0%
		該当者	0	0	0	0
Ⅲ.(9)	奨学金の具体的名称-6 その他の奨学金	記入あり	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
		記入なし	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
Ⅲ.(9)	奨学金の具体的名称-7 学費免除	該当者	0	0	0	0
		記入あり	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
Ⅲ.(9)	奨学金の具体的名称-8 特待生	記入なし	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
		該当者	3	0	2	1
Ⅲ.(9)	奨学金の具体的名称-8 特待生	記入あり	100.0%	0.0%	100.0%	100.0%
		記入なし	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
Ⅲ.(9)	奨学金の具体的名称-8 特待生	該当者	13	7	3	3
		記入あり	76.9%	85.7%	66.7%	66.7%
Ⅲ.(9)	奨学金の具体的名称-8 特待生	記入なし	23.1%	14.3%	33.3%	33.3%

新入生調査 基礎集計表 (入学予定者)4/6

		総数	学部			
			文教育学部	理学部	生活科学部	
Ⅲ.(9)	奨学金／給与・貸与-1 日本学生支援機構の奨学金	該当者	4	4	0	0
		給与	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
		貸与	100.0%	100.0%	0.0%	0.0%
		無回答	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
Ⅲ.(9)	奨学金／給与・貸与-2 地方公共団体の奨学金	該当者	6	3	1	2
		給与	50.0%	33.3%	100.0%	50.0%
		貸与	50.0%	66.7%	0.0%	50.0%
		無回答	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
Ⅲ.(9)	奨学金／給与・貸与-3 学校独自の奨学金	該当者	5	3	1	1
		給与	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
		貸与	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
		無回答	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
Ⅲ.(9)	奨学金／給与・貸与-4 民間奨学団体の奨学金	該当者	0	0	0	0
		給与	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
		貸与	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
		無回答	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
Ⅲ.(9)	奨学金／給与・貸与-5 新聞社の奨学金	該当者	0	0	0	0
		給与	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
		貸与	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
		無回答	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
Ⅲ.(9)	奨学金／給与・貸与-6 その他の奨学金	該当者	0	0	0	0
		給与	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
		貸与	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
		無回答	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
Ⅲ.(9)	奨学金／給与・貸与-7 学費免除	該当者	3	0	2	1
		給与	100.0%	0.0%	100.0%	100.0%
		貸与	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
		無回答	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
Ⅲ.(9)	奨学金／給与・貸与-8 特待生	該当者	13	7	3	3
		給与	92.3%	100.0%	66.7%	100.0%
		貸与	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
		無回答	7.7%	0.0%	33.3%	0.0%
Ⅲ.(10)	奨学金の認知	総数	352	161	99	92
		日本学生支援機構(第一種奨学金)	40.9%	49.1%	25.5%	43.5%
		日本学生支援機構(第二種奨学金)	38.4%	46.0%	24.5%	40.2%
		日本学生支援機構(緊急・応急採用奨学金)	3.1%	3.1%	0.0%	6.5%
		地方公共団体の奨学金	10.2%	11.2%	8.2%	10.9%
		民間奨学団体の奨学金	8.0%	9.9%	5.1%	7.6%
		みがかずば奨学金	45.2%	50.9%	25.5%	56.5%
		桜蔭会奨学金(3年生向け)	5.7%	7.5%	6.1%	2.2%
		育児支援奨学金	2.3%	2.5%	2.0%	2.2%
		入学料免除制度	17.3%	19.9%	10.2%	20.7%
		入学料徴収猶予制度	12.8%	14.9%	9.2%	13.0%
		授業料免除制度	21.9%	24.2%	19.4%	20.7%
授業料徴収猶予制度	12.5%	14.3%	10.2%	12.0%		
知っているものはない	29.3%	23.0%	43.9%	25.0%		
無回答	4.5%	3.7%	4.1%	5.4%		
Ⅲ.(11)	知っている学生寮	総数	352	161	99	92
		国際学生宿舎	54.5%	65.8%	36.7%	54.3%
		お茶大SCC	68.8%	78.3%	46.9%	76.1%
		小石川寮(大学院生向け)	31.3%	34.8%	19.4%	38.0%
		知らない	27.6%	18.6%	49.0%	19.6%
無回答	0.9%	0.0%	2.0%	1.1%		
Ⅲ.(12)	心配なこと	総数	352	161	99	92
		授業や単位	71.9%	74.5%	73.5%	66.3%
		就職や将来	55.1%	58.4%	54.1%	51.1%
		人間関係	56.5%	56.5%	57.1%	55.4%
		生活・経済面	40.1%	50.9%	27.6%	34.8%
		健康面	13.4%	14.9%	11.2%	13.0%
		日常生活全般	25.0%	27.3%	22.4%	23.9%
		その他	1.4%	1.9%	1.0%	1.1%
		特になし	5.7%	5.0%	5.1%	7.6%
無回答	0.6%	0.0%	2.0%	0.0%		
Ⅲ.(13)	不安心配ごと-1 充実したキャンパスライフを送れるか	総数	352	161	99	92
		あてはまる	35.2%	37.3%	33.7%	33.7%
		ある程度あてはまる	35.8%	34.8%	36.7%	35.9%
		あまりあてはまらない	19.6%	18.0%	22.4%	19.6%
		あてはまらない	8.5%	9.3%	6.1%	9.8%
		無回答	0.9%	0.6%	1.0%	1.1%
		あてはまる(計)	71.0%	72.0%	70.4%	69.6%
あてはまらない(計)	28.1%	27.3%	28.6%	29.3%		
Ⅲ.(13)	不安心配ごと-2 友達ができるか	総数	352	161	99	92
		あてはまる	36.9%	37.3%	33.7%	40.2%
		ある程度あてはまる	36.6%	36.6%	38.8%	33.7%
		あまりあてはまらない	17.9%	18.6%	19.4%	15.2%
		あてはまらない	8.0%	6.8%	8.2%	9.8%
		無回答	0.6%	0.6%	0.0%	1.1%
		あてはまる(計)	73.6%	73.9%	72.4%	73.9%
あてはまらない(計)	25.9%	25.5%	27.6%	25.0%		

新入生調査 基礎集計表 (入学予定者)5/6

			総数	学部		
				文教育学部	理学部	生活科学部
Ⅲ.(13)	不安心配ごと-3 大学になじめるか	総数	352	161	99	92
		あてはまる	31.3%	32.9%	26.5%	33.7%
		ある程度あてはまる	36.9%	34.8%	40.8%	37.0%
		あまりあてはまらない	21.6%	23.6%	22.4%	16.3%
		あてはまらない	9.1%	7.5%	9.2%	12.0%
		無回答	1.1%	1.2%	1.0%	1.1%
		あてはまる(計)	68.2%	67.7%	67.3%	70.7%
		あてはまらない(計)	30.7%	31.1%	31.6%	28.3%
Ⅲ.(13)	不安心配ごと-4 金銭面で負担が かからないか	総数	352	161	99	92
		あてはまる	27.0%	32.3%	18.4%	27.2%
		ある程度あてはまる	35.2%	34.2%	34.7%	38.0%
		あまりあてはまらない	26.1%	24.2%	27.6%	27.2%
		あてはまらない	10.8%	8.1%	19.4%	6.5%
		無回答	0.9%	1.2%	0.0%	1.1%
		あてはまる(計)	62.2%	66.5%	53.1%	65.2%
		あてはまらない(計)	36.9%	32.3%	46.9%	33.7%
Ⅲ.(13)	不安心配ごと-5 授業についていけるか	総数	352	161	99	92
		あてはまる	38.4%	41.6%	35.7%	35.9%
		ある程度あてはまる	39.5%	36.0%	41.8%	43.5%
		あまりあてはまらない	16.5%	16.1%	16.3%	16.3%
		あてはまらない	4.8%	5.6%	5.1%	3.3%
		無回答	0.9%	0.6%	1.0%	1.1%
		あてはまる(計)	77.8%	77.6%	77.6%	79.3%
		あてはまらない(計)	21.3%	21.7%	21.4%	19.6%
Ⅲ.(13)	不安心配ごと-6 進級や卒業ができるか	総数	352	161	99	92
		あてはまる	20.7%	18.6%	25.5%	19.6%
		ある程度あてはまる	37.2%	37.9%	35.7%	38.0%
		あまりあてはまらない	30.7%	30.4%	28.6%	32.6%
		あてはまらない	10.5%	11.8%	10.2%	8.7%
		無回答	0.9%	1.2%	0.0%	1.1%
		あてはまる(計)	58.0%	56.5%	61.2%	57.6%
		あてはまらない(計)	41.2%	42.2%	38.8%	41.3%
Ⅲ.(13)	不安心配ごと-7 将来の目標が見つかるか	総数	352	161	99	92
		あてはまる	24.4%	23.0%	27.6%	23.9%
		ある程度あてはまる	31.8%	33.5%	33.7%	27.2%
		あまりあてはまらない	31.0%	32.9%	24.5%	33.7%
		あてはまらない	11.9%	9.3%	14.3%	14.1%
		無回答	0.9%	1.2%	0.0%	1.1%
		あてはまる(計)	56.3%	56.5%	61.2%	51.1%
		あてはまらない(計)	42.9%	42.2%	38.8%	47.8%
Ⅲ.(13)	不安心配ごと-8 卒業後ちゃんと就職できるか	総数	352	161	99	92
		あてはまる	33.2%	34.8%	31.6%	32.6%
		ある程度あてはまる	36.9%	36.6%	36.7%	38.0%
		あまりあてはまらない	23.9%	22.4%	23.5%	26.1%
		あてはまらない	5.1%	5.0%	8.2%	2.2%
		無回答	0.9%	1.2%	0.0%	1.1%
		あてはまる(計)	70.2%	71.4%	68.4%	70.7%
		あてはまらない(計)	29.0%	27.3%	31.6%	28.3%
Ⅲ.(14)	期待する学生支援活動	総数	352	161	99	92
		経済的支援	28.4%	29.8%	21.4%	33.7%
		生活相談	21.6%	22.4%	17.3%	25.0%
		健康相談	10.2%	10.6%	5.1%	15.2%
		心理相談	14.8%	15.5%	12.2%	16.3%
		学習支援	65.6%	69.6%	64.3%	60.9%
		進路相談	60.8%	68.3%	50.0%	58.7%
		就職支援	76.1%	77.0%	67.3%	84.8%
		課外活動支援	31.3%	32.9%	20.4%	40.2%
		その他	1.1%	1.2%	2.0%	0.0%
		特になし	3.7%	3.1%	7.1%	1.1%
		無回答	0.6%	0.6%	1.0%	0.0%
Ⅳ.(1)	大学卒業後の進路	総数	352	161	99	92
		民間企業に就職する	55.1%	58.4%	42.9%	63.0%
		公務員になる	38.4%	44.7%	27.6%	39.1%
		教師などの専門職につく	26.1%	34.2%	20.4%	18.5%
		自営など、1から3以外の形で就職する	2.3%	2.5%	1.0%	3.3%
		大学院などに進学する(海外含む)	46.0%	33.5%	71.4%	41.3%
		その他	0.9%	1.2%	0.0%	1.1%
		決めていない	12.5%	12.4%	11.2%	13.0%
		無回答	0.6%	1.2%	0.0%	
Ⅳ.(2)	大学卒業後のキャリア-1 すぐに就職して最初から正社員・ 正規の職員になる	総数	352	161	99	92
		そう思う	46.0%	50.9%	34.7%	50.0%
		ある程度思う	37.5%	39.1%	34.7%	37.0%
		そう思わない	15.1%	8.1%	29.6%	12.0%
		無回答	1.4%	1.9%	1.0%	1.1%
Ⅳ.(2)	大学卒業後のキャリア-2 すぐに就職するが、正社員・正規 の職員にこだわらない	総数	352	161	99	92
		そう思う	0.9%	0.6%	0.0%	2.2%
		ある程度思う	26.1%	29.8%	17.3%	29.3%
		そう思わない	71.0%	66.5%	81.6%	67.4%
		無回答	2.0%	3.1%	1.0%	1.1%

新入生調査 基礎集計表 (入学予定者)6/6

		総数	学部			
			文教育学部	理学部	生活科学部	
IV.(2)	大学卒業後のキャリア-3 すぐに大学院などに進学する	総数	352	161	99	92
		そう思う	23.3%	12.4%	46.9%	17.4%
		ある程度思う	39.5%	36.6%	36.7%	46.7%
		そう思わない	36.1%	49.7%	14.3%	35.9%
		無回答	1.1%	1.2%	2.0%	0.0%
IV.(2)	大学卒業後のキャリア-4 就職してから大学院への進学を考える	総数	352	161	99	92
		そう思う	0.6%	1.2%	0.0%	0.0%
		ある程度思う	14.5%	14.9%	13.3%	15.2%
		そう思わない	83.8%	82.6%	84.7%	84.8%
		無回答	1.1%	1.2%	2.0%	0.0%
IV.(2)	大学卒業後のキャリア-5 資格試験・公務員試験などに合格するまで就職しない	総数	352	161	99	92
		そう思う	3.4%	1.9%	0.0%	9.8%
		ある程度思う	28.7%	34.2%	19.4%	29.3%
		そう思わない	65.9%	62.1%	78.6%	58.7%
		無回答	2.0%	1.9%	2.0%	2.2%
IV.(2)	大学卒業後のキャリア-6 卒業後すぐには就職 しなくてもよい	総数	352	161	99	92
		そう思う	4.8%	3.7%	7.1%	4.3%
		ある程度思う	27.0%	23.6%	28.6%	31.5%
		そう思わない	67.3%	71.4%	63.3%	64.1%
		無回答	0.9%	1.2%	1.0%	0.0%
IV.(2)	大学卒業後のキャリア-7 最初の就職先にできるだけ 長く勤める	総数	352	161	99	92
		そう思う	48.6%	46.0%	48.0%	53.3%
		ある程度思う	40.9%	42.2%	40.8%	39.1%
		そう思わない	9.7%	10.6%	10.2%	7.6%
		無回答	0.9%	1.2%	1.0%	0.0%
IV.(2)	大学卒業後のキャリア-8 何年かして転職や独立をする	総数	352	161	99	92
		そう思う	2.3%	3.1%	2.0%	1.1%
		ある程度思う	30.4%	31.7%	22.4%	37.0%
		そう思わない	66.5%	64.0%	74.5%	62.0%
		無回答	0.9%	1.2%	1.0%	0.0%
IV.(2)	大学卒業後のキャリア-9 出産・結婚したら仕事をやめる	総数	352	161	99	92
		そう思う	2.3%	2.5%	2.0%	2.2%
		ある程度思う	26.1%	27.3%	22.4%	27.2%
		そう思わない	70.7%	68.9%	74.5%	70.7%
		無回答	0.9%	1.2%	1.0%	0.0%
IV.(3)	就職や将来への親の関与-a 父親	総数	352	161	99	92
		まったく関与しない	6.5%	7.5%	3.1%	8.7%
		あまり関与しない	29.5%	33.5%	24.5%	28.3%
		どちらとも言えない	10.5%	10.6%	10.2%	10.9%
		まあまあ関与する	39.8%	32.9%	50.0%	41.3%
		非常に関与する	9.4%	9.3%	11.2%	6.5%
		父親はいない	3.1%	5.0%	0.0%	3.3%
無回答	1.1%	1.2%	1.0%	1.1%		
IV.(3)	就職や将来への親の関与-b 母親	総数	352	161	99	92
		まったく関与しない	4.5%	5.0%	3.1%	5.4%
		あまり関与しない	21.9%	28.6%	18.4%	14.1%
		どちらとも言えない	9.4%	9.3%	8.2%	10.9%
		まあまあ関与する	46.3%	41.0%	52.0%	50.0%
		非常に関与する	16.8%	14.9%	17.3%	18.5%
		母親はいない	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
無回答	1.1%	1.2%	1.0%	1.1%		
[データ活用の許可]	総数	352	161	99	92	
	はい	98.9%	98.1%	99.0%	100.0%	
	いいえ	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	
[個人情報登録の許可]	総数	352	161	99	92	
	はい	94.9%	95.0%	94.9%	94.6%	
	いいえ	4.0%	3.7%	4.1%	4.3%	
[受験番号]	総数	352	161	99	92	
	記入あり	98.9%	98.8%	98.0%	100.0%	
	記入なし	1.1%	1.2%	2.0%	0.0%	
[お茶大入試方法]	総数	352	161	99	92	
	一般	79.3%	72.0%	87.8%	82.6%	
	一般(外)	0.6%	0.0%	1.0%	1.1%	
	推薦(帰国含む)・文教育学部	10.5%	23.0%	0.0%	0.0%	
	推薦(帰国含む)・理学部	2.8%	0.0%	10.2%	0.0%	
	推薦(帰国含む)・生活科学部	3.4%	0.0%	0.0%	13.0%	
	AO	1.7%	2.5%	1.0%	1.1%	
	高校	1.7%	2.5%	0.0%	2.2%	
不明	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%		

付表 4

新入生調査 基礎集計表 (保護者)1/4

		総数	学部			
			文教育学部	理学部	生活科学部	無回答
(1) 家計を支えている人	総数	343	156	90	89	1
	父親	92.4%	92.3%	91.1%	93.3%	100
	母親	8.7%	8.3%	11.1%	7.9%	0
	入学予定者本人	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0
	その他	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0
	無回答	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0
(2) 家計を支えている人の職業	総数	343	156	90	89	1
	勤労者	88.9%	87.8%	91.1%	92.1%	100
	個人営業	5.2%	5.1%	2.2%	6.7%	0
	法人経営者、自由業者	4.7%	5.8%	4.4%	1.1%	0
	農林水産業者	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0
	その他	0.3%	0.0%	1.1%	0.0%	0
	働いていない	0.9%	1.3%	1.1%	0.0%	0
	無回答	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0
(3) 父親の職業	総数	343	156	90	89	1
	フルタイム勤務	86.3%	85.9%	86.7%	88.8%	100
	パートタイム勤務	0.9%	0.6%	2.2%	0.0%	0
	自営	7.3%	6.4%	6.7%	6.7%	0
	無職	1.5%	1.3%	3.3%	0.0%	0
	いない	3.2%	5.1%	0.0%	3.4%	0
	無回答	0.9%	0.6%	1.1%	1.1%	0
(4) 父親の職種	該当者	296	134	78	79	1
	専門職(医師・弁護士・研究者・教師など)	18.2%	21.6%	12.8%	17.7%	0
	技術職(エンジニア・情報処理技術者など)	15.9%	12.7%	15.4%	21.5%	0
	管理職(会社・団体の役員・部課長・工場長・支店長など)	38.9%	34.3%	51.3%	35.4%	0
	事務職(庶務・人事・経理・調査・企画・秘書・受付など)	15.2%	18.7%	11.5%	13.9%	0
	営業職(セールスマン・生命保険外交員など)	5.4%	4.5%	5.1%	6.3%	100
	販売職(デパート・スーパーの店員など)	0.3%	0.7%	0.0%	0.0%	0
	サービス職(美容師・調理師・客室乗務員・旅行添乗員など)	0.3%	0.7%	0.0%	0.0%	0
	保安職(警察官・消防士・警備員など)	1.0%	1.5%	0.0%	1.3%	0
	農林漁業職(農業従事者・家畜飼育者・植木職・漁船船員など)	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0
	運輸通信職(鉄道機関士・運転手・船舶や航空機の操縦士など)	1.4%	1.5%	1.3%	1.3%	0
	生産労務職(機械組立修理工・食料品製造工・土木業者など)	1.7%	1.5%	2.6%	1.3%	0
	その他	1.0%	1.5%	0.0%	1.3%	0
	無回答	0.7%	0.7%	0.0%	0.0%	0
(5) 母親の職業	総数	343	156	90	89	1
	フルタイム勤務	28.3%	30.1%	30.0%	25.8%	0
	パートタイム勤務	35.6%	34.0%	32.2%	42.7%	100
	自営	5.0%	5.1%	2.2%	5.6%	0
	無職	30.3%	30.8%	34.4%	24.7%	0
	いない	0.6%	0.0%	1.1%	0.0%	0
	無回答	0.3%	0.0%	0.0%	1.1%	0
(6) 母親の職種	該当者	97	47	27	23	0
	専門職(医師・弁護士・研究者・教師など)	35.1%	34.0%	33.3%	39.1%	0
	技術職(エンジニア・情報処理技術者など)	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0
	管理職(会社・団体の役員・部課長・工場長・支店長など)	8.2%	8.5%	14.8%	0.0%	0
	事務職(庶務・人事・経理・調査・企画・秘書・受付など)	37.1%	38.3%	37.0%	34.8%	0
	営業職(セールスマン・生命保険外交員など)	3.1%	2.1%	0.0%	8.7%	0
	販売職(デパート・スーパーの店員など)	1.0%	0.0%	0.0%	4.3%	0
	サービス職(美容師・調理師・客室乗務員・旅行添乗員など)	8.2%	6.4%	7.4%	13.0%	0
	保安職(警察官・消防士・警備員など)	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0
	農林漁業職(農業従事者・家畜飼育者・植木職・漁船船員など)	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0
	運輸通信職(鉄道機関士・運転手・船舶や航空機の操縦士など)	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0
	生産労務職(機械組立修理工・食料品製造工・土木業者など)	2.1%	4.3%	0.0%	0.0%	0
	その他	4.1%	4.3%	7.4%	0.0%	0
	無回答	1.0%	2.1%	0.0%	0.0%	0
(7) 入学後の暮らし向き	総数	343	156	90	89	1
	ゆとりがない	17.5%	17.9%	13.3%	21.3%	0
	あまりゆとりがない	41.7%	41.0%	40.0%	43.8%	100
	多少ゆとりがある	33.2%	29.5%	40.0%	32.6%	0
	ゆとりがある	5.0%	7.1%	4.4%	2.2%	0
	無回答	2.6%	4.5%	2.2%	0.0%	0
(8) 世帯年収	総数	343	156	90	89	1
	400万円未満	6.4%	9.0%	2.2%	6.7%	0
	400万円以上600万円未満	9.0%	10.9%	5.6%	10.1%	0
	600万円以上800万円未満	15.5%	12.2%	18.9%	19.1%	0
	800万円以上1000万円未満	23.3%	19.9%	24.4%	27.0%	0
	1000万円以上1200万円未満	19.8%	25.0%	17.8%	12.4%	100
	1200万円以上1400万円未満	9.0%	9.0%	10.0%	7.9%	0
	1400万円以上1600万円未満	5.2%	4.5%	6.7%	4.5%	0
	1600万円以上1800万円未満	3.5%	3.2%	3.3%	4.5%	0
	1800万円以上	4.1%	3.2%	4.4%	5.6%	0
	無回答	4.1%	3.2%	6.7%	2.2%	0
(9) 家計を支えている人の年収	総数	343	156	90	89	1
	400万円未満	9.9%	12.8%	4.4%	11.2%	0
	400万円以上600万円未満	12.0%	13.5%	11.1%	11.2%	0
	600万円以上800万円未満	22.7%	21.2%	23.3%	27.0%	0
	800万円以上1000万円未満	22.4%	17.9%	24.4%	27.0%	0
	1000万円以上1200万円未満	15.5%	19.9%	13.3%	7.9%	100
	1200万円以上1400万円未満	5.0%	3.8%	7.8%	4.5%	0
	1400万円以上1600万円未満	3.5%	3.2%	3.3%	3.4%	0
	1600万円以上1800万円未満	2.0%	2.6%	2.2%	1.1%	0
	1800万円以上	3.5%	2.6%	4.4%	4.5%	0
無回答	3.5%	2.6%	5.6%	2.2%	0	

付表 4

新入生調査 基礎集計表 (保護者)2/4

		総数	学部			
			文教育学部	理学部	生活科学部	無回答
(10) 仕送り額(万円)	総数	343	156	90	89	1
	仕送りはしない	55.4%	45.5%	63.3%	64.0%	100
	5万円未満	5.0%	6.4%	1.1%	5.6%	0
	5~7万円台	12.5%	16.0%	8.9%	10.1%	0
	8~9万円台	5.5%	6.4%	4.4%	5.6%	0
	10~12万円台	9.3%	10.3%	7.8%	9.0%	0
	13~14万円台	2.3%	3.8%	0.0%	2.2%	0
	15万円台以上	5.2%	6.4%	6.7%	2.2%	0
	無回答	4.7%	5.1%	7.8%	1.1%	0
(11) 授業料の負担予定	総数	343	156	90	89	1
	ほぼ全額を保護者が負担予定	81.6%	75.6%	91.1%	80.9%	100
	一部をご子本人が負担予定(奨学金、アルバイトなども含む)	16.3%	21.8%	6.7%	18.0%	0
	ほぼ全額をご子本人が負担予定(奨学金、アルバイトなども含む)	0.9%	1.3%	0.0%	1.1%	0
	無回答	1.2%	1.3%	2.2%	0.0%	0
(12) 受けたことのある奨学金	総数	343	156	90	89	1
	日本学生支援機構の奨学金	0.6%	1.3%	0.0%	0.0%	0
	地方公共団体の奨学金	1.7%	1.3%	1.1%	3.4%	0
	学校独自の奨学金	1.5%	1.9%	1.1%	1.1%	0
	民間奨学団体の奨学金	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0
	新聞社の奨学金	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0
	その他の奨学金	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0
	学費免除	1.2%	0.0%	2.2%	2.2%	0
	特待生	3.8%	3.2%	2.2%	4.5%	0
	無回答	91.8%	92.3%	94.4%	89.9%	100
(12) 奨学金の具体的名称-1	該当者	2	2	0	0	0
	記入あり	50.0%	50.0%	0.0%	0.0%	0
	日本学生支援機構の奨学金	記入なし	50.0%	0.0%	0.0%	0
(12) 奨学金の具体的名称-2	該当者	6	2	1	3	0
	記入あり	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	0
	地方公共団体の奨学金	記入なし	0.0%	0.0%	0.0%	0
(12) 奨学金の具体的名称-3	該当者	5	3	1	1	0
	記入あり	80.0%	100.0%	0.0%	100.0%	0
	学校独自の奨学金	記入なし	20.0%	0.0%	100.0%	0
(12) 奨学金の具体的名称-4	該当者	0	0	0	0	0
	記入あり	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0
	民間奨学団体の奨学金	記入なし	0.0%	0.0%	0.0%	0
(12) 奨学金の具体的名称-5	該当者	0	0	0	0	0
	記入あり	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0
	新聞社の奨学金	記入なし	0.0%	0.0%	0.0%	0
(12) 奨学金の具体的名称-6	該当者	0	0	0	0	0
	記入あり	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0
	その他の奨学金	記入なし	0.0%	0.0%	0.0%	0
(12) 奨学金の具体的名称-7	該当者	4	0	2	2	0
	記入あり	100.0%	0.0%	100.0%	100.0%	0
	学費免除	記入なし	0.0%	0.0%	0.0%	0
(12) 奨学金の具体的名称-8	該当者	13	5	2	4	0
	記入あり	84.6%	100.0%	100.0%	75.0%	0
	特待生	記入なし	15.4%	0.0%	25.0%	0
(12) 奨学金／給与・貸与-1	該当者	2	2	0	0	0
	給与	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0
	日本学生支援機構の奨学金	貸与	100.0%	100.0%	0.0%	0
	無回答	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0
(12) 奨学金／給与・貸与-2	該当者	6	2	1	3	0
	給与	66.7%	0.0%	100.0%	100.0%	0
	地方公共団体の奨学金	貸与	33.3%	100.0%	0.0%	0
	無回答	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0
(12) 奨学金／給与・貸与-3	該当者	5	3	1	1	0
	給与	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	0
	学校独自の奨学金	貸与	0.0%	0.0%	0.0%	0
	無回答	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0
(12) 奨学金／給与・貸与-4	該当者	0	0	0	0	0
	給与	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0
	民間奨学団体の奨学金	貸与	0.0%	0.0%	0.0%	0
	無回答	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0
(12) 奨学金／給与・貸与-5	該当者	0	0	0	0	0
	給与	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0
	新聞社の奨学金	貸与	0.0%	0.0%	0.0%	0
	無回答	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0
(12) 奨学金／給与・貸与-6	該当者	0	0	0	0	0
	給与	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0
	その他の奨学金	貸与	0.0%	0.0%	0.0%	0
	無回答	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0
(12) 奨学金／給与・貸与-7	該当者	4	0	2	2	0
	給与	100.0%	0.0%	100.0%	100.0%	0
	学費免除	貸与	0.0%	0.0%	0.0%	0
	無回答	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0
(12) 奨学金／給与・貸与-8	該当者	13	5	2	4	0
	給与	92.3%	100.0%	50.0%	100.0%	0
	特待生	貸与	0.0%	0.0%	0.0%	0
	無回答	7.7%	0.0%	50.0%	0.0%	0

		総数	学部			無回答
			文教育学部	理学部	生活科学部	
(13) 奨学金の認知	総数	343	156	90	89	1
	日本学生支援機構(第一種奨学金)	64.7%	64.7%	61.1%	70.8%	0
	日本学生支援機構(第二種奨学金)	58.0%	58.3%	52.2%	65.2%	0
	日本学生支援機構(緊急・応急採用奨学金)	10.8%	10.9%	6.7%	14.6%	0
	地方公共団体の奨学金	19.2%	19.2%	14.4%	23.6%	0
	民間奨学団体の奨学金	15.5%	15.4%	8.9%	20.2%	0
	みがかずば奨学金	31.5%	28.8%	21.1%	48.3%	0
	桜蔭会奨学金(3年生向け)	6.7%	7.7%	4.4%	7.9%	0
	育児支援奨学金	2.0%	1.3%	1.1%	3.4%	0
	入学金免除制度	31.5%	29.5%	25.6%	40.4%	0
	入学金徴収猶予制度	20.4%	20.5%	11.1%	30.3%	0
	授業料免除制度	36.4%	35.3%	26.7%	47.2%	0
	授業料徴収猶予制度	19.2%	17.3%	12.2%	29.2%	0
知っているものはない	15.5%	17.9%	16.7%	7.9%	100	
無回答	6.4%	5.1%	12.2%	3.4%	0	
(14) 奨学金の希望	総数	343	156	90	89	1
	日本学生支援機構(第一種奨学金)	20.4%	23.7%	13.3%	22.5%	0
	日本学生支援機構(第二種奨学金)	15.7%	17.3%	10.0%	19.1%	0
	日本学生支援機構(緊急・応急採用奨学金)	1.2%	0.0%	2.2%	1.1%	0
	地方公共団体の奨学金	3.8%	3.2%	1.1%	5.6%	0
	民間奨学団体の奨学金	6.1%	5.1%	4.4%	7.9%	0
	みがかずば奨学金	11.7%	10.9%	8.9%	15.7%	0
	桜蔭会奨学金(3年生向け)	9.6%	9.6%	12.2%	5.6%	0
	育児支援奨学金	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0
	入学金免除制度	1.7%	1.9%	1.1%	2.2%	0
	入学金徴収猶予制度	0.3%	0.0%	0.0%	1.1%	0
	授業料免除制度	8.5%	8.3%	7.8%	9.0%	0
	授業料徴収猶予制度	0.9%	0.6%	0.0%	1.1%	0
希望するものはない	41.4%	39.7%	44.4%	39.3%	100	
無回答	18.1%	16.0%	24.4%	16.9%	0	
(15) 知っている学生寮	総数	343	156	90	89	1
	国際学生宿舎	47.2%	51.9%	37.8%	50.6%	0
	お茶大SCC	57.1%	63.5%	37.8%	66.3%	0
	小石川寮(大学院生向け)	28.3%	26.3%	20.0%	39.3%	0
	知らない	37.3%	30.8%	54.4%	30.3%	100
無回答	2.0%	1.9%	3.3%	1.1%	0	
(16) 入寮を希望する学生寮	総数	343	156	90	89	1
	国際学生宿舎	20.1%	25.0%	14.4%	16.9%	0
	お茶大SCC	16.9%	17.9%	11.1%	21.3%	0
	小石川寮(大学院生向け)	2.3%	1.9%	2.2%	2.2%	0
	特にない	65.6%	62.2%	72.2%	65.2%	100
無回答	7.3%	7.7%	8.9%	5.6%	0	
(17) 受験から入学までに困ったこと	総数	343	156	90	89	1
	子どもの体調や精神面のこと	57.1%	57.1%	54.4%	60.7%	0
	受験・入学のための費用準備	34.4%	35.3%	26.7%	40.4%	0
	受験・入学手続きのスケジュールの管理	45.2%	47.4%	50.0%	36.0%	0
	入学後の住まい探し	28.9%	32.1%	21.1%	32.6%	0
	入学時に必要な生活用品や教材の準備	17.8%	19.2%	14.4%	18.0%	0
	その他	3.2%	2.6%	6.7%	1.1%	0
	特にない	16.0%	15.4%	14.4%	18.0%	100
無回答	1.5%	1.9%	2.2%	0.0%	0	
(18) 心配なこと	総数	343	156	90	89	1
	授業や単位	29.2%	30.8%	24.4%	29.2%	0
	就職や将来	48.7%	48.1%	46.7%	49.4%	0
	人間関係	49.9%	48.7%	48.9%	53.9%	0
	生活・経済面	33.8%	42.3%	26.7%	28.1%	0
	健康面	44.3%	51.9%	33.3%	42.7%	0
	日常生活全般	36.2%	40.4%	25.6%	39.3%	0
	その他	3.5%	2.6%	5.6%	3.4%	0
	特にない	13.4%	10.9%	14.4%	15.7%	100
無回答	1.2%	1.3%	2.2%	0.0%	0	
(19) 期待する学生支援活動	総数	343	156	90	89	1
	経済的支援	25.9%	29.5%	21.1%	25.8%	0
	生活相談	27.4%	31.4%	16.7%	31.5%	0
	健康相談	26.2%	29.5%	21.1%	24.7%	0
	心理相談	30.6%	32.7%	21.1%	34.8%	0
	学習支援	58.6%	64.7%	54.4%	52.8%	0
	進路相談	71.7%	72.4%	72.2%	70.8%	100
	就職支援	85.7%	87.2%	83.3%	87.6%	0
	課外活動支援	25.9%	26.9%	18.9%	31.5%	0
	その他	2.6%	2.6%	2.2%	2.2%	0
特になし	0.6%	1.3%	0.0%	0.0%	0	
無回答	0.9%	0.6%	1.1%	0.0%	0	
(20) 両親の最終学歴・父親	総数	343	156	90	89	1
	中学・高校	13.4%	16.0%	10.0%	12.4%	100
	高専	1.5%	0.6%	3.3%	1.1%	0
	専門学校・短大	3.8%	4.5%	2.2%	4.5%	0
	大学	61.8%	57.7%	63.3%	67.4%	0
	大学院	17.8%	18.6%	21.1%	13.5%	0
無回答	1.7%	2.6%	0.0%	1.1%	0	
(20) 両親の最終学歴・母親	総数	343	156	90	89	1
	中学・高校	13.7%	14.1%	13.3%	11.2%	100
	高専	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0
	専門学校・短大	42.3%	46.8%	36.7%	40.4%	0
	大学	40.2%	34.0%	45.6%	48.3%	0
	大学院	3.2%	4.5%	4.4%	0.0%	0
無回答	0.6%	0.6%	0.0%	0.0%	0	

		総数	学部			無回答
			文教育学部	理学部	生活科学部	
	総数	343	156	90	89	1
[データ活用の許可]	はい	99.1%	99.4%	100.0%	98.9%	100
	いいえ	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0
	無回答	0.9%	0.6%	0.0%	1.1%	0
	総数	343	156	90	89	1
[個人情報登録の許可]	はい	90.4%	89.1%	94.4%	89.9%	100
	いいえ	8.5%	9.6%	5.6%	9.0%	0
	無回答	1.2%	1.3%	0.0%	1.1%	0
	総数	343	156	90	89	1
[受験番号]	記入あり	99.1%	100.0%	100.0%	100.0%	100
	記入なし	0.9%	0.0%	0.0%	0.0%	0
	総数	343	156	90	89	1
[お茶大入試方法]	一般	79.3%	71.2%	87.8%	83.1%	100
	一般(外)	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0
	推薦(帰国含む)・文教育学部	10.8%	23.7%	0.0%	0.0%	0
	推薦(帰国含む)・理学部	2.9%	0.0%	11.1%	0.0%	0
	推薦(帰国含む)・生活科学部	3.5%	0.0%	0.0%	13.5%	0
	AO	1.7%	2.6%	1.1%	1.1%	0
	高校	1.7%	2.6%	0.0%	2.2%	0
	不明	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0
	総数	343	156	90	89	1
[回答者の続柄]	父親	25.7%	25.0%	26.7%	25.8%	100
	母親	73.2%	73.1%	73.3%	74.2%	0
	その他	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0
	無回答	1.2%	1.9%	0.0%	0.0%	0

平成28年度 新入生の生活に関する調査報告書

発行日：平成28年9月

発行：国立大学法人 お茶の水女子大学 学生・キャリア支援センター

東京都文京区大塚2-1-1

TEL 03-5978-2646

FAX 03-5978-5894

E-mail gakusei@cc.ocha.ac.jp
